## 貧乏人を殺す行政の構造

石川 雅章

が、風雨が強くて聞き取れない。でも「避難指示」レベルに重 要な内容なら調布市のサイトで確認できるはず。 が! サイトは え、とうとう「氾濫危険水位」に迫って来た。 あっさりと「水防団待機水位」を越え、「氾濫注意水位」を越 寄り観測点の水位をパソコンで監視していた。すると、水位は 「混み合っていて……」の表示以外は何も見れない。何の! 「調布 FM」というご当地ラジオ局がウェブラジオで聴けるは その頃、近くの市内放送用のスピーカーが何か言っていた

摩川が流れる。避難の判断のため、国土交通省のサイトで、最

迫っていた。筆者の自宅はアパートの2階とはいえ、近くを多

10 月 12 日 (2019) 、強力な台風 19 号が関東地方に

はことごとく断たれた。どうしてこうしたことが起きるのか。 ……が! やがて水位も分からなくなった。 いちおう技術者の端くれとして考察してみたい。 避難の判断に必要な情報が欲しい時、頼りにしていた情報源 石川 雅章

ず。が! 音は出なかった。でも、水位の観測さえ継続できれば

384

### 「オフライン利用料」のお知らせ

この PDF ファイルについては,「オフライン利用料」の設定をしております。

¥580(-ロ=-人または印刷1部ごと)

支払先: 三井住友銀行 調布駅前支店 (普) 451976 トリーウエア

なお,金額や送金先は改訂される可能性もあるため,このファイルがダウンロード後長く経過していた場合は,右のウェブ解説をご確認ください。

オフライン 利用料 ウェブ解説

原則として「何人が読むか=口数」の扱いです。複数のダウンロードやコピーも,同一人物が読む限り「一口」扱いでいいですが,「別の人が読む場合」は別口,また印刷はページ数に関係なく「1部=一口」となります。特に期日は設けておりませんので,ご送金は後日にでも,また数人分まとめてでも可能です。詳しくは前出のウェブ版解説をご参照ください。

なお,コピペによる引用などがなく,読むだけの場合は,HTML とプレーンテキストの**オンライン版は,原則無料**です。内容が「オフライン利用料」をご了承いただくに値するかどうか **ロッド 回** 評価されたい方は,この PDF 版を読み進まずに,オンライン版でご試読ください。 オンライン版はこちら **ログド** 

該当記事の筆者は、執筆時点で企業や研究機関などの組織には属しておらず、記事執筆を「業務」として与えられているものではないため、「何か書いていれば報酬がある」状態ではありません。読んだ方からの「オフライン利用料」により生計が立てられるようになれば、技術系の著述家として、晴れて「ニート脱出」となります。お読みいただいた方の評価を「糧」としていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

多くの疑問……災害時の通信インフラ 経緯 機能 まず日本の通信業界の構造が疑問だらけ 多摩川の水位はもう少しで「天井川」レベル 国 呆れる調布市の防災レベル・・・・13 「調布 FM」はなぜ聴けなかったか55 携帯電話かスマホ所持が「前提」の構造 環境保護やバリアフリーに配慮すると通信できない構造 安価な通信ほど低収入者は契約しづらい構造 土交通省などの「防災情報」レベル しない「行政の役割」.....29 ŧ 限 界 <u>~</u> S 34 3 43

. 4	. 4	*	*	*	. 4	<b>♦</b>	Ļ	. 4	. 1	. 4	. 4
★ 「文字情報だけ」ならどのブラウザでも読めるが	7 ブラウザ間の互換性103	スクリプトより高機能だった「フラッシュ」だが	て 「配慮」を捨て利益優先の企業に迎合した結果	不新旧互換件89	★ 配色86	「バリアフリー」と「互換性」が無視される構造 86	★ 「ラジオの使命」を捨てる日本のラジオ配信 78	て「調布 FM」は正しく配信されていたか 74	★ 「調布 FM」は一部企業を利する配信方式か 67	★ ウェブラジオの配信方式・・・・・60	★ 行政が企業の「囲い込み」に加担している構造
113		101	96			6					56

★ スクリプトの動作もブラウザにより差がある

123

「呪文」と化すセキュリティ・.130 防災情報の配信で「傍受」を防ぐ必要性は? 131 防災情報の受信で「遠隔操作や乗っ取り」が起きるか? 防災情報の受信で「ニセ情報」を防げるか? 135

有用なブラウザをサポート外にする愚

126

384

新機種ほど狙われるセキュリティの矛盾

トラフィックを無駄に増やすサイト設計

<u>1</u>51

145

140

「広告も見てもらいたい」業者154

★ 不要な「セキュリティ」.....159 すぐ読めない「PDF」.....168

「トラフィック」を増やさないためには

「スクリプトを無効にする」と早くなるが

183

貧乏人を殺す行政の構造

185

配信元サーバの負担を減らす「プロキシサーバー」197

防災や観測システムに対する疑問219 忘れられていく「フェイルセーフ」 サイト設計上の問題のまとめ..210 「ヒューマンエラー」前提で考えるべき 生活保護申請に「来ていなかった」の意味 行政には通用しない「報・連・相」 **|責任回避」の手練手管(てれんてくだ)** 形骸化する「検査」......235 配信元でサーバの負担を減らす手段 「テキスト」による情報提供の問題点と回避策 山の一角=「ハインリッヒの法則」 ームを受け付けず「フィードバック」 水が想定されていない」の意味 222 248 255 253 202 が働かない 247 228 260 204 240 貧乏人を殺す行政の構造 石川 / 384

氷

浸

諸悪の根源「トップダウン」× 「縦割り」のコラボ 295 うまくいかない典型「トップダウン」 297 「ボトムアップ」のアップ先は大丈夫か 隠すつもりがなくても「いくらでも隠せる権限」 「トップダウン」的考え方を捨てたソフトウエア設計 人命より優先される「ラクな手段」 福島原発…… 教訓を忘れた経営者の責任 末端を疎かにする「トップダウン」の性質 役所の都合で一方的に作れる「聖域」 276 「丸投げ」が阻害する「ボトムアップ」 「トップダウン」な人たちの信用度 「知らないところで死んだ人」の責任はとらずに済む 「疑わしきは罰せず」が正しくないシチュエーション 324 304 332 309 289 298 280 を殺す行政の構造 384

353

341

10 / 384

354 357





- 「トップダウンな丸投げ」だけはやめるべき 362
- 最

何人死んでも報酬を得られる人たち

376

371

貧乏人を殺す行政の構造

活かされない既存技術・・・・・.369

丸投げ」では広く伝わらない防災意識

神奈川県のハードディスク丸投げ365

近の民間企業の責任レベル・362

石川

雅章

「オブジェクト指向」ソフトウエアの応用 「給水車5時間待ち」問題の背景と解消案

に迫っていた。筆者の自宅から直線距離で約 500m ほどのと 10 月 12 日 (2019) 、台風 19 号は、いよいよ関東地方

ころには「多摩川」が流れている。実家の父が電話をかけてき

て、上流のダムの開放でここら辺りが浸水することを心配して

いたが、とりあえず筆者が住んでいるのはアパートの2階。し

かも、土台が1メートルほど高くしてあり、そう簡単にここま

思って、多摩川の水位の図を公開している国土交通省のサイト で水は来ないと思われた。 とはいえ、父も心配だろうから、安心させる材料が欲しいと 貧乏人を殺す行政の構造

を見つけ、最寄りの水位観測所を伝えて、「まだまだ大丈夫」

的な話をしておいた。

ちおうは

方向. などと共 認認

緊急措置として2階に招き入 性があるらし 実際に んこうも 難 必要は いか 階 来 る 国土交通省「川の防災情報」サイト: 多摩川,石原観測所 (m) 13.0 調布市多線川 探滅市矢野口 10.0 7.0 1.0

水する可

だ

む

最悪の場合」

性も考えた。

とうとう「氾濫危険水位」に迫って来た。 に伴い、風雨が強さを増すにつれて「氾濫注意水位」を越え、 さえ下回っていたが、アッサリそれは越えて来た。台風の接近 観測点を監視していた。最初に見た時は「水防団待機」の水位 土交通省の管理する「川の防災情報」のサイトで、近くの水位 というわけで、まずは、父の電話がきっかけで見つけた、国 るのか。その判断に必要な情報を集めるべく、

筆者はネットに

つながっているパソコンにかじりついていた。

## ◆ 呆れる調布市の防災レベル その頃、近くの市内放送用のスピーカーが何か言っているの

聞 た。 な 帼 風

る。

も

からア た。 **,** が 他 あ る を も 当時の調布市のサイト: この表示のみ Q.模擦 /www.city.chofu.tokyo.jp/cb アクセスが集中しページの閲覧がしにくい状況に なっています。 調布市ホームページをご利用いただき、ありがとうございます。 現在、ホームページへのアクセスが集中し、ページの閲覧がしにくい状況に

ご途滅をおかけし誠に申し訳ありませんが、しばらく経ってからアクセスしてい

ただきますようお願いいたします。

っています。

うろが

ļ

しばらく

れなく

な う

7

載

る

な

容な

ý

があり、パソコンなどの端末向けにウェブラジオの配信をして パソコンがある。調布には「調布 FM」というご当地ラジオ局 ラジオ」のサイトを呼び出し、 いることも知っている。 まず、全国の「ご当地ラジオ局」を紹介している「サイマル いやいや、諦めるのはまだ早い。こっちにはネットが使える 「調布」で記事内検索する。直

…「しばらく経ってアクセスできるようになる前に水が来

しその放送が、かなり差し迫った避難の指示だったとしたら…

然、さっきの放送が何を言っていたのかなど知る由もない。も

ちゃったら遅いだろう」……そんな考えがアタマをよぎった。

それをクリック。別のサイトが開いて、左上にラジオのプレー アイコンをクリックしてください」と記載があった。そこで、 身はどうやらさっき保存したものと同じだ。 ウザで開いてみる……音は出なかった。保存画面は出たが、中 ヤーにコピペ……音は出なかった。 ではその URL を直接ブラ リで開く必要があるのかも。そこで、リンク先の内容を確認 ぐに「調布 FM」のリンクに辿り着き、クリック-……音は出 し、そこに記載されていた URL(ウェブアドレス)をプレー よくリンクを見ると、「上記で再生できない方は、リスラジ これは一度リンク先を「保存」して、音楽プレーヤーのアプ

なかった。

オ局で防災情報が聴けないという状況に陥った。 聴けているのに、地元調布にあって、行政が運営に関わるラジ ら、聴く方法が違っていたとは考えにくい。フロリダの音楽が 間もフロリダにあるウェブラジオ局は別の機械で聴けていたか ばいずれかの方法で必ず聴けている。実際、上記を試している ていて、聴かない日がないくらい。たいていは、これだけ試せ じつは筆者は、 ウェブラジオをよく聴く。 日常の BGM にし そんなことをしている間にも、時間はどんどん経っていく。

ね。で、クリック!……音は出なかった。

しや、その「再生ボタン」らしき箇所を押さなきやダメなの

ヤーと思われる画像が表示される……が! 音は出なかった。も

知りたいのはやまやまだが、ここは一旦、調布市はあきらめよ

さっきの調布の市内放送がどれほど緊急性のあるものなのかを

う。

なぜ「音が出なかった」のかについては、後ほど考察する。

◆ 国土交通省などの「防災情報」レベルも限界

最後の頼みの綱は、当初から見ていた国土交通省の水位観測 石川 雅章

てしまった。画面には「アクセス集中で……」という表示。 サイト。ところがその頃から、見ていた図が掲載されなくなっ 貧乏人を殺す行政の構造

布市サイトと同じ理由だ。

ず 0 め な

当時の「川の防災情報」サイト:調布市と同様な状態



### 国土交通省 の防災情報 [簡易版]

は

リンクが2つ

国土交通省川の防災情報」および「川の水位情報」は、アクセス集中のため、通常の表示が出来なく たっております。

作業を行っておりますが、「国土交通省川の防災情報」の川の水位は、以下のサイト等でも とが出来ます。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

あなたの天気・防災

Yahoo! 天気・災害

り上流のもので、そのままでは参考にならない。 できた。ただ、水位が表示されている観測点は自宅よりもかな では、とりあえず多摩川全体の水位観測点の一覧を見ることが はない。 NHK もあきらめた。 でも観測点の「一覧」の表示はあり、その中には近くの観測 そこで、もう一方の Yahoo! の防災情報を見てみた。そこ 貧乏人を殺す行政の構造

の水位」が、どこで見れるのか分からない……探しているヒマ 示が出てきた。設定はしてみたが、肝心の「自宅近くの多摩川 まず、NHK サイトを見たが、「地域の設定」などという表 掲載されていたので、それを辿った。

される人」が出るのかもしれない。パッと見で「どうすれば目 能性もある。そんな人の中から「氾濫を知ることができずに流 らない人は、「ごちゃごちゃ」やる前に水位の確認を諦める可 うこと。パソコンの扱いに慣れておらず、どうしていいか分か 値」を見れるサイトも見付け、並行して見ていた。 やはり国土交通省が運用していると思われる観測水位の「数 逆に言えば、「ごちゃごちゃやらないと」見れなかったとい

宅近くの「石原」の観測点を表示させることができて、また、 ではないか。パッと見える場所に説明がない。だが、分からな いままではまずい。ごちゃごちゃやっているうちに、何とか自

点も含まれているから、その観測値を表示することもできるの

る必要があるかもしれないので、監視を続けていた。 るが。でも、さらに水位が上がるようなら、本当に避難を考え ない。まぁ、風雨がさらに強まって聞こえていない可能性もあ 経っていたが、水位の値が再び確認できるようになった時点で ろうことは、前述のような状況を見れば容易に想像がつく。 う。が、残念ながらサイトを構築する側にその意識が薄いであ 「氾濫危険水位」を越えていたと思う。やはりさっきの放送は 「避難指示」なのか? しかし、その後は特に放送は聞こえてい ところが、氾濫危険水位を 1.3m ほど超え、6.21m に達し 「川の防災情報」サイトの図を見れなくなってからかなり

的の情報を得られるか」が分かるデザインこそ大切なのだと思

てからは、それ以上増 えなくなった。……と えなくなった。……と となっていたら、数十分 後、なんと自宅近くの 等水位)となっ た。Yahoo!のサイトも、国土交通省サイトもだ。 トもだ。

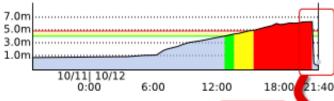
▼ Yahoo! 水位情報: 水位は「ゼロ」に

### 石原

<sub>水位</sub> 0.00 m

平常 水筋団持續 4.00m 氾濫注意 4.30m 氾濫判断 4.30m 氾濫危険

2019/10/12 21:40更新



### 水位が急にゼロに!→

「Yahoo! 防災情報」

サイトの図を元に作成

https://typhoon.yahoo.co.jp/weather/river/8303050001/

Yahoo! の水位情報
「Tahoo! の水位情報
「Tahoo! の水位情報
「Tahoo! の水位情報
「Tahoo! の水位情報
「Tahoo! の水位情報
「Tahoo! を表表がである。 で、自宅近くの観測点の異ない。だいたい、たいでは、表示で、自宅の近くだけ、報は、表示だ。自宅の近くだけ、報いで、自宅のができる。となりでは、またのでは、ないのではないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのではないのでは、ないのではないのではないのでは、ないのではないのではな



水位は直ぐに下がらない。

限界を超えて壊れたのかも」…… 「ひょっとすると、 水位計が測定

測値の表示が その可能性が大きいと考えた。 観測を取りやめたようだ。 案の定、さらに数十分後に 「閉局」となった。 水位(m)

水位の値」を知る手段はことご 避難の必要性を判断す 自宅に近い観測点の 国土交通省サイト: 「閉局」に 国土交通省【川の防災情報】テレメータ10分水位(石原)... www.river.go.jp/kawabou/4/1301/10/stage2132000400009.html メータ10分水位 石原(いしはら) 2019/10/12

るために、

とく断たれた。

多摩川の水位はもう少しで「天井川」レベル

された、その流域の「今」を撮影するカメラで様子を確認する しかない。監視していた最寄りの水位観測点にも、いちおうラ 残された判断材料は、「ライブカメラ」だ。川の所々に設置

見ると、水位は塀一枚隔てた道路と同じ高さに見えた。 イブカメラが設置されていて、見れる状態だった。その画像を いやもう、道路と川の水がひとつのカメラに写ってしまうと 貧乏人を殺す行政の構造

いう時点で異常事態だ。写真の上が当時のライブカメラ画像

▼ 石原水位観測所のライブカメラ画像



くるようなら、いよいよ1階の住人を2階に招いて避難させる る」ということは、河川敷は全て水没し、「川幅いっぱい」に 真を見ればわかると思うが、「川の水と横の道路が同時に見え まだ余る広さ。筆者が撮ったのもそこから。それが、当時の写 サイクリング道路が通って、野球場として使う場所があって、 る部分は川幅よりずっと狭くて、真ん中辺のせいぜい数十メー 観測点付近の多摩川の川幅は 400m 弱。 普段、水が流れてい 真。最初のほうに掲載した防災情報サイトの図で判断すると、 水が流れているということだ。もし水位が道路より高くなって トル程度のものだ。残りの 300m ほどは全て「河川敷」で、 下は筆者自身が後日撮ったそのカメラのある観測点の写

がさらに増えるようすはなく、その頃には多摩川の各水位観測 ている時に寝たのは、危険だったのかもしれない。実際、ここ 点にも、変化がない箇所が増えていたと思う。それで、その日 と、雨音が小さくなってきた。ライブカメラの画像でも、水位 そんな感じでしばらく落ち着かなかったが、夜中近くになる 今考えれば、「小降りになった」とはいえ、まだ降雨が続い

### はとりあえず寝たのだった。

機能しない「行政の役割」

か、あるいは自分自身の避難の必要性も考えていた。

より下流の世田谷区では氾濫が起きていたし、後日、雨が止ん

が、結果として、それらの情報源のほとんどが断たれることに なった。いわば「災害弱者に防災情報が行き渡らない」構造が 筆者はネットにつながったパソコンで情報収集していたのだ するし、具体的数値は出ていないが、犠牲者のうち「一人暮ら はすなわち「災害弱者」だといえる。実際、災害が起きた後 るだろうが、一人暮らしだとそうもいかない。「一人暮らし」 起きているようにして交代で防災情報を収集する」こともでき だ後に氾濫した川もあるというニュースも聞いた。 し」だった人の割合は小さくないのではないか。だからこそ、 「犠牲者は一人暮らしで……」というニュースはよく聞く気が だからと言って、何人かで一緒に暮らしていたなら「誰かが

行政の役割は「そうならないようにすること」だろう。 災害 貧乏人を殺す行政の構造 石川

が行政の役割のはずだ。 弱者ほど避難のタイミングを適切に知ることが重要なはずで、 「防災情報を知ることができる多様な手段を整備しておく」の どうしてこんな「まるで逆」な構造が生まれるのかを考えて

露呈したことになる。

384

多くの疑問……災害時の通信インフラ

かもしれない。残念ながら、筆者はスマホも携帯電話も持って 「『エリアメール』は届かなかったのか?」と思う方もいる

いない。主な理由は、そこまで収入がないため。だからこそ、

筆者はネットにつながった「パソコンで」情報収集をしていた

のだが……結局、それらの情報源はほとんど断たれたわけだ

がっていることはパソコンだって同じ。でも、何でこんなに防 災情報が得られなくなるのかと、半ば呆れてしまった。だいた いネットというのは、 しかし、「携帯電話かスマホ」がなくても、ネットにつな 「誰でも情報が得られる」ようにするも

「エリアメール」というのは、どうやら、携帯電話の業者が

# ◆ まず日本の通信業界の構造が疑問だらけ

にある構造を推測してみる。

報が得られなくなる」なんて「真逆」とも思える状態になって

のではなかったのか。どうして「災害が迫って来た時に防災情

しまうのか。今回の筆者の経験から、日本のネット事情の内部

発信して、危険を知らせるのが目的のようだ。 る不特定の人宛てに発信するメールらしい。 災害発生の危険度 所有する特定の基地局(アンテナ)から、その基地局につなが の高い地域の基地局から、その周囲にいる人の携帯電話宛てに

データ通信量がかなり多い時には、ヘタすると万を超える料金 ない筆者は知る由もなかったわけだが。 通話よりもデータ通信が多くなると思われる。となると、

★ 安価な通信ほど低収入者は契約しづらい構造 携帯電話の契約も考えたことはある。ただ、筆者の使い方で

ちょっとはありがたがれよと思う。まぁ、携帯電話を契約でき

ことを知ったような感じ。知らせてくれる仕組みなのだから、

さくって……」とモンク言ってたんで、そうした仕組みがある

回の台風の後の話だ。他の地域に住む家族が、「メールがうる

ただ、その「エリアメール」の存在を知ったのは、じつは今

する業者もある。そうした業者と契約し、通信業者に縛りのな る。その業者の中には MVNO 接続を提供しているところもあ ネット接続業者)は全て口座振替で自動引き落としになってい 因だと思われる。 は3回ほど審査に落ちている。おそらく低収入であることが原 えた。ところが、そうした契約はたいてい、どの業者でも支払 い「SIM フリー」のスマホかモバイルルーターで使うことも考 いが「クレジットカードのみ」なのだ。恥ずかしながら、筆者 じつは筆者がいくつか契約しているプロバイダ(インター

とはいえ、今どきは MVNO と呼ばれる、低料金で接続を提供

になってしまうかもしれない。そんなに支払う余裕などない。

る業者でさえ、MVNO を使おうとすると「クレジットカード 卵、どちらか先に存在しないとダメ」みたいな状況に陥り、 それにしても、筆者が「口座自動引き落とし」で利用してい

帯電話契約はあきらめた。

る。 低収入を理由にクレカが作れず契約できない……という「鶏か 低収入だから、低料金のモバイル通信をしたいと思っても、

だけは「クレカ払いでなきゃダメ」で、結局は利用できずにい

そうだが、なぜかその業者でも、MVNO の接続を契約する時

るから、その業者の MVNO ならすぐ利用できる……と思われ

するようなことをしている。仕組みとして、携帯電話業者と直 できてしまうのだから。一方、当然、低収入の人にはありがた 回線を使った自社の契約より、他社で契約したほうが安く提供 ちより安く契約できるのは「おもしろくない」だろう。 自社の 帯電話業者としては、自分たちの回線を貸した業者が、自分た 接契約するより安く提供されるようになっているようだが、携 線をまとめて利用する契約をして、末端の利用者に「小売り」 業者から、そうした設備を持たない通信業者が、いくつかの回 払い」しか許されないのは、なぜだろうか。 いはずで、どんどんその契約がされてもよさそうなものだが、 MVNO というのは、基地局のアンテナを整備した携帯電話

さえ、MVNO を利用しようとすると「クレジットカード払 では筆者が使っている「口座自動引き落とし」ができる業者で えて」付けることくらい、簡単にできそうな気がする。さて、 て、使える人を多くせずに済むような制約のある条件を、「あ は、インフラを握っている以上、回線をまとめて貸すにあたっ は、その低料金の契約を増やさずに済むわけだ。携帯電話業者 ど契約しにくい条件が付いていることになる。携帯電話業者 り、低収入の人ほど多く申し込みそうな契約に、低収入の人ほ クレカの審査も通らないほど低収入な人は契約できない。つま 実際は述べた通り、クレカ払いでなければ契約できないため、 い」しか許されないのは、なぜだろうか。

会社がその人を通じて「MVNO はクレカ払いのみにしたい」 部クラスの人が、それらの通信業者に天下っていた場合、通信 天国」みたいな話も聞く。総務省の通信関連部署を退職した幹 るのか。推測の域を出ないが、こうしたお役所は長年「天下り た条件を付けることがまかり通っているのだろうが。 よく調べているのだろうか。まぁ、調べていないから、こうし か何とか言っているらしい。総務省は、こうした末端の事情を そうだとしても、なんでそんな条件をつけることがまかり通

信料金を何とか安く提供できるようにと考えた仕組みが

通信を管轄する総務省が、「割高」と批判の多いモバイル通

MVNO のようなのだが、期待していたほど契約が伸びないと

普及しないといったようなウェブ記事も見かけるが……述べた と携帯だろうと、スマホだろうと同じだ。 は使わせてもらえないのだ。それは、モバイルルーターだろう 続業者でさえ、MVNO の契約は、クレカの審査が通らない人 も」クレカ払いしか許されないのだ。口座振替支払いできる接 か、「どちらを向いて仕事をすべきなのか」ということだ。 というところは、既に退職し天下った人か、それとも納税者 りづらいかもしれない。ただ、言っておきたいことは、お役所 念のためもう一度言っておく。 MVNO の契約は「どの業者 「中古スマホ」が、日本では(海外と比較して?)なかなか

と申し入れれば、総務省はその人の「顔を立てる」意味で断わ

くなって、避難が遅れる可能性も高まる。 当たらない。代替の契約ができなければ「防災情報」も見れな 金で使える「つなぎっ放し」のネット接続は、今のところ思い るそうだ。MVNO を除くと、クレカがなくても、同程度の料 式は、契約している業者では、来年の前半でサービスを打ち切 ない「中古スマホ」が売れるワケがない。 話。クレカがなければ SIM の契約もできないのだから、使え 買えないレベルの収入の人が、クレカの審査を通るか」という ちなみに、筆者が今回使った「ADSL」というネット接続方 クレカの審査も通ら

ような事情を基に推測すれば、

簡単に言うと「中古スマホしか

減るだろうか。意味がないと思うが。 実させても、その受信手段がなくなる者を放置して、犠牲者が れないが、「対策」と称して防災情報の「発信源」をいくら充 様々な課題も発覚し、省庁で対策も検討され始めているかもし らされ、むしろ死に至るリスクを高められつつあるようなもの ないほど「低収入」な者にとっては、防災情報を得る手段を減 めるような構造に見える。 今の通信業界というのは、 これだけひどい台風のあとだから、防災情報提供に関わる 災害弱者をさらに危険な状況に貶

★ 環境保護やバリアフリーに配慮すると通信できない構造

「そんなこと言っても、パソコンは持っているのだろう」と

そのうちの数台を同時に使っていたりする。 思われそうだ。実際、パソコンは十数台くらいあり、気づくと

降、「パソコン」というものを買ったことがない。全て譲り受 とはいえ、じつは筆者は Windows というものの登場以

けたものばかり。多くは「古くなったから」という理由だが、

れ替えて調整するなどして、使い続けている。 品を交換したり、付け足したり、「OS」と呼ばれるソフトを入 中には「全く動かなくなった」というものもある。それらの部

は分かりきっている。 は、どうすれば多摩川の水位が見れるのか分からなかった。 れなくなって、そこから誘導された NHK の防災情報サイト とうとう聴けなかった。国土交通省サイトの水位の図も表示さ 入れようと調布市のサイトを見たら「混み合っててダメ」で、 うだったのかは、述べたとおり。地元の細かい防災情報を手に をネットにつないで情報収集していたのだ。結果として……ど 「調布 FM」のウェブラジオを様々な手段で聴こうとしたが、 携帯電話もスマホもなかったからこそ、筆者はそのパソコン たぶん、このことでどこにクレームを入れたところで、回答 「最新の機器をお使いください」と言わ

れるだけだろう。

んなことをウェブラジオで発信するのか……つまりは、どのよ う。ここで「上」と言うのは、何をウェブページで公開し、ど 答は分かりきっている。「知らなかった」と言われるだけだろ は防災情報が得られなくても仕方がない」……つまり「低収入 限らないはずだ。これでは「最新の機械が手に入れられない者 の人は防災情報を得られずに大雨で流されて死んでも構わな んて気軽に手に入れられるものではない。それは、別に筆者に い」と言っているのと同じような気がする。 たぶん、このことで「上に」クレームを入れたところで、回 携帯電話やスマホの契約もできない者が、「最新の機械」な うともしないのが実態だろう。もし実際に「古い機械で防災情 責任はとらずに済む。「上の人」たちは、そんなふうに自分が 決定権を持つ「上の人」には知られないままになり、結果的 ていない人には防災情報が届かない」という事実も、そうした クレームに対して、末端で「最新の機器をお使いください」と うにネットを活用するのか決定する権限を持つ人たちのこと。 入の人に犠牲者が出たとしても、「知らなかった」のだから、 に、ウェブ設計やラジオ配信形式といったネットの活用方法に いった門前払い対応している限り「低収入で古い機械しか持っ 「改善が働かない」構造ができあがる。もしそれで実際に低収 「責任をとらずに済む」状態を温存したがるだろうから、知ろ

らだが、他にも、「環境保護」的な意味と、「バリアフリー」 られない状態が維持され、改善が進まない構造が固定化され だ! どうしてくれる!」 なんてクレームを言って来ることなん かない。「死人に口なし」である。犠牲になった原因が深く知 環境問題のスローガンである「3R」とは「Recycle(再 筆者が新しいパソコンを買わない「主な理由」は低収入だか

もそも犠牲者が「私は情報を得られなくて流されてしまったん

報が得られなかった」ことが原因で犠牲者が出たとしても、そ

の観点もある。

のラジオ局がそうした配信をするということは、調布市民全体 ミを増やす」ようなものではないだろうか。たとえば、調布市 きゃ」という方向に誘導しているようなもので、ある意味「ゴ ういうことか。「聴けないから、新しいパソコンを買わな の機器で受信しなきやダメ」にしてしまっているとしたら、ど だ。普段、それらのパソコンでフロリダのウェブラジオ局を聴 パソコンにおいては、それらを全方向的に実践しているつもり なって廃棄直前のパソコン」を使い続けている筆者は、およそ 生)、Reduce い機械でも聴けるような配信方法があるにも関わらず、「最新 いている。何の問題もなく聴けている。ところが、そうした古 (減量)、Reuse(再利用)」だ。「古く 害があって、画面を拡大したり音声で確認をしながら操作する も多い。そうした方は、新しいパソコンでそのソフトが使えな に合わせてパソコンを操作するソフトを入れて使っていること て調布市は、ゴミを増やしたいのかもしれない。 いと、パソコンが使えなくなってしまう。たとえば、視覚に障 「バリアフリー」の観点では、障害のある方は、自分の障害 環境保護にも逆行する対応のような気がする。ひょっとし を、古いパソコンでは「聴けない」状態にすることで「買い換

を促し、調布市のゴミを増やしているようなもの。つま

最新の機械でしか受信できない方法で配信するということ

聴けなくされつつあるのが現状。一方、いくら「最新のパソコ を続けられる環境を残している意味もある。 なってしまうことがないよう、あえて古い機械に合わせて開発 ら、そうした方の古い機械で筆者のウェブサイトが見れなく 使っている機械のアップデートにさえ不安を抱えている。だか 由から、多くの方が、新しいパソコンの購入をためらったり、 まうのだから、「新しくする」どころではない。 対応していなかったら、パソコン自体が操作できなくなってし ソフトを使っている方の場合、そのソフトが新しいパソコンに 筆者は障害者のパソコン指導もしているが、述べたような理 ところが、述べたように、古いパソコンではウェブラジオが

古い機械で聴けなくなるような方法で配信することは「バリア けの情報や防災情報を放送していても聴けなくなってしまう。 フリー」にも逆行する対応のような気がする。ひょっとして調 障害者にはウェブラジオを聴いてほしくないのかもし

パソコンに対応していなかったら、当然パソコンを新しくして

しまうと操作できなくなり、どんなにウェブラジオで障害者向

使ってパソコンを操作している障害者は、そのソフトが新しい

ンなら聴ける」と言われても、自分の障害に合わせたソフトを

★ 携帯電話かスマホ所持が「前提」の構造

たが、NHK サイトのニュースは参考にしていた。ただ、地域 トへのリンクがあった。リンク先は結果として役に立たなかっ の細かな防災情報については、「スマホアプリで提供中」みた 国土交通省の水位の図が表示されなくなった時、NHK サイ

がない。せめて、国土交通省から飛ぶリンク先の災害情報ウェ ブページくらいはまともに機能するようにしておいて欲しかっ いない筆者にとって、「アプリで提供中」なんて誘導には意味 いなことになっている。もちろん、携帯電話もスマホも持って なぜまともに機能しなかったのかについては、後ほど考察し

れるようでは、そのほうが困るということ。 ら向けの情報提供に偏り過ぎて、他の手段での提供が疎かにさ 向けの情報提供をすべきではない」ということではない。それ なるのは困る!」と思うかもしれないが、「携帯電話やスマホ ない」ような情報提供の仕方はやめたほうがいいのではない います」と主張するかもしれないが、ならば、その「それ以外 情報提供している側は「それ以外の方法もちゃんと提供して いずれにしても、「携帯電話かスマホがないと手に入れられ なんて言うと、「携帯電話やスマホで防災情報が見れなく 貧乏人を殺す行政の構造 石川 雅章

か。

ホ以外の情報源を探し当てられなければ、スマホを持っていな も掲載されていれば、それを辿って見れる。でも、自力でスマ 他の手段を探し始める人、探し当てる人がどれほどいるのか。 あっても、スマホを持っていない人には意味がない。そこで、 い人はそこで終わる。 「スマホをお持ちでない方はこちらへ……」といったリンクで もちろん、筆者は「それ以外」の方法があることは知ってい 「防災情報提供」としての意味は半減す

るのではないか。

たのか。でも、少なくともウェブのニュースを見た限り、その

「誘導」に気づくことはなかった。 スマホアプリの紹介記事が

の方法」とやらに誘導する仕組みも作っておくべきではなかっ

◆ 「調布 FM」はなぜ聴けなかったか が前提」の情報提供に偏り過ぎた証左ではないかと思う。 たが、ことごとく断たれた。これも「携帯電話かスマホの所有 じつは解決策は原理的には簡単だ。多くの人が受信できる形

ぜ防災情報が『誰でも受信できる形式』で配信されないか」と

いうことになる。これにも「構造的問題」があるように思う。

式で配信すればいいだけの話。逆に言えば、問題の根源は「な

パソコンからネットで様々な方面からの防災情報の入手を試み

る。だからこそ、ネットにつながったパソコンで情報収集して

いたのだ。でも、結果としてどうだったかは、述べたとおり。

★ 行政が企業の「囲い込み」に加担している構造

といえば「民間企業」で、結局「配信方式」など細かな部分の はどうするかと言えば、たいてい「丸投げ」になり、その先は 細かな事情まで理解した上で言っていることなんかほとんどな 言い出したところで、その「配信方式をどうするか」といった 権を持つ「上の人」が決めているわけではないことのほうが多 いだろう。上の人が「これからはネットを活用すべきだ!」と いと思う。だから、そうした具体的な部分は決められない。で 現実的には、ネットの活用方法の具体的なところまで、決定 その民間企業に「丸投げ」されることになるのでは

ず。すると、「利用者の囲い込み」が起こる。企業が独自開発 を増やしたいし、また一度利用した顧客は手離したくないは とって魅力となる。「お金につながる仕組み」となり、サービ ビスでしか利用できないものが多いほど、通販の小売り業者に るように作っておけば、そのサービス利用者が多く、そのサー 通販の広告配信やサイトへの誘導、販売ルートとして利用でき した配信方式ではなくても、コスト削減のため他の企業が「安 スを提供する企業の優位性も強くなる。だから、新規の利用者

ず。特に「ウェブサービス」では、その傾向が強くなるだろ

利益を追求する民間企業は、「お得意さん」を増やしたいは

う。なぜなら、たとえばあるサービス利用のためのアプリを、

うな仕組みを「あとから仕込む」ことはかなりむずかしく、 告をクリックした時に業者のウェブサイトに誘導する機能のよ りする。すると、音声データ以外の「広告画像」とか、その広 配信者から聴取者へ「音声データを送るだけ」の仕組みだった は「タレ流し」的な手法が多く、たとえば「ラジオ」ならば、 より使われてきた「古い規格」が多くなる。古い規格というの 可能性も考えられる。とにかく利用者が多いほど優位になるの 片や「多くの人が利用できる規格」というと、必然的に以前

もまた、利用者を増やすことを目的として価格を安くしている

価に」提供しているものを利用する場合もあるだろうが、それ

受信可能なものではなく、「金づる」を重視した規格を採用 数に知らしめるべき「防災情報の提供」において、多くの人が 言いたいことはもう察してもらえると思う。行政が広く多人 配信するような、営利を優先する民間企業の「囲い込み」

に加担してもいいのかどうか、だ。

ることが考えられる。

て、「金づるを仕込める」新しい規格が好まれる傾向が強くな

古い規格は「金づるにつながらない」ことを理由に避けられ

に「丸投げ」してしまうと、そういった「誰でも利用できる」

「お金につながる仕組み」になりにくい。利益を追求する企業

★ ウェブラジオの配信方式

かったことが、いい例かもしれない。 ニュースやブログなどの一般的なウェブ記事は、記事を一旦

筆者が聴こうとしたご当地ラジオ局「調布 FM」が聴けな

視聴中はずっとネットからデータを受信し続ける必要がある。 の「音声データ」や、長い動画の「ビデオデータ」などでは、 表示させている間は読むことができる。 一方で、ウェブラジオ 全て読み込めば、ネットの接続を切ってもブラウザを閉じずに 石川

貧乏人を殺す行政の構造

ウェブで見れる「議会中継」などもそれに当たる。

これを、特に「ストリーミング〔配信〕」と呼ぶことがある。

ブラウザのアドレス欄に入力して開くだけで聴けることが多 ラジオ局は、IE(インターネットエクスプローラ)や Edge ト)」と呼ばれる配信規格で、これらは配信サーバの URL を ト)」と呼ばれるものか、あるいは「Icecast(アイスキャス よく聴くウェブラジオは、「Shoutcast(シャウトキャス と呼ばれるため、前述のようにデータを継続配信するサーバは い。 たとえば、筆者がよく BGM として聴いているフロリダの 「ストリーミングサーバ」と呼ばれることがある。 その「ストリーミング」の配信規格がいくつかある。筆者が 主にデータを供給する役割を持つコンピュータは「サーバ」

貧

サーバ」の URL をアドレス欄に入力(またはクリック)する

(エッヂ)など一部ブラウザを除き、以下の「ストリーミング

だけで、たいていは「ブラウザで直接聴ける!」。 ▼ Smooth Jazz Florida (直ぐ聴取モードになる)

http://144.217.158.59:5120/stream

くことができる。ただ、起動に時間がかかったり、そのための いていは「メディアプレーヤー」などの別アプリが起動して聴 IE や Edge など直接聴くことができないブラウザでも、た

は、最初からそうしたウェブラジオの聴ける「プレーヤー」ア

設定が必要なことがあり、少々手間になる場合がある。あるい

が、多くはパソコン内で作られたもので、外部から読み込んで 表示しているものではない。むしろ、上記のウェブラジオを聴 よっては、音に合わせて変化する画像を表示するものもある と、アーティストや曲名が表示されることもある。アプリに 他には何も表示されない。一方、音楽プレーヤのアプリで聴く そこには「音楽プレーヤ」のような画像が表示されるだけで、 とが多く、筆者もたいていはその方法で聴いている。 だけなら、そのほうがブラウザで聴くより処理が軽くて済むこ 前述ウェブラジオ URL を再生中のブラウザ画面を見ると、

プリに URL を指定して聴くこともできる。 ラジオ音声を聴く

データだけを配信していて、ついでに広告の画像を送信して表 る。Shoutcast や Icecast の場合は「ブラウザのウェブラ な規格ではダメで、異なる配信方法を使う必要があることにな れるようにしたいとなれば、「音声データしか送れない」よう うな広告画像を一緒に配信したりとか、クリックを受け付けら 誘導したり……といった仕組みはないと思われる。 示させたり、そこをクリックしてスポンサーのウェブサイトに 逆に言えば、そうした「スポンサーのサイトに誘導」するよ

Shoutcast や Icecast では、「ラジオ」同様、純粋に音声

込み表示するようなものは見たことがない。つまり

いていて、スポンサーの「広告」のような、外部の画像を読み

優先」の民間業者からはそうした点は重要視されない。 できるようになっているべき」だと思うが、残念ながら「利益 になっていくだろう。「防災情報」というのは、「誰でも受信 配信方法が新しく考案されて、それらが好んで採用されるよう な専用アプリを作って「そのアプリ以外では聴けない」ような 殊な配信方法や、あるいは広告画像やクリックに対応した特別 んだ広告をブラウザに表示させていないと聴けない」ような特 方式であってもそれらは使われず、「運営者サイトから読み込 い。だから、広告を扱いたい時は、どんなに「気軽に聴ける」 述べたように、ラジオの音声データの配信元である「スト

ジオ再生機能」で気軽に聴けるとはいえ、広告画像は扱えな

行って、最悪「聴けなくなる」可能性が高くなっていくのだと 体の配信では、結局はサーバの URL は公開されないことが多 クの受け付けなどに対応できないから、利益優先の民間企業主 「サーバ URL さえ分かれば聴ける規格」からどんどん離れて 「こうやって、「ブラウザだけで聴けていた規格」や、

リーミングサーバ」の URL を公開すれば、ウェブラジオを

ることもできるはずだが、直接聴かれると広告の表示やクリッ

「ブラウザや一般的な音楽プレーヤーだけで聴ける」ようにす

## 「調布 FM」は一部企業を利する配信方式か

「利益を優先する戦略」に巻き込まれているためではないかと 「調布 FM」が聴けなかった理由も、そういった民間企業の

考えている。 筆者が「調布 FM」を聴こうとして、全国各地のご当地 FM

局を集めた「サイマルラジオ」のサイトで「調布 FM」のリン

が、その「ストリーミングサーバ」のものと思われる URL てくれていたかどうかは今さら知る由もないが、少なくとも筆 なかった。実際には、その時果たしてラジオで防災情報を伝え だ。だが、それをどんな方法で開こうとしても、ラジオは聴け クをクリックした時に読み込んだファイルに記載してあったの 信方式が採用されているとしたら……つまり「防災情報は ぐ聴けるが、それ以外のパソコンではそうではない」ような配 も発信する可能性もあるウェブラジオに、「Windows なら直 況が多いほど有利になる。だから、もし行政が関わる防災情報 トも利益を追求する民間企業。Windows だけに特に便利な状 る規格では受信できない。Windows の製造元、マイクロソフ と述べたように、使用しているパソコンが Windows ではな 筆者の場合、「古いパソコンの OS を入れ替えて使っている」 ラウザだけで簡単に聴ける」規格でなかったことは確実。特に 者が普段聴いている Shoutcast や Icecast と異なり、 いものも多く、それでは Windows 用アプリに配信されてい

が、「防災情報」の配信でこの状況になることは「死にたくな 者であって、一部の奉仕者ではない」という条文がある。前述 助けするようなものではないかと思う。 を「人質」にするような形で、民間企業の利益追求を行政が手 ければ Windows にしなさい」と言うようなもの。防災情報 り、Windows の製造元にのみ有利な条件になってしまう。だ の事実を知ってなお、その状況を変えずに、一部のパソコンソ ちなみに、憲法の 15 条には「すべて公務員は、全体の奉仕

Windows なら直ぐ聴けるが、それ以外は聴けなくても『知ら

方が分からなければ Windows を手に入れざるを得なくな

ん!』」といった扱いになる。当然「それ以外」の人は、聴き

ブラウザで聴く方法はある。それは、ラジオ聴取用のウェブ ジ』でお聴きください」と書かれているリンクがあったが、た リプトが仕込まれていたのだろう。結局それも聴けなかった ぶんその先の「リスラジ」サイトに聴取できる「はずの」スク マルラジオ」のサイトに「クリックで聴けない方は『リスラ れる一種のプログラムを使う方法。 調布 FM の場合も、「サイ ページを呼び出し、そこに仕込んである「スクリプト」と呼ば 一方「ブラウザに直接 URL を入れて聴く」方法以外にも、

法違反」であると、筆者は思う。

フト業者のみを優位にするような配信方式を続けた場合、

憲

をクリックするとウェブサイトに来てもらえる仕組みが仕込ん のアプリには、スポンサーの広告などの画像を見せたり、そこ も、たいてい「スクリプト」の処理として埋め込まれる。 じつは、そうした「余計な表示を前面に出す」ような小細工 その背後に隠されてしまっているらしく、クリックできない。 ド」画像がデカデカと表示され、どうも放送局一覧のリンクは しれないが、画面には「スマホ向けアプリの無料ダウンロー みたが、調布 FM のリンクさえ見あたらなかった。あるのかも なぜそんなことをするのか……は、たぶん述べたとおり、そ じつは後でその「リスラジ」とやらのサイトをよくよく見て 求を手助けしているような感じもする。 運営側が防災情報を「人質」として提供し、 役立たない」ものにしているように思う。と同時に、やはり サイトの設計が、「リスラジ」のサイトを「イザ! という時に を聴きたい!」時に、各地のラジオ局のリンクの前面を覆い、 めスマホを持っていない人には全く無関係。むしろ「防災情報 でも、そのアプリとやらも「スマホ向け」だから、筆者をはじ であって、なるべくアプリ経由で聴いてもらいたいのだろう。 い」状態にしてしまっている。こういった利益優先の不親切な 「防災情報を地元のラジオ局で聴こうとしてもクリックできな 「防災情報を聴きたいならアプリ入れろよ」と迫り、ラジオの 民間企業の利益追

ジオ局」が、そうした「ブラウザだけで簡単に聴ける」ような たぶん、結局その「ご当地ラジオ局」の運営も、利益追求の民 規格、言い換えれば「誰でも聴ける規格」ではないのだろう。 市がチェックしていないことは確かだが。 る行政や自治体はチェックしないのか? まぁ、少なくとも調布 ているのかどうかだ。こうした状態を、ご当地ラジオを運営す きたい!」という時に役に立たないサイトに、税金が費やされ なぜ「防災情報」も配信する可能性があるような「ご当地ラ

らお金を取っているかどうか。言い換えれば、「防災情報を聴

気になるのは、その配信のため、サイト運営側が FM 局側か

が、じつはこれもちょっとおかしな振る舞いだ。「ストリーミ 出る」ような利益優先の民間企業の方法に依存することに問題 な命に関わる内容を扱う可能性もある配信を、「聴けない人が べき行政に深く関係するラジオ局、しかも「防災情報」のよう な配信方法を採用するためだろう。しかし、公共情報を提供す 調布 FM を聴こうとした時に「保存画面が出た」と述べた

間企業に「丸投げ」しているので、広告画像表示やら何やら

「仕込み」ができたり、配信方式の開発企業を優位にするよう

## **★ 「調布 FM」は正しく配信されていたか**

はないのだろうか。

に筆者が使用しているパソコンが対応できていなかった可能性 択したと思われる。 タが判断できず、「とりあえず保存しますね」という処理を選 読み込もうとしているデータをどう扱えばいいのかコンピュー な対処になるはず。なのに「保存画面が出た」ということは、 して聴けることが多いはず。 筆者はどちらのブラウザも使って く、メディアプレーヤーと呼ばれる別のアプリが自動的に起動 いないが、ブラウザ未対応の音声データはたいていどれも同様 原因としては、述べてきたように、読もうとしているデータ

Edge でも、クリックした時に「保存画面」が出るのではな

ングのラジオが直接ブラウザで聴けない」と言っていた IE や

が、必ずしもデータの内容は末尾「だけ」で決められているわ データで、.jpg などなら画像のデータである「ことが多い」 データが何を示しているのかはウェブアドレス(URL)の末尾 適切にされていないと、実際にストリーミングラジオの音声 設定が、ラジオを聴かせるサイト側……つまり「サーバ側」で ストリーミングの音声データです」と示す仕組みがある。その けではない。だから、そのために、サーバから「じつはこれは で分かる。たとえば、末尾が .html なら、HTML 形式の文字 かった場合も、同じような対処をされることがある。多くは、 時に、「これは××形式のデータです」と適切に示していな

も考えられるが、もうひとつ、発信側のサーバがデータを渡す

もあるが(筆者はそれもダメだったが)、それを知らない人 を含むデータならば、それを保存した後、中を見て「音楽プ 存しておこう」といった処理をされることになる。 レーヤーソフト」でそのアドレスを開けばラジオが聴けること しまっても、実際にストリーミング・サーバの正しいアドレス ムタイプ」と読んでいる)と呼ばれる。 データが何であるかを示す仕組みは MIME-Type(「マイ MIME-Type の設定が正しくなくて、「保存画面」が出て

は、保存画面の意味が分からなかったり、あるいは、保存した

データであっても、前述のように、受け取ったパソコン側で何

のデータなのか分からず、扱いを判断できずに「とりあえず保

設定が正しくないと、ラジオを聴く人を減らしてしまうかもし

## れないということだ。

とあきらめてしまうかもしれない。つまり、MIME-Type の

ものを何のソフトで開けばいいか分からずに、「聴けないね」

▶ 「ラジオの使命」を捨てる日本のラジオ配信

のほうは「聴けない」。なぜかと言えば、やはり述べて来た ラジオのウェブ版)」などを聴きまくっていると思われるかも る☆らじる(NHK ラジオのウェブ版)」や「radiko(民放 しれないが、じつは、NHK はほとんど聴かないし、radiko 「ウェブラジオをよく聴く」と書いたので、さぞかし「らじ ても聴けないことがある」という話も聞いたことがある。それ を限定する仕組みを組み込んでいるらしくて、最悪「モバイル 境ではかなり重くて聴きづらい。radiko に至っては聴取地域 ラウザで画像と一緒に受信しないと聴けないためか、筆者の環 る仕組みが仕込めない。本来、NHK がそれを気にする必要な リックでサイトに誘導したり……といった「金づる」につなが URL を公開してしまうと、広告画像を表示させたり、そのク 述べたように、音声だけブラウザでいつでも聴けるような ルーターで聴こうとすると、聴取可能サービスの地域内であっ んかないと思うが、実際はサーバの直アドレスは分からず、ブ

「ストリーミングサーバ」の URL が公開されていないから。

radiko などは、どこが企画したシステムなのかよく知らない radiko ということになる。 ける」のがラジオではないのだろうか。聴取地域を限定する 報を知らしめる」のが目的ではないのか。 ない人が出るような仕組みをわざわざ組み込んでいる……のが が本当なら、イザ防災情報を聴きたい時に、地元に居ても聴け しても、国内のウェブラジオの多くが聴けない状態であること 筆者は普段、モバイルルーターは使っていないが、いずれに 「ラジオ局」とは何のためにあるのか。 「どこでも誰でも聴 「広く多くの人に情

には違いない。

することに「ゴーサイン」など出さないだろうから、気づけな 存在すると判明したら、報酬がカットされるようにでもなって 仕組みでもあれば……たとえば「聴けない人」がある割合以上 るから、こんなふうに「聴けない人が出る」のだろう。せめて て都合の「いいところだけ」の説明を「うのみ」にして採用す るのか」を調べる能力がなく、配信方法を企画した企業にとっ ないのだろうか。まぁ、気づけていたらそんな仕組みで配信を ているようなものだと思うのだが、ラジオ局の経営者は気づか が、わざわざ「ラジオの使命」を蔑ろにする仕組みで配信をし い経営者なのだろう。彼らに、そうした「末端でキチンと聴け 「聴けない人」の存在に対し、経営者がその責任を追求される

対的に「犠牲者が増える」ことにつながるような気もするが… ていたら助かるかもしれない人」を見捨てるようなもので、相 というのが実状ではないかと想像している。 ない人たち」は、その存在が知られることもなく残り続ける、 は困らない。こうやって「ウェブラジオ(で防災情報)が聴け れないから、「聴けない人」のことなど調べず放置しても自分 とはない。おそらく、「経営者としての報酬」は一円も減額さ で防災情報が聴けない人」が何人いようと、責任を問われるこ う」とするかもしれないが、今の経営者は「自分たちの放送局 いれば、経営者も「末端で聴けない人が出ていないか調べよ 「防災情報が聴けない人」を放置するということは、「聴け

が、こうした実態を何年間も何も言わずにスルーし続けている …今のラジオ局経営者に、そうした連想を求めるのも不可能な のような気もするが。 の報酬」をバカスカ持って行けば、会社が苦しくなるのは当然 とに気づかないまま放送をタレ流す経営者が、「経営者として 酬を持っていける社会構造ということだ。 のだろう。犠牲者を増やしてしまう要因を抱えた経営者でも報 いう声も聞く。そりゃあ、「受信できない人が相当数いる」こ ラジオ局だけでなく、放送業界は、いろいろと「苦しい」と 同時に、何よりも放送と通信の両方を管轄する「総務省」

ことはないだろう。聴けないのだから。「ラジオ局」とは何の ているのかどうか、今は知らないし、今後もラジオ広告で知る を覚えてしまった。一方、似た製品を日本のメーカーが製造し でよく宣伝されるスマートスピーカー、買う気もないのに名前 るのは、古いパソコンで聴ける海外のラジオ局くらいだ。そこ きたくても聴けない状態がずっと続いている。結局、普段聴け 者と同じような気もする。当然、こうした実態を調べてもいな 繰り返すようで恐縮だが、筆者は、国内のウェブラジオを聴

いのだろう。

何人いようと報酬は持っていけるという点ではラジオ局の経営

現状がある。まぁ、「総務省」の人たちも、「聴けない人」が

消防庁の全てに携わっているのは「総務省」だ。このような状考えてみれば、放送、通信だけではなく、防災に深く関わる 況が長く続いているのだろうが。 納税者を何だと思っているの 態に何も言わないのだろうか。まぁ、言わないからこうした状 などで行政が関わっているなら「税金」が費やされていること ほど意味があるのか、疑問でしかない。特に、ご当地ラジオ局 ない人ができてしまうラジオ局運営に経費をかけることにどれ になる。監査局や会計検査院はもっと調べたほうがいいのでは 調布市に限らず、「防災情報」を知りたくても結果的に聴け 石川 雅章

ないか?

ためにあるのか。

か、と言いたい。 86 / 384

## 「バリアフリー」と「互換性」が無視される構造

NHKの防災サイトがまともに見れなかった問題は、 複数の

要因が考えられる。

じつは筆者はひどい「不眠持ち」。だから、特に夜は「光」 配色 石川 雅章

も影響を抑えるため、極力暗い配色設定にしている。具体的に を見つめることを極力避けている。とはいえ、パソコンを使う 以上は、ディスプレイの光を見ないわけにはいかない。少しで 貧乏人を殺す行政の構造 り潰されてしまい、分からなかった可能性もある。 ク」の表示が「背景」の画像だったために、ダークグレーで塗 摩川の水位を知るまでに至らなかったのは、「水位を見るリン サイトから飛んだ NHK サイトで、地域の設定はしたものの多 クすべきだか分からなくなる。国土交通省の「川の防災情報」 の画像」を見て操作が必要なウェブ記事の場合、どこをクリッ ていようと「強制的に」ダークグレーになるから、その「背景 事がその配色で表示される。たとえ背景に「画像」が設定され る。筆者がその設定をしているブラウザでは、全てのウェブ記 の暖色系で「強制的に」表示するよう、ブラウザに設定してあ

背景は「ダークグレー」、文字は黄色と橙色の中間くらい

と、防災情報を見るのにどこをクリックすべきだか分からない 今、そうした人たちが「ブラウザで配色を強制設定している」 強調した「ハイコントラスト」配色をブラウザに設定して見て も、歳をとってから緑内障や白内障などで視力が弱り、明暗を 視」という症状に悩んでいる人がそれなりにいるし、ほかに るな」と言われそうだが、世の中には、筆者よりも深刻な「弱 早々にあきらめて、そちらを見ることにしたのだった。 いる人がいる可能性もある。「バリアフリー」が叫ばれる昨 「そんな特殊な事情に合わせたウェブサイトの設計を強要す

ため、原因は何かと調べていると時間がかかりそうな NHK は

「川の防災情報」にはもう1つ Yahoo! のリンクもあった

がまず疑問に思う点。 ★ 新旧互換性

ろうとしても操作できない……そんなサイトでいいのか。それ

……つまり、視覚に障害がある人は、パソコンで防災情報を知

の「互換性」とは、「旧規格との互換性」と「ブラウザ間の互 もっと深刻と思われる要因は「互換性の無視」だ。この場合

災情報を入手できない人」を増やす可能性を孕んでいると思 換性」の2種類あり、そのどちらも軽視されている現状が「防 互換性を低下させる最大の要因は「スクリプト」だろうと見

バ」からデータを読み込んで音を出すようなスクリプトを書い 意図して製作していたはずだ。 るはず。少なくとも、そのウェブサイト運営側はそうなるよう ならば「そこをクリックすればラジオが聴ける」ようにしてあ 記事中に「再生ボタン」らしき画像が表示されていたら、本来 スラジ」のウェブページだったのだろう。ラジオ局を紹介する て、ラジオ局を紹介するページに埋め込んだものが、例の「リ 示し、そこがクリック操作された時に「ストリーミングサー うなもの。たとえば、ウェブ記事に「再生ボタン」の画像を表

ト」とはウェブ記事に機能を付加する、一種のプログラムのよ

ている。「リスラジ」の問題でも書いたように、「スクリプ

になっているのだし、今どきネットの使えないパソコンなどな というのは、ネット閲覧ができるパソコンなら必ず使えるよう る。もう一度言うと、「ブラウザの中で動作する」。ブラウザ 然「ブラウザ」、つまりウェブ記事の閲覧ソフトの中で動作す 同じもの。ウェブ記事に機能を付加するためのものなので、当 問題があるのだと思う。 「ECMA(エクマ)Script」と呼ばれることもあるが、ほぼ 「JavaScript(ジャヴァスクリプト)」と呼ばれる。 結果的に「聴けなかった」のはなぜか。そこに「互換性」の 一般的に、ウェブ記事内で使われるスクリプトは

ネット閲覧では、単純に「画像を表示するだけ」の機能くらい されるようになっている。たとえば「地図を見る」場合、昔の まぁ、その話は今回の本題ではないので、別の機会にしようと お金をかけているのか知らないが、無駄な感じしかしない。 しかなく、指定した縮尺で特定の地域が切り取られた地図の画 「プログラミング」が必修となり、その学習のためにどれほど 一方、ウェブ記事に期待される役割も、日々高い機能が要求

能ということ。もう一度言うと、「ネット閲覧のできるパソコ

いから、つまりは、どのパソコンでも「プログラミング」は可

ンなら、どれでもプログラミングは可能」なのだ。義務教育で

思う。

を読み込んで、該当する位置に表示する……という処理をする その操作によって、どの程度の縮尺のどこの地図画像が必要な 縮尺の地図になる。これは、閲覧者がどんな操作をしたのか、 ば、目の前で地図の大きさが変化して、あっという間に異なる まででも見れる。縮尺だって、「拡大/縮小」の操作をすれ 像が見れる程度。町で売られている「地図」と比べ、見れるも スクリプトが、ウェブ記事に埋め込まれて機能しているため。 のかが計算され、サイトのサーバから該当する地図画像データ のはあまり変わらなかった。 だから、昔のブラウザ(ネット記事閲覧ソフト)は、「閲覧 ところが今は、地図をスクロールしていくと、連続的にどこ

込むべきかの判断は当然できない。これが、ブラウザの新旧互 ない古いブラウザの場合、どの程度の縮尺でどこの地図を読み 機能しない。スクロールや拡大/縮小の操作を感知する機能の ラウザで見るとどうなるか……想像は付くだろうが、まともに ち方向なのかなど、多種多様な操作を感知できるよう作られて きれば済んだが、今のブラウザは、閲覧者がどう操作したか、 者がどの地図画像を選んでクリックしたか」くらいの処理がで いる。スクリプトも当然それらの操作を区別して処理するよう 「拡大」なのか「縮小」なのか、「スクロール」の場合はどっ では、今の地図サイトを、そうした「操作未対応」の昔のブ

作られる。

と呼ばれる。ある意味、新しい機能に対応できない人のための を読み直すようなサイトを作ることはできる。ちょうど、昔の 大・縮小」のリンクを表示して、そのクリックで該当する地図 定縮尺で特定範囲の地図」の画像と共に「東・西・南・北、 じ。こうした自動的に機能を落とす対応は「フォールバック」 ロール」などの操作を感知する機能のないブラウザでも、「固 の表示くらいできたのだから、閲覧者の「拡大、縮小、スク △△ページ、駅周辺の拡大図は××ページに掲載」という感 「地図帳」のような、「この北側の地図は○○ページ、南側は それでも、古いブラウザでも固定した縮尺で特定範囲の地図 貧乏人を殺す行政の構造

ということは、古い規格にも対応する必要が出て来る。すると きない。なぜなら、それも述べたとおり。フォールバックする ★ 「配慮」を捨て利益優先の企業に迎合した結果 いれば聴けた可能性もあるが、残念ながらそれはあまり期待で 「配慮」を考えるべきではないだろうか。 「フォールバック」に対応していなかったのだろう。対応して 逆に言えば、少なくとも「リスラジ」サイトは、その

「広告の表示」や「そのクリックによるスポンサーサイトへの

イトなら、そうした機能の低いブラウザで見ている人向けの

「配慮」とも言える。防災情報などを配信する可能性があるサ

構造があるのだろうと想像している。 述べたように、本来「ラ るだろう。結果的に、新しい規格に対応できないネット利用者 になる。利益追求の業者にとって「コスト」になることは避け む話だ。が、複数の配信規格に対応しようとすれば「コスト」 格」など採用しないと思う。 民間業者は、そうした「利用者の『囲い込み』のできない規 への配慮は欠落し、防災情報は手に入れづらくなる。そうした 考えようによっては、古い通信規格でも同時に配信すれば済

か民間の業者に「丸投げ」されているだろうから、 シェアを広げたい業者の思惑にも添わない。結局、配信はどこ 誘導」といった仕組みは組み込めないし、新しい配信方式の 利益追求の

前」のことだった。今のように、光ファイバーやらモバイル通 グモデム」が主流だった頃、その「アナログ通信」の方式も日 信やらと通信方式が多様化する前、電話回線につなぐ「アナロ 法か」は重要なはず。「丸投げ」するにしても、その「フォー のラジオ局なら、なおさら「どれほど多くの人が聴ける配信方 ルバック」の配慮を相手の業者に求めてしかるべきではないか じつはその「フォールバック」は、通信技術では「当たり

特に、行政が「防災情報」を配信する可能性のある、地域密着

ジオ」というのは、より多くの人に聴いてもらうことが使命。

になっていることが多いので、通信機の「親機/子機」のどち る無線通信の規格も、新しい規格は古い規格にも対応するよう ちいち買い換えなくて済んでいたのだ。また、Wi-Fi と呼ばれ 初から「フォールバック」する仕様だったので、通信相手が新 自動的に古い方式に合わせるよう作られていたのだ。つまり最 は、もし通信する相手が古い方式しか対応できなかった場合、 ある。ではどうしていたのかといえば、新しい方式の通信機 信ができる新しい方式ができたからと言って、通信する全ての しい方式にしたからと言って、通信に使用する「モデム」をい 人を、一度にその方式に切り替えさせるのは現実的には無理が

進月歩で、次々と新しい規格が生まれていた。でも、高速に通

ネットが普及してきたような面もあるように思う。 もらうことを、阻害するとしか思えない。行政やご当地ラジオ る」という真逆の対応のように思う。より多くの人に受信して み」は、「新しい方式で受信してくれる人『だけ』特別扱いす 人が受信できるようになるはずだ。片や民間企業の「囲い込 とのないようにする配慮であり、機能していれば、より多くの 旧の差」を気にせずにコンピュータ通信が使えるようになり、 らかだけ新しい方式に買い替えても、たいていはそのまま使え つまり「フォールバック」とは、古い機械で受信できないこ 「フォールバック」のおかげで、利用者がそうした「規格新

映するための形式の一種。標準的な「スクリプト」で実現でき 使う人が何らかの操作をすることによってブラウザの動作に反 地図」などのような「インタラクティブな」機能……つまり、 て書いておきたい。この形式は、ゲームや「スクロールできる ≯ スクリプトより高機能だった「フラッシュ」だが ついでに「フラッシュ」と呼ばれるデータ形式のことについ 貧乏人を殺す行政の構造

てしまうから、

局を運営する自治体の首長やらが、「フォールバック」という

「配慮」を知らないまま、利益優先の民間企業に「丸投げ」し

「情報が届かない人」が生まれるのではないだ

れるようになり、 りするにも、たいへん便利だっただろう。 の広告と関係ない地域に住む人に聴かせない仕組みを仕込んだ た。ラジオの音声配信と共に広告画像も一緒に配信したり、そ でラジオを聴くサイトなども、この方式を使ったものが多かっ も、同じデータなら同じように動作した。つまり、後述する ブラウザ製作業者と開発元が別だったため、ブラウザが違って 「ブラウザによる違い」も少なかったこともあって、ブラウザ ところが、最近はブラウザに元から高度な操作性が組み込ま 「フラッシュ」の役割は終わりつつある。 将

ラクティブな」アプリを作成するために、多く使われていた。

る操作性に限界があった頃に、ブラウザ上でそうした「インタ

これは、いくら「便利だから」といってその方式に依存して

トは打ち切られている。

来的にもサポートは終了するようで、実際、既に一部でサポー

ラッシュ」の機能がないブラウザでも聴ける方式を採用すべき なら、「フラッシュ」よりも前から長く使われていて、「フ う可能性があるということ。「多くの人に聴いてもらいたい」 いると、古い機械だけでなく、将来的にも聴けなくなってしま

## **★** ブラウザ間の互換性 ではないかと思う。

ウェブサービスを提供するサイトや、通信機器の説明を読む

保証する意味がある。 のバージョン以降なら正常に動作します」と、「とりあえず」 で、正常にサービスを利用してもらうため「このブラウザのこ 化し、古いブラウザでは正常に機能しなくなる場合もあるの ように、ネットの発達と共に求められるウェブサービスも高度 ンの数字を表し、数字が大きいほど新しいことを示す。述べた ローム)×以降」などと記述される。ここで「×」はバージョ は Edge (エッヂ) のバージョン×以降」とか「Chrome (ク がある。そこには「IE(インターネットエクスプローラ)また と、よく「サポートするブラウザ」などという記述を見ること また、「ブラウザ」の名前の違いは開発者の違いを示す。IE

かもしれないが、筆者が知っているブラウザだけでも、これだ ただ、筆者は前述のどちらも使っていない。 「それら以外に『ブラウザ』って何があるのか」と思われる

ロFireFox(ファイヤーフォックス)

ブラウザを「標準サポート」としているサイトなども多いよう

なりのシェアを占めるらしい。そんなこともあって、これらの

社を中心にバージョンアップが進んでいる。これらだけで、か

および Edge はマイクロソフト社製、Chrome は Google

で、他には、時々 Safari と w3m を使う程度。残念ながら、 筆者が特によく使うのは最初の2つ(FireFox、Opera) 貧乏人を殺す行政の構造 106 / 384

ロw3m(文字のみ読み込む特殊ブラウザ) ロVivaldi (ヴィヴァルディ:Opera 派生) □SlimBoat(スリムボート) ロMidori(みどり:Safari の元と言われている) □Brave(ブレイヴ:Chrome 派生、プライバシー重視) ロSleipnir(スライプニル) ロSafari(サファリ:Apple 系御用達) □Opera (オペラ)

することがあるが、MS 社製以外のブラウザでほぼ同じ振る舞 分の作成したウェブ記事がブラウザ上でどう振る舞うのか検証 く振る舞わない」のだ。筆者もサイトを運営している手前、自 ラウザと振る舞いが異なることが多い。つまり、「規格に正し ト社: 以下同)製ブラウザ(IE、Edge: 以下同)だけは他のブ 振る舞いになる「はず」だが……じつは MS 社 (マイクロソフ 作られる。ならば、挙げたブラウザのどれであろうとほぼ同じ FireFox をはじめとして、「ブラウザ」はその規格にそって て、その仕様は国際機関で決められている。筆者が使う どれも「サポート対象外」であることが多い。

ウェブ記事は、主に「HTML」という規格で記述されてい

データを配信する「ストリーミングサーバ」の URL(ウェブ らで、すごく面倒だったりする。ラジオの音声データの扱いは ウザではそうはならない。「メディアプレーヤー」という別の ウザはすぐ音を出せる状態になることが多いが、MS 社製ブラ アドレス)をブラウザに指定すると、MS 社製「以外の」ブラ ソフトが起動し、起動時間がかかるやら、最初に設定が要るや 実際、「調布 FM」のところで述べたように、ラジオの音声

うにしたくても、うまくいかないことが度々あり、対応に苦慮

いになることを確認して、MS 社製ブラウザでも同じになるよ

ドやインストールなど手間がかかるため、何となくそのまま なっているうえ、他のブラウザを使おうとすると、ダウンロー がサポートの対象になってしまっているということ。なぜかと れているブラウザが外され、規格と異なる振る舞いをするもの ラウザをサポート対象としてしまっている。規格にそって作ら いえば、単に多くの人が使っているからだ。使い易いからでは 「ない」。Windows 搭載パソコンでは元から使えるように ところが、一般的には、多くのサイトが、その MS 社製のブ ザだけ他と違う動作が多いことを示す分かり易い例と言える。

「世界標準」が決まっているわけではないが、MS 社製ブラウ

ラウザをダウンロードして使っている人がほとんどだ。 る人など「いない」。「手間」とは言っても、ダウンロードと 掲示板への書き込みを見ると、 MS 社製のブラウザを使ってい ことが多い。そうした人と話をしたり、ブラウザを話題とする した「使いにくい面」を知る人は、MS 社製ブラウザを避ける がある。だから、ある程度パソコンを使いこなしていて、そう ウザだけでラジオが聴けないやらと、細かい点で使いにくい面 述べたように、国際規格と微妙に振る舞いが異なるやら、ブラ 使ってしまっているだけの話だ。 インストールの作業が「最初に一度要るだけ」だから、他のブ MS 社製ブラウザしか使っていない人には気づきにくいが、

お金を振り込め」などと脅迫したりする。それらは「マルウエ り、個人情報を抜き取ったり、「データを消されたくなければ の「わるさ」とは、パソコンに入り込み実行されることによ さ」をするプログラムを送り込む攻撃の絶好の標的になる。そ 多くの人が使うブラウザというのは、ウイルスなどの「わる 報が正しく見れない可能性が高まるからだ。それだけでなく、 製ブラウザを使っていない人には、自治体や行政の出す防災情 には、危険性さえ感じる。言うまでもないが、それだと MS 社 ラウザ『のみ』をサポートする」ような仕様にしてしまうこと ブラウザをサポート対象とする」こと、 時として「MS 社製ブ

ウェブラジオ局をはじめ自治体や行政のサイトが「MS 社製

うなサイト設計にしておくべきではないだろうか。そうしてお の互換性」を考慮し、とりあえずどのブラウザでも機能するよ の誰でも受信できるようになっているべきもの。「ブラウザ間 るくらいだ。 ラウザである Edge で、詐欺サイトに誘導されかけたこともあ いうわけだ。後ほど述べるが、筆者もほぼ最新の MS 社製のブ 他ならぬ「防災情報」である。「イザ!」という時に、どこ

増やせる。だから多くの人が使っているほど「絶好の標的」と

確率がわずかでもあれば、多く使われているブラウザなら、

「下手な鉄砲」式に無差別攻撃すれば「わるさ」の成功事例を

ア」と呼ばれる。ブラウザに、セキュリティをすり抜けられる

しない」という特殊なもの。画像やスクリプトの読み込みと実 さ」をされる可能性を高めることに他ならないような気がす ださい」と勧めるなら、それはつまり、述べたような「わる 限定して、受信者にその「サポートするブラウザで受信してく また、前に挙げた「w3m」というブラウザは「文字表示しか

されるのではないか。もし互換性を無視してサポートの対象を

ら、特定のブラウザの脆弱性を狙う「わるさ」のリスクも分散

けば、特定のブラウザだけに偏った使われ方も回避できるか

★ 「文字情報だけ」ならどのブラウザでも読めるが

象の MS 社ブラウザでお読みください」などと言われるだけだ という事態が起こりうる。 合、w3m のようなブラウザが使えても情報が得られない…… り、スクリプトを実行しないと読めなかったり、ましてや だろうと思われる。 「MS 社製ブラウザ」に特化したウェブ記事の仕様だった場 たぶん、そのことで運営側にクレーム言っても「サポート対 逆に言えば、緊急性のある情報を「画像だけで表示」した

なぐ「アナログモデム」といった、古くて遅い通信でも役立つ

記事を読めるので、緊急時でなくても重宝する。電話回線につ

行などは、かなりスッ飛ばしてくれる。おかげで非常に高速で

貝と八を权り11以の1

定し、それ以外の対応を考慮しないということは、つまり「防 とか読める」状況があったとしても、w3m のような文字用の ごとく使えなくなったことがあった。そんな時に、固定電話の アンテナ塔がダメージを受け、周辺の携帯電話やスマホがこと 台風(15号、2019)でも、大風で携帯電話各社の基地局の 災情報が受信できない人」を放置することに他ならない。 前の 定してしまっていいものだろうか。サポートするブラウザを限 か!」という思惑が透けて見える。 ろう。そこには、「そんな特殊なブラウザまで対応してられる アナログ回線が生きていて、「アナログ回線で文字だけなら何 しかし、他ならぬ「防災情報」の提供で、サポート対象を限

の文字データ」形式のこと。いわば「本文だけ」で、 キスト形式」というのは、「書式」の指定のできない、「ただ み直すと、プレーンテキスト形式で表示される。「プレーンテ 提供すれば済む話。 レス欄に表示されている URL の末尾に「.txt」を付加して読 「画像」や「スクリプト」に頼らず、簡単な「文字データ」で たとえば、今この記事を筆者サイトで読んでいる場合、アド じつは解消するのは複雑なことではない。重要な情報ほど 116 / 384

ブラウザでは「対象外」を理由に情報が得られない……そんな

ことになるわけだ。

があるため、文字化けの心配はほとんどない。文字そのものだ データではあるが、「文字コード」が何なのかを記載する規定 けでなく、文字の大きさや色、表示する位置や、「ここに画像 は他のブラウザを使うことをお薦めしたい。 字コード設定」が正しく機能しないことがあるため、個人的に 一方、ウェブ記事の標準データ形式である HTML も文字

設定」がそのままではできなかったり、また IE ではその「文

だ、新しめのバージョンの Chrome では、その「文字コード

けする。文字化けしたら、文字コード(エンコード)を

「UTF-8」あるいは「UNICODE」に設定してほしい。た

コード」が何なのか本文中で示す規定もないため、よく文字化

案内があるし、他者のサイトの中には、他者記事へのリンク 以外に、最初のほうに「もくじ」や「関連するリンク」などの るのだそうで、普段ウェブ記事は「音読ソフト」と呼ばれるソ せんか」と要望が来たことがあった。その方、視覚に障害があ 者の記事の存在を知った人から、「プレーンテキストで読めま 告の部分を強調する、といった調整も可能になっている。 フトに読ませて「聞いている」らしい。筆者サイトでは、本文 ただ、時としてそれが「余計なこと」になるらしいのだ。筆

て、情報の提供者側で「見易い」レイアウトを工夫したり、広

る。当然、表示する文字と共にそれらの指定も埋め込まれてい

を表示する」などのレイアウトの指定も記載することができ

が、「音読ソフト」では見えない。とっとと本文を聞きたいの ようにしてある。ある意味「フォールバック」であり、「バリ え、筆者のサイトでは「プレーンテキスト」でも記事を読める か分からず、非常に煩わしいだろう。 事や広告のリンクが並んでいたりすると、いつまで聞かされる に、最初に「もくじ」を延々読んだり、ましてやズラリと他記 らは、じっくり見る必要などない。見て読む人なら飛ばせる や、時として「広告」が大量に表示されるものもあるが、それ そうした「プレーンテキストで見たい」という人のことも考 というか、じつは「もくじ」などと共に「書式指定」された

アフリー」だ。

ている、その「プレーンテキストを HTML で供給するシステ 書式を付加しているだけ。興味がある方は、筆者サイトで使っ HTML は「プレーンテキスト」を元に作っている。つまり ム」についての記事が以下で読めるので、ご参考に。 「プレーンテキスト」のほうが「実体」で、HTML はそこに ▼ 和易ゐ記 (WAI-WIKI)

ことは、原理的には、こんなにも簡単にできるということ。 何が言いたいかというと、ウェブで「文字だけ」を提供する 「うまく見れない」といったクレームに対して、「指定のブ http://treeware.jp-help.net/?swai

ジョンでは、「アドイン」と呼ばれるソフトを組み入れないと る。これまた、「バリアフリー」に逆行する対応のようにも感 で文字化けを起こしてしまったら、そのままでは読めなくな 文字コード指定ができないようで、「プレーンテキスト」表示 度の意識でサイトを運営しているのかという感じだ。 るようなもので、「バリアフリー」にも逆行している。その程 な文字データだけ読みたい」という要望に応えることを拒否す するようなもの。つまりは「音読ソフトで聞き易いよう、単純 ついでに、Chrome と呼ばれるブラウザは、最近のバー

ラウザでも見れるような「簡単な文字データでの提供」を拒否

ラウザで見てください」といった対応をすることは、どんなブ

うことを強いられ、「文字データだけを提供する方法」が分か ブラウザに特化した「一緒に広告処理もするスクリプト」を使 言うが、民間業者は利益優先。業者が、MS 社製などの特定の れても、業者側でその意味が分からない可能性もある。何度も まっているためではないか。ウェブサービスの仕組みが複雑化 ク」のような知識のないまま、民間業者に「丸投げ」してし ぜできないのか。それは提供側が、述べてきた「フォールバッ じる。そんな Chrome は、個人的にお薦めしない。 しているため、いざ「文字データだけ提供すればいい」と言わ しかし、「文字データ」で提供すればいいだけ……それがな

も十分に考えられる。

らなかったり、他ブラウザへの対応や、テキスト配信のための

ノウハウ取得などに対する手間やコストを惜しんだりすること

## ★ スクリプトの動作もブラウザにより差がある

前述の「リスラジ」でも、アプリの広告などを前面に表示し

組みも、「スクリプト」で処理されることが多い。もちろん なくなっていた。そうしたアプリの広告を前面に出すような仕 て、聴きたいラジオ局のリンクを覆ってしまってクリックでき い。本来そうした「前面を覆う」ような広告は、数秒間表示し 「クリックできなくする」意図でそうしているとは考えにく

ブラウザでご覧ください」と言われるだけだろう。 言葉は丁寧 れなかったりした可能性も考えられる。 うにしたつもりが消えなかったり、「非表示ボタン」が表示さ たま筆者が使っていたブラウザで、数秒後に自動的に消えるよ り、ブラウザ間の互換性を考慮したスクリプトを作れず、たま のも、その「スクリプト」のブラウザによる処理の違い、つま スクリプトを作った側は、そうしたつもりだったのかもしれな を押せば消えるようになっていたりしていいはずで、おそらく い。結果的にラジオ局がクリックできなくなってしまっていた ただ、それでクレームを言ったところで、「サポート対象の

た後で自動的に消えたり、どこかに非表示ボタンがあり、そこ

うなものだと思う。 ラウザでご覧ください」と言う対応は、その責任を放棄するよ であり、責任ではないかと思う。要するに「サポート対象のブ いたが、多くサポート対象とされる MS 社製のブラウザは、筆 「防災情報」であり、そうしておくことが行政や自治体の役割 ちなみに、「パソコンの OS を入れ替えて使っている」と書

が使えようと使えまいと読めるようになっているべきなのが

だ。本来「どんな方法でも」受信できる、つまり、スクリプト

な対応になるだろう。たぶんそれが現代の情報提供側の意識

といった、「見れないブラウザなど使っているほうが悪い」的

でも、意味的には「サポート外のブラウザで見るんじゃねぇ」

ラウザでご覧ください」という対応は「お前に見せる防災情報

者が普段使っているそれらのパソコンにはインストールできな

い。「サポート対象」がそれだとすれば、「サポート対象のブ

などない!」と言うに等しくなる。

★ 有用なブラウザをサポート外にする愚

ちなみに、前に挙げたもののうち Brave というブラウザ

ネット広告業者は、見ている人がどんなリンクをクリックした のかを、逐一チェックしている。筆者のように、技術系の情報 は、プライバシーに配慮している点が「売り」という。じつは

に興味があって、その手の広告リンクをクリックしていると、

が、それらの広告がそうした「データ量を増やす」ような仕組 なぜ見れなくなったのか。 みになっていたりしないか、懸念している。調布市のサイトは も高める。最近は、役所のサイトなどにも広告が表示される 然、通信容量の限界が近づき、混み合えば、後述する「輻輳 うこと。つまり、必要な情報以外にやりとりするデータを増や クリックされるとその情報が「広告業者に」送られているとい しているということだ。送受信するデータ量が多くなれば、当 の広告をクリックしたかのチェックに必要な情報が付加され、 (ふくそう)」が起きてデータがやりとりできなくなる可能性 「混み合って……」ではなかった

技術系の広告が多く表示されるようになっていく。それは、ど

トのように「混み合って読めなくなる」のは、送受信するデー ウザをサポートしていることになる。 調布市や国土交通省サイ された情報をそのまま扱って通信データ量を増やしそうなブラ を抑えられそうなブラウザはサポート外にされ、リンクに付加 で見ないでください」と言われるだけだろう。つまり、通信量 運営側にクレームを言ったところで、「サポート外のブラウザ ポート外」だ。そのブラウザで「まともに見れない」とサイト な配慮だが、もちろん、残念ながらたいていのサイトでは「サ しい。考えようによっては、通信データ量の抑制に役立ちそう Brave というブラウザは、それらを抑制する機能があるら

今後も災害が迫る度に「混み合っているので」防災情報が見れ そうな気がする。サイト運営側がそこまで考えられなければ、 れるようになっていれば、多少は「混み具合い」もマシになり べきで、それこそ「余計な情報を付加しない」ブラウザでも見 報」くらいどんなブラウザを使おうと読めるようになっている なくなるという構図になる。繰り返すが、少なくとも「防災情 て多くの市民がサイトを見ようとすると、「混み合って」見れ ブラウザでやりとりした結果、データ量が増え、イザ台風が来 タ」をそのままゴッソリ扱うブラウザは対象にする。それらの ポート対象「外」とする一方、広告業者が付加した「追跡デー タ量が多いためだ。データ量を抑制できそうなブラウザをサ

なくなる危険性が残り続けるように思う。

「呪文」と化すセキュリティ

「最新の機器をお使いください」と言う口実として最も引っ

張り出されるのが「セキュリティの強化」だ。述べたように、

古い機械では新しい規格に対応できないことがある。セキュリ

式を採用した通信は、古い機械では対応できないことがある。 ティの方式も進化しているから、やはり新しいセキュリティ方 「だから」最近の機器を使えということなのだろう。もっとも

「セキュリティ上の脅威」となるのは何か。筆者が考えるの

らしいが、果たしてそうだろうか。

131 / 384

口傍受

詐欺

は大きく分けて以下の3種類。

威になるのかだ。個別に考察してみる。 実質的な問題は、これらが「防災情報の配信で」どれほど脅 遠隔操作、 乗っ取り

防災情報の配信で「傍受」を防ぐ必要性は?

まず「傍受」は、

者に見られるもの。デジタル通信はコンピュータ同士が1対1

字の通り、やりとりしているデータを第三

石川 貧乏人を殺す行政の構造

データそのままではなく、暗号化してやりとりをすることで、 は、それなりに「セキュリティ」の技術が発達したおかげ。 など実現するはずがない。そうしたサービスが可能になったの 当に無防備なら、パソコンでお金を扱う「ネットバンキング」 ら、犯罪の温床と化していてもおかしくないところ。ただ、本 ので、「傍受」もまた簡単にできてしまう。 線通信も発達し、電波という「誰でも受信できるもの」を使う て、やりとりしているデータは「見放題」だ。また最近は、無 ピュータを経由しているから、その中継コンピュータにとっ で直接つながっているわけではなく、中継する複数のコン パスワードなどもそうした仕組みでやりとりされるわけだか

う対策が図られている。また、無線通信の親機と子機の間で されて、パスワードなどの重要な内容が第三者に知られないよ 示す。「ネットバンキング」などでは、必ずその仕組みが利用 で始まるものがあるが、それが暗号化された接続であることを 信方式が使われる。URL(ウェブアドレス)で「https://」 に至っている。 ネット上のコンピュータ間では「SSL」と呼ばれる暗号化通

れ、無線通信やコンピュータ間のやりとりに組み込まれ、現在

で、なるべく「元に戻す方法がバレにくいもの」が日夜研究さ

途中で読み取られても無意味になる。その「暗号化」の方式

暗号化されたものを元のデータに戻す方法がわからない限り、

が http:// で始まるものばかりで、セキュリティなどは使われ ていない。ある意味当然だ。不特定多数が聴くラジオ配信に されている Shoutcast や Icecast という方式では、URL か。実際、前述した「筆者がよく聴くラジオ局」の配信で使用 を「傍受されないようにする」必要などあるのか。そもそも は、「WPA-PSK」と呼ばれる暗号化方式などが使われる。 「不特定多数の人に聴いてもらう」べきものではないのだろう 「特定の人だけに聴かせる」セキュリティ対策など無意味だろ さて、では「防災情報」や、それを伝える「ウェブラジオ」

★ 防災情報の受信で「ニセ情報」を防げるか?

ば、ウェブページに、いかにも普段利用しているようなネット 次に「詐欺」はどうか。パソコンで「詐欺の手口」といえ

バンキングやネット通販サイトのニセの画面を表示し、うっか

ングやネットショップなどで勝手に使われるという手口が多 報を入力すると、それが第三者に伝わり、正規のネットバンキ りそれを正規サイトと勘違いした人がパスワードなどの個人情

述する「遠隔操作」の悪事をするためのことが多い。 るような手口もあるが、この場合は、そのソフトによって、後 りニセの警告画面を出し、ニセのセキュリティソフトを読ませ い。あるいは「ウイルスに感染している」などといった、やは

騙す目的の発言を放送するようなウェブラジオ局などは、本来 リックすると詐欺サイトに誘導するようなウェブ記事や、人を を受信する時、その対策は有効だろうか。もちろん、画像をク たりする。ただ留意すべきは、この方法で防げるのは、既に うとした時に、それをストップさせるなどの対策が盛り込まれ ト」の情報を集め、利用者がそのサイトから何かデータを読も 防ぐこと。そのため「セキュリティソフト」では、「詐欺サイ ウェブ記事を見ている人が「ニセのサイト」に誘導されるのを 「アヤシイ」と分かっているサイトだけである点。 さて、では「防災情報」や、それを伝える「ウェブラジオ」 この手の脅威で「セキュリティ対策」が重要となるのは、 声データのみ」ならば、そのアドレスを直接指定して聴いてい るような「防災情報」や、それを伝えるラジオ局の話。配信元 どないのだ。だいたい、今問題にしているのは、行政が提供す 内容が含まれるかどうか判断してくれるセキュリティソフトな 知したり、DJの「しゃべり方」からそこに騙そうとしている アドレスが分かっていて、広告などが一緒に配信されない「音

ピュータの画像や音声の認識性能が上がったからといって、そ

こに掲載されている広告画像に虚偽の内容が含まれることを感

まれていた場合は、ブロックのしようがない。いくらコン

いない、一般的なサイトからの受信データにそうした要素が含

はブロックしたいところだが、特に詐欺サイトとして疑われて

リーミングサーバ」のアドレスは公開されていないことが多 するだけだから、変なサイトに勝手につながるようなことなど 実はどうかと言えば、述べてきたとおり。その「配信元スト がないように思う。 り、「詐欺対策」のセキュリティ云々というのも、あまり意味 なく、うっかりクリックしてしまいそうな広告の表示などもな 配信方式は、公開されているアドレスを音楽プレーヤーに指定 ろう。実際、筆者がよく聴く Shoutcast や Icecast などの るだけで、勝手に「詐欺サイト」につながることなどはないだ い。「ラジオ局」として純粋に音声データを受信している限 一方「調布 FM」や radiko、「らじる☆らじる」などの現

新しい「詐欺サイト」の情報を持つセキュリティソフトが使え 高めるのはどちらだろうか。もちろん、新しい機械でなければ な仕組みのある配信方式……「詐欺」に巻き込まれる危険性を 作曲者か歌手の文字データ程度だ。片や、広告が表示され、そ る配信方式で配信されるのは、音声データと、せいぜい曲名と スクリプトやアプリの脆弱性を狙うことも多いのだ。 こをうっかりクリックしただけで他のサイトに誘導されるよう もう一度言うと、Shoutcast や Icecast など古くからあ

て、そうした「詐欺サイト」への誘導を仕込む側は、それらの

使ったものや、アプリ読み込みに誘導されるものも多い。そし

く、また、広告などの画像も一緒に配信できるスクリプトを

のパソコンを乗っ取って、勝手にその利用者のパソコン内にあ み込ませ、それを利用者のパソコン上で実行させることで、そ はニセの警告を出すなどで「ニセのセキュリティソフト」を読

★ 防災情報の受信で「遠隔操作や乗っ取り」が起きるか? では「遠隔操作、乗っ取り」はどうか。前述のように、まず

防災情報を見聞きしちゃダメ!」ということにはならないはず

にはならないだろう。「詐欺サイトをブロックしていない人は

て「防災情報やウェブラジオを受信しては『いけない』」理由

ないことはあるが、そうしたソフトを使っていないからと言っ

どうかだ。ほんとに再三言うようで恐縮だが、筆者がよく聴く を伝える「ウェブラジオ」の受信の時、その対策が必要なのか をしていると考えられる。 クされている所から読もうとしていないか、また「ニセのソフ 防ぐため、ソフトを読み込む前に、「詐欺サイト」としてマー 意のあるソフト」が存在する。セキュリティソフトは、それを ト」としてすでに分かっているものではないかを確認する対策 何度も言うように、問いたいことは、「防災情報」や、それ

勝手に他のコンピュータに接続して「犯罪に加担」させる「悪

るファイルを読んで個人情報を抜き取ったり、「送金しないと

ファイルを消すゾ!」と脅迫したり、あるいは、ネット経由で

ていることがあるくらい。広告を見たり画面をクリックするこ る。音楽を聴いているだけの時は、節電のため画面をオフにし めに筆者は、普段「安心して聴いている」ようなところもあ てそうした表示を出すこと自体、原理的に無理がある。そのた の配信方式はほぼ音声データのみだから、その配信方式によっ み込んでください」なんて表示が出たなら、逆に「アヤシ る。ソフトを読み込む必要などない。もしそれで「ソフトを読 か、またはブラウザのアドレス欄に、直接入力するだけで聴け サーバのアドレスが分かっているから、それを音楽プレーヤー Shoutcast や Icecast などの配信方式は、配信している イ!」と分かる。もっとも、これも何度も言うように、これら

ブラウザだけで受信できて、防災情報以外の「受信アプリ」な ダウンロード(読み込み)サイトで、さも「ここをクリックす よく見かけるのだ。バカスカ気軽にアプリを読み込んで使わな れたのに、じつは異なるアプリのリンクだったりする広告は、 ればご希望のアプリが読めますよ」という感じの画像が表示さ 行させる行為のほうが、数段危険であるように思う。アプリの 受信してください」とか何とか言ってアプリを読み込ませて実 とすらできない。 いほうがいいし、それをさせるべきでもないように思う。 古くからある配信形式なら、音楽プレーヤーだけ、あるいは むしろ、防災情報やウェブラジオを配信するのに「アプリで

するような配信の仕方こそ、逆にむしろセキュリティ上の危険 て、どこかをうっかりクリックすると別の記事やサイトを表示 受信してください」などと、必要な情報以外のものまで読ませ 実に「最新の機械で」と要求しつつ、広告画像も一緒に読まな る方法で配信する」ことをせず、「セキュリティのため」を口 めとし、民放、NHK など、「必要な情報だけ誰でも受信でき 思っている。一方で、自治体が運営するご当地ラジオ局をはじ ら誰でも聴けるし、防災情報の発信には最適……筆者はそう ど安全ではないだろうか。「最新の機械」など必要としないか どのような新たなデータの読み込みも不要だ。そのほうがよほ いと聴けないとか、時として「専用アプリをダウンロードして

営側がこうした点に問題意識を持っていないということだろ

きない人を増やしてしまうように思う。残念だが、ラジオの運

性を高めると同時に、それらに対応できずに災害情報を受信で

★ 新機種ほど狙われるセキュリティの矛盾

人がパニクって、たまたま居合わせた筆者が助けを求められ 度見たことがある。介護施設に居た時、パソコンを使っていた ちなみに、その「ニセのセキュリティ警告」だが、筆者も一

ピーピー」とけたたましい警告音を発していた。表示には、ウ た。障害者の訓練で使おうとしていたパソコンが「ピーピー Edge だった。調べたところ、その Edge と一部のブラウザ のパソコンでその現象について調べたところ、案の定、詐欺サ だったが、何だかアヤシイ感じがしたため、それは制止した。 コンで、使われていたブラウザは、マイクロソフト社製の イトにつながっていたらしく、事なきを得た。 しばらくその「ピーピーピーピー」状態を我慢してもらい、別 じつはそれ、筆者が使っているものよりもずっと新しいパソ

告音がうるさくて、早く止めたいのもあって、うっかりその

「セキュリティの更新」と書かれたボタンをクリックしそう

ティを更新してください」というメッセージ。とにかくその警

イルスだか何だかの脅威にさらされているから、「セキュリ

それが狙われるようになるだけの話だ。 何とか言われたところで、みんながそれを使うようになれば、 から、「セキュリティ強化のために、最新のパソコンを」とか の記事。「新しいほどセキュリティが強固」なんて幻想だと 詐欺サイトなどは、多くの人が使用しているものを狙うわけだ ステムやサービスがまた「新たな脆弱性」を孕む。ウイルスや たとえば、以下は最新のパソコンに関係する脆弱性について 石川 雅章

の脆弱性が狙われ、

しい。このように、

機器を新しくすれば、

結局はその新しいシ

勝手に「ニセモノ」の警告が表示されるら

384

パソコンの OS を入れ替えて使い続けているが、前述したよう な「突然ニセ警告が出る」といった詐欺サイトへの誘導は、そ み」がないため、作られないだろう。 態になる可能性は低い。つまり、ウイルスを新たに作る「うま ルス」を作ってばらまいたところで、感染して悪さができる状 使っている人が減ってしまっているから、それを狙った「ウイ 実際、筆者はそう気軽には新しいものを買えないため、古い むしろ、ほとんどの人が使わなくなった古いパソコンは、 https://news.mynavi.jp/article/20191113-922936/ ▼ Windows に複数の脆弱性、アップデートを一 マイナビニュース 「セキュリティのために最新のパソ

れらでは見たことがない。

言っておけば新しい機械を買ってもらえるだろうという、やは 械向けに対応させるコストをかけたくないという面と、そう オの配信にそれが必要かどうか理解しないまま、「言わされて 機を推す側は、「セキュリティ」が何たるか、防災情報やラジ どれほど必要だろうか。 の「最新のセキュリティ」は、ラジオ配信や防災情報の提供に は、新しい規格を扱う処理能力の限界という面もある。ただそ いる」に過ぎない。どちらかといえば、サイトの設計を古い機 コンを」と勧めるのは、実態をよく知らない人だろうと思う。 つまり「セキュリティのため……」とか何とか言って、最新れにと迎望力といえ 確かに、古い機械で新しいセキュリティ規格に対応しないの

なくて防災情報を受信できない人が出ることになるが、それで を「最新の機器でしか受信できない」ようにしてパソコンの買 側の公共機関がそれで問題ないのか。「防災情報」というもの 助けするようなものではないかと思うが、防災情報を提供する 仕方をするということは、一部の民間企業メーカーの稼ぎを手 だ。新しい機種でないと受信できないような防災情報の提供の のか。しかも「最新のセキュリティ」対応機器を手に入れられ い替えを促し、ある意味「ゴミを増やす」ことに正当性はある

から、メーカーが新しい機械を買わせるにはもってこいの口実

ティ上の問題が……」と言えば多くの人が不安に感じるだろう

り民間企業の営利優先な側面を強く感じる。 「古いとセキュリ

的に見れなくなったのは、「トラフィックが増えたため」とも ◆ トラフィックを無駄に増やすサイト設計 調布市や国土交通省のサイトが、見る人が集中したため一時

いいのか。防災情報を配信する側は、もっとよく考えたほうが

151

いいのではないか。

なくて、「データ通信」、特にその「量」を話題とする時に使 防災情報を「読む側」は、たいしたデータ量ではない。今回 「トラフィック」というのは、ここでは交通情報のことでは

われる通信用語の

言える。

情報を得たいという時、逆にサイトが表示できなくなってしま 速度で処理しきれなくなる場合も出てくる。 多くの人が特定の 信元のコンピュータが送るデータ量が増えれば、限られた通信

うのは、こうした原因。

無限ではない。一度に送信できるデータ量には限りがある。発 「データくれ!」と要求を出すことになる。 通信技術の進歩で高速になったとはいえ、データ通信速度は

の人が一度に調布市や国土交通省のサイトのコンピュータに

みたい人が調布市と多摩川流域にたくさん出るわけで、それら

回のように台風が近づいているような状況になると、それを読

市の防災情報や水位の図が知りたかっただけだ。ただ、今

が増えれば、通信に障害が出る可能性が高まるということだ。 る理由は、もう分かると思う。いずれにせよ「トラフィック」 トなどが発売開始直後にサイトがつながりにくくなることがあ な災害時に限らず、たとえば人気タレントのコンサートチケッ イトが見れなくなった要因も、容易に想像がつく。今回のよう 風が近づいた時に、調布市や国土交通省など、防災に重要なサ が生じた箇所に集中するのは推測できると思う。とすれば、台 とする行為を繰り返すため。その行為は、つながりにくい状況 る。つながりにくいと、つながらなかった人たちが、つなごう る要因が強まる「輻輳(ふくそう)」という現象がよく起こ

しかも一旦つながりにくい状況が生じると、ますます悪化す

増やす要因は何だろうか。

れるべきだろう。では今回のような場合、「トラフィック」を

が重要だと考えるのなら、無用なデータの通信は、極力避けら

災害情報通信において、極力障害が起きないようにすること

★ 「広告も見てもらいたい」業者

なし」で聴くものだから、「大勢が一斉にラジオを受信する」 ただ、ウェブラジオなどのストリーミングは、「つなぎっぱ

なくとも「音声データ」の配信だけは減らせない。でももし、 てしまうかもしれないが、それはそういうサービスなので、少 なんてことになると、むしろトラフィックを増やす要因になっ

して、スポンサーサイトに誘導できるようになっていないと聴 摘したように、営利優先の民間業者は、音声の他に広告を表示 タも一緒に配信されているのだろうが、せいぜい数十文字程度 るとアーティストや曲名も表示されるから、そうした文字デー 一方、「調布 FM」がなぜ聴けなかったかを考察した際に指

があったら、それこそ無駄にトラフィックを増やし、通信に障

音声「以外の」データまで一緒に配信するようなウェブラジオ

害を生じさせる可能性を高めるのではないか。

声データのみの配信と思われる。ただ、プレーヤーで聴いてい

述べたように、筆者が主に聴いているウェブラジオはほぼ音

がどこに居るのかを確認して、音声データを聴かせるかどうか 処理のために読み込んだスクリプトも実行されずに、その数千 文字数に換算して数千~数万文字分ほどのデータ量になること まれて、それも一緒に読み込んでいることが多い。時として、 れた時にどのような処理をするのか、あるいは聴こうとする人 し、たとえ見る人がいても、クリックされなければ、クリック もあるようだ。ただ、広告などは見られなければそれまでだ の判断をするような「スクリプト」や「プログラム」が埋め込

告画像のデータも一緒に送って表示したり、そこがクリックさ

組み込んでいたりする。そういった仕組みは、当然ながら、広

けないとか、特定の地域の人だけしか聴けないなどの仕組みを

クされるか否か……いや、見られるかどうかさえ分からない広 災情報以外のデータが組み込まれているとどうなるか。クリッ もうとすることがあるという点。そこに、前述したような、防 況下にある人たちが、ほぼ同じ時間にその情報を必要とし、読 りにくくする要因」となることを否定できるだろうか。 多数の人に送られることは宿命のようなものだが、そのために 人でも居ればいいので、見もしないしクリックもしない不特定 ん広告というのは、見てくれる人、クリックする人がほんの数 「トラフィック」を増やして、防災情報が欲しい時に「つなが 考えるべきは、防災情報というのは、同様な危機が迫った状

文字分ものデータは「ただ読んだだけ」で捨てられる。もちろ

た場合、それを防災情報が配信される可能性のある放送に使う 欲しい。もしウェブラジオにそういった仕組みが仕込まれてい 信できるデータ量には限りがある。そうした事実を踏まえ、 布市や国土交通省のサイトがなぜ見れなくなったのかを考えて

たちに「一斉に」だ。通信速度も「無限」ではなく、一度に配

ら全員に配信されることになるだろう。同様な危機が迫った人

告画像や、受信可能地域を限定する処理のためのスクリプトな

数千〜数万文字分もの「防災と無関係なデータ」も、それ

ことに問題はないのだろうか。

★ 不要な「セキュリティ」

他に「トラフィックを増大させる原因」があるとすれば何だ

ウェブアドレスが「https://」で始まるものは、SSL とい

う「セキュリティ」を使った接続を示す。送られるデータは発

信者側で暗号化されて、受信した側で元のデータに戻される。

号化されているので、どんなやりとりをしているのか知られる 中継しているコンピュータがデータの「盗み見」をしても、暗

の暗号化の「鍵」に当たるもののやりとりが必要になるであろ ということは、実際に必要なデータをやりとりする前に、そ

のを防ぐことができる。

▼ SSL では通常の HTTP より送受信データが増える

CLIENT http://. Request リクエス Here the DATA Response レスポンス https:// ere the Secret Box! -Request-リクエスト Here the DATA lasaaki: TREEVARE http://treeware.jp-help.net

もらえると思う。

りとりと、SSL によるセキュリティを考慮したやりとりの比 実際は、どちらもこの前後に「サーバが通信可能か」の確認

て、重要な部分のみ図示したもの。 と、通信終了を知らせるやりとりがあるが、それらは省略し

くれ!」と「リクエスト」を出せば、「はいどーぞ!」といっ セキュリティ保護のない通常の HTTP 通信では、「データ

んな程度のやりとりで済む。 た感じで「レスポンス」……つまりデータが送られて来る、そ

るデータを「暗号化」して、中継するコンピュータなどに内容 一方、セキュリティを考慮した SSL 通信では、やりとりす

す。箱の中のデータは、箱を作ったサーバ以外は見ることがで データを要求する側は、これからするやりとりを暗号化するた データの前に、暗号化で使う「鍵」にあたるデータのやりとり た暗号化でやりとりされる。 ることになり、以降、目的のデータはその「共通の鍵」を使っ きないようになっている。これにより「共通の鍵」を両方が知 めの「共通の鍵」を作って、その「合鍵」を箱に入れて送り返 知すると、サーバ側から「秘密の箱」に当たるものが届く。 が必要になる。まず、SSL でやりとりしたいことをサーバに通 を傍受されないようにする。そのため、本来やりとりしたい なお、パスワードなど重要なデータをサーバに送る時、相手

「(デジタル)署名業

者」と呼ばれたりもする。 証局」と呼ばれる部署が担っている。 組みになっていないと意味がない。ネット上では、それを「認 物ですよ」と言うだろう。つまり、相手が本物かどうかの確認 返ってくることなどない。「騙そう」としている相手ほど「本 相手サーバに訊く仕組みではダメで、「第三者」が担う仕

る。と言っても、もし「騙そう」としている相手だったら、

「本物ですか?」と訊いて「じつは詐欺です」などと返信が

手のサーバが所有するものであるかどうか確認する仕組みがあ

かめたい場合は、その「秘密の箱」にあたるデータが実際に相

サーバが本当に正しいものであり、

詐欺などではないことを確

を下げる」的な発表を聞いたようにも思う。つまり「その頃か 業者から「SSL を使っていないサイトは検索対象としての順位 ここ数年のような気がする。その「数年前」に、どこかの検索 るうえ、相手を確認したい時には、「署名業者」とのやりとり 以外に、暗号化の「鍵」に当たるデータのやりとりが必要にな その SSL 接続を標準的に扱う傾向が強くなってきたのは、

も必要になる。

ぞ!」という単純なやりとりでは済まない。本来必要なデータ

いずれにしても、SSL では「データくれ!」……「はいどー

が、防災情報というのは、同じような危機が迫っている人が 時、発信側だけではなく、 フィック」もまた増やすことになると思われる。何度も言う ば、その「鍵」のやりとりなどの通信が増える分だけ、「トラ 使って「傍受を防ぐ」意味がどれほどあるのか。SSL を使え 高い情報をサイトやウェブラジオなどで提供するのに、SSL を ものではないのだろうか。自治体や省庁が、そうした公共性の そうした情報は、むしろ不特定多数の人に知らしめられるべき 災情報」のデータに SSL の接続を使う必要があるだろうか。 「特定の情報を一斉に読もうとする」可能性がある。そんな 「署名業者」への接続も増加するこ

しかし、「セキュリティ」の節でも述べたように、では「防

合に沿う必要などないように思う。 業者の都合であって、「防災情報」を提供するサイトがその都 は、SSL サイトを優先する」と言うのは、あくまで民間の検索 害情報の通信に SSL を使う必要性など感じない。「検索結果 そこに「署名業者」とのデータ送受信も増えることになり、 スクも増やすように思う。そもそも、公共性や緊急性のある災 「どこかがダウンしたら防災情報が手に入らない」といったリ

求する可能性のある情報に、「送信側、受信側」だけでなく、

障害を起こす可能性も高めてしまうような気もする。 何よりも

「増水した河川や大雨が降っている地域に済む人」が一斉に要

とになるだろうから、トラフィックを増やす分、むしろ通信に

化しているので、新しい方式に対応できないパソコンが出てし 問。 新旧互換性の問題でも指摘したが、SSL 規格もまた日々進 判断が、ある程度可能になると思われる。 ものか、デマやフェイクニュースやらが紛れ込んでいないかの なる。 読んでいる記事が、 該当のサイトから正しく発信された サに」発信元から発信されたデータであると確認できることに わけだから、SSL でやりとりできるということは、つまり「マ と。「署名業者」には、データの発信元を証明する役割がある もひとつ考えられる。それは「情報の発信元が明確になる」こ にしても、やはり「最新の SSL」まで必要なのかどうかは疑

ただ、そうした情報の配信に SSL を使う利点が、少なくと

ほどあるのか。発信者は、よく考えて配信方法を決めるべきで 「読めない人が出る」ような最新の SSL を使う必要性がどれ 「多くの人に知ってもらいたい防災情報」の公開のために、 災情報を見れない人」が出てしまうことだ。述べたように、

たいところだろうが、問題なのは、それを言っている限り「防

まうこともある。「だから最新のパソコンで読んでね」と言い

はないか。

≯ すぐ読めない「PDF」 もう1つ指摘しておきたいのは「PDF」だ。

今回の台風は、自宅より下流の世田谷区もそうだったが、実

ザに元から備わる機能ではなく、後から付加されたものである ことも多くて、PDF をブラウザで見る時は、表示するソフト タだ。中には PDF を表示できるものもあるが、じつはブラウ かの画像、それと HTML、プレーンテキストなどの文字デー は、述べたようなウェブラジオなど一部の音声規格と、何種類 ネット記事の閲覧ソフトである「ブラウザ」で直接扱えるの 家近くでも「氾濫」が起きた。ただ、それを知ったのは、実際

に氾濫が起きてしばらく経ってからだった。なぜすぐに気づか

ラウザに「パッ」と表示しない状態だったことが一因にあると

なかったかというと、情報が PDF で提供されていたため、ブ

が、PDF であったことがあるのではないかと考えている。述 のひとつに、公開されていた「ハザードマップ」の多く それほど見られていなかったというニュースがあったが、原因 時間がかかることがザラにある。 イルも、ブラウザで見ると数十秒~数分と、ザッと十倍以上の 械では、PDF 専用の閲覧ソフトで見れば数秒で表示するファ り、その場合は表示が遅いことが多い。筆者が使用している機 取り、ブラウザで表示できるよう加工する」仕組みのことがあ フトが表示するわけではなくて、「ブラウザからデータを受け 台風のあと、各自治体が公開している「ハザードマップ」が

を内部で呼び出す処理が必要になる。しかも、呼び出されたソ

に、PDF を見るいくつかの方法のうち「最も早く見る方法」 ら見ているヒマなどないな」と気づいていたのもあるが、そこ 見ていられない。筆者は事前に見てはいた。「差し迫って来た 状況では「ない時」にする人がどれくらいいるのかは疑問だ。 作業を、避難方向などを調べなければならないほど差し迫った で、よほど高性能なパソコンでなければ、クリックして 動するまで待つか、あるいは一旦保存してから別アプリを起動 してそれで見ることになる。いずれにしても「起動」が必要 「パッ」と見ることはできない。そうした時間や手間のかかる ただこの場合、差し迫った状況に「なった時」には、とても

べた通り、PDF だとブラウザ内部で処理するプログラムが起

を PDF 化しただけでも、 様々な情報が付加される。 しかも、 能性のほうが大きくなるだろう。 なければ、表示に時間がかかるようなことは後回しにされる可 早く見れる方法」を使える人がどれほどいるのだろうか。 知ら こう」と思う人がいたとしても、その中にこうした「PDF を だ、その方法では見れないソフトもある。「今のうちに見てお 般的に「地図」の画像は、自身の住む場所と離れた地域まで 後述するように、PDF にするとサイズが大きくなる。 画像

るものがあって、それで見るとブラウザよりも早く見れる。た

は、ファイルを開く際、ウェブアドレスを直接入力すると見れ

を知っていたことも大きい。じつは、PDF の閲覧ソフトに

が「直ぐ見れる」だろう。 とそこの地図画像を表示する」くらい。でも、むしろそのほう モチベーションも低下し、見てもらえる可能性も減る。 間をかける……そうしたことに抵抗を感じても不思議ではな いから、仕込むことができる機能は、「地域名をクリックする い。実際に見れるまで時間や手間がかかるほど、見ようとする 述べたように、古いパソコンでは高度な地図の機能は使えな 比較的古いブラウザでも「クリッカブルマップ」という機能 いずれにせよ、時間や手間のかかることは避けられるのであ

含むことも多く、その膨大な画像データを読むために時間や手

ていない検索業者で防災情報を検索した人は、当然その PDF る人は多いのではないだろうか。ただやはり問題になるのは、 で、該当する地域の地図画像だけを読むようにしたほうが、見 た時に、どこがクリックされたかをサーバ側に伝える機能。広 は使えることが多い。これは、見ている人が画像をクリックし にする場合としない場合があるようで、たまたま検索対象にし マップの公開を民間業者に「丸投げ」していた場合、実際に古 いブラウザへの対応をその「業者が」するかどうかだ。 い地域の地図を表示して、その画像のどこがクリックされたか PDF 内に書かれている文字は、検索業者によって検索対象

データがはさまった状態でファイルが作られる可能性がある。 合致せず、その PDF は検索結果に表示されない可能性が高ま りしていると、そこに「改行」や「改ページ」を示す特殊な くる。たとえば PDF に「多摩川」と記載されていても、 つまり「多〈改行〉摩川」といったデータの並びになってしま い、「多摩川、氾濫」で検索しても、PDF 内の文字の並びと 「多」と「摩川」の間で改行されていたり、ページをまたいだ

むべき順番通りに並んでいないことがあって、その場合は検索

してもその部分に合致するものとして扱われない可能性も出て

を見つけられない可能性がある。また、検索対象にしていたと

しても、じつは PDF という形式は、ファイルの中の文字が読

どんな機械でも、印刷したものと同じ状態を見れる……つま 高くなる。挙げた「多〈改行〉摩川」の例では、〈改行〉は うような「音読ソフト」では、正確に読んでくれない可能性も 「空白」として扱われることが多い。するとそこが「区切り」 さらには、そうした文字の並びは、視覚に障害を持つ人が使 PDF という形式がよく使われるようになった背景として、 貧乏人を殺す行政の構造 石川 雅章

る。

情報を正確に把握しづらくなる。 と読まれる可能性がある。それを音読ソフトで聞く側は、防災 として扱われ、「たまがわ」と読まずに「おお・まかわ」など

データの大きさがかなり大きくなってしまうことが多い。なぜ に入っていないと、文字の形状が違ってしまう。それを避ける 同じだったとしても、フォントデータはパソコンに搭載されて ものとは別の機械で見ようとすると、たとえワープロソフトが 字の「形状」のデータまでは収録されない。だから、作成した かというと、「誰が見ても同じになる」ように、フォント…… あるが、その反面、ワープロなどで作成した元の文書よりも、 ワープロソフトで編集するための文書ファイルでは、通常は文 つまり「文字の形状」のデータもファイルに収録されるため。 いるものが使われるため、作成した時に使ったフォントがそこ

り、誰でも同じ書面を見れるという点がある。最大の利点では

限必要とする情報よりもずっと多くのデータ量を読み込まない て読める内容以上の「表示されない」情報が多々収録されるよ る「しおり」となる目印など、PDF には、そうした文字とし きさ、また時として「ブックマーク」と呼ばれる、文書内にあ に使ったソフトと PDF 生成に使ったソフトの名前、紙面の大 状データ=フォントデータもファイルに収録するようになって ため、PDF という形式では、文書内で使われている文字の形 いる。そのため、どの機械でも同じ書面が見れる。 じつはそれだけではなくて、作成した人の名前や所属、編集 これが何を示すか……つまり、PDF という形式では、最低

うになっている。

ダー(閲覧ソフト)が必要です……こちらからダウンロードで の発信に使う「べき」形式なのかどうか、その点でも疑問だ。 版の PDF は「読めない可能性がある」ということ。 防災情報 と、見ることができないということになる。 「新旧互換性」でも述べたように、やはり古い機械では、最新 PDF を使うことによって読むデータ量を冗長する要因は他 そのため、PDF で公開している記事の中には「アドビリー PDF という形式も日々進化している。……ということは、

にもある。

きます」と、最新版を使うようリンクが掲載されていることが

データ量」を増やす可能性のある情報提供の仕方でいいのかが 緊急性の高い状況も考えられるが、そうした手間と「読み込む 使えるようにする作業が必要になる。「防災情報」ともなれば なかったら、結局その最新版を読み込んで、インストールして 読もうとした人の機械がある程度古く、その規格に対応してい ないだろうが、もしその PDF が新しい規格で作られていて、 めったにないから、それを見た人全員が最新版を読むことなど 思う。確かに今どき PDF の閲覧ソフトがないパソコンなど 量を増やす……つまり「トラフィックを増やす要因」になると が存在するということ。これは、場合によっては、読むデータ あるが、つまりは文書本体のデータ以外に読む必要があるもの

向はどっちだ?」と思って PDF のハザードマップを見ようと ほどいるか疑問」と書いたが、実際に差し迫ってから「避難方 した時「見れない!」と気付いたのでは、手遅れになる危険性 い。ちょっと前に「危険が差し迫っていない時に見る人がどれ などを無駄に使わせてしまうことになる。しかもそれは、実際

に試すまで「インストールできない」と分からないことも多

さえ出てくる。そうなると、読み込んだデータと時間、通信料

ると、最新版の閲覧ソフトが「インストールできない」可能性

「新旧互換性」でも述べたように、その人の機械が古過ぎ

まず疑問。しかも、それで素直にインストールできればいい

で聞けていた PDF も全部聞けなくなった……では、元も子も る視覚障害者の情報源をさらに減らしてしまいかねない。最新 も、全て聞けなくしてしまう可能性もある。たたでさえ限られ の防災情報を聞こうとして最新版をインストールしたら、今ま フト」が対応していなかった場合、それまで聞けていた PDF いう新たな問題も起きる。インストールした最新版に「音読ソ いずれにせよ、PDF を使うということは、「トラフィック

ので記事を「聞いて」いることがあるが、それまで使っていた

さらに、視覚に障害がある人などは「音読ソフト」というも

「音読ソフト」が閲覧ソフトの最新版に対応できるかどうかと

高いということを、防災情報を発信する側はよく理解して欲し を増やし、情報が届かない人を増やす」可能性があるように思 いところ。PDF も便利なのかもしれないが、防災情報という 何より、防災情報というのは「緊急時」に読まれる可能性が

◆ 「トラフィック」を増やさないためには ではないかと思う。 のは、多くの人が直ぐ読めるように配慮されていてしかるべき

い」のではなく、「混み合っているので……」という文字は表

今回の調布市や国土交通省のサイトも、

「全然つながらな

たのは、サイト運営の「上の人」にその意識がないまま民間に かったのではないかと思っている。まぁ、そうなっていなかっ 記事へのリンクは引き続き掲示するくらいの仕組みがあってよ え混み合っても、防災情報だけでも簡単な文字データで読める み直してください」とだけ表示するような設計ではなく、たと 人に情報を配信できる可能性がある。 「丸投げ」され、その丸投げ先にも、そうした配慮や防災の意 そうした意味では、調布市のサイトは「しばらくしてから読

が減らせるわけだから、限られた通信容量の中で、より多くの

ない量のデータにしぼれば、ひとり当たりに送信するデータ量

示された。つまり、そうした「文字だけの情報」のような、少

値)」を示す文字だけの情報は、その後も確認し続けることが 「図」は表示されなくなってしまったが、水位の「値(数 識がなかったのであろうことは、容易に想像できるが。

実際、国土交通省の「川の防災情報」サイトの場合、水位の

が、最終的にはその数値も見れなくなってしまっていたが。 できた。残念ながら、測定器が壊れたのか何なのか分からない では、どうすればこの「トラフィック」を減らせるかを考え

★ 「スクリプトを無効にする」と早くなるが

読む側でできる対策もあることはある。

てみる。

が早くなることがある。 行われることも多いため、そのスクリプトの機能を切ると表示 などのデータを追加で読み込む処理などは、「スクリプト」で ある。ウェブページを表示する前の処理やら、表示途中で画像 は、代わりに「スクリプトを実行しない」設定ができる場合が せて見たりできるが、そうした特殊なブラウザを使えない人 やスクリプトなど全部スッ飛ばして文字だけ読み込んで表示さ ザに合っていないことが原因の場合も多い。筆者の場合は、

「文字だけブラウザ」である w3m のようなものを使えば、図

うな記事は、図などのレイアウト機能や、スクリプトがブラウ

述べたように、正しい表示がされない……見て分からないよ

と比較して表示スピードが格段に早い。が、最近それで東京都 ないため、余計な広告画像も読まないので、一般的なパソコン クリプトが普段から無効にしてある。「裏処理」的なことをし の提供に「スクリプト」を使った方法は避けたほうがいいよう 然「防災情報」も表示されなくなってしまう。やはり防災情報 ブ記事の場合、「スクリプト」を機能しないようにすれば、当 設定画面を探してみて欲しい。 実際、筆者が使っているパソコンのひとつは、ブラウザのス もちろん、「スクリプトで」防災情報を読み込むようなウェ その設定の仕方はブラウザによって異なるため、ブラウザの

に思う。

書いてあるのだか分からなかった。これもたぶん、述べたよう を有効にして見たところ、レイアウトがぐちゃぐちゃで、何が るが、それも見当たらなかった。 本来はそこに「(スクリプトが無効で)見れない方はこちら りに表示する部分を含ませることができるようになっている。 規格である HTML には、スクリプトが機能しない時に、代わ る」ことも要因なのかもしれないが、だいたい、ウェブ記事の ……真っ暗だった。「強制的にダークグレーの背景にしてあ へ」などと、簡易な記事への誘導があってもよさそうな気もす ちなみに、そのコロナウイルスについての記事をスクリプト

の「新型コロナウイルス」についての情報サイトを見たところ

でして伝える気はないということか。実際、外出自粛が要請さ ウザで見る人を考慮されていていいような気がするが、そこま ウザでしか正常に見れないようなデザインにせず、様々なブラ 大防止」につながるのではないかと思う。ならば、特定のブラ のなら、それらをより多くの人に知ってもらってこそ「感染拡 体調だった人が重症化しているかといった情報が含まれている に、どういった環境にいた人に感染が多いかとか、どういった うかを確認していないことが原因と思われる。もしもその記事 設計をしてしまって、他のブラウザでも正しく表示されるかど た記事デザインにしておらず、特定ブラウザ向けのウェブ記事 なブラウザ間のレイアウトやスクリプトの動作の違いを考慮し

はむずかしそうだ。情報提供のし方として、「バリアフリー」 るのかなど分かったものではない。そのまま何の対策もされて な「音読ソフト」で聞いた時、どこをどういった順番で読まれ いなければ、視覚障害者がそこでコロナに関する情報を得るの そんな具合だから、当然、その記事を視覚障害者が使うよう せめて、実際に聞けば分かるよう

ない人」が残り続けるのは当然だろう。

情報提供側が「知らせた」つもりになっているうちは、

「知ら

た。何であれ、「情報がまともに見れない」状態があるまま、

れていると知らない人がちらほら居るというニュースも見かけ

になっていて欲しいところ。

の観点でもどうなのか疑問。

ポート対象のブラウザが使えるくらい新しい機器を持っている だろう。 は分かりきっている。「最新の機器をお使いください」とか、 トが崩れたりして、どこを見ればいいやら分からなかった。 布市や都のウェブページを見てみたが……例によってレイアウ ひょっとすると筆者は「もらえる?」かと淡い期待を抱き、 人事業主向けに補助金が出る」とか何とか話が出たので、 「サポート対象のブラウザでご覧ください」とか言われるだけ とすると、その補助金についての記事を見れるのは、「サ たぶん、このことでどこにクレームを入れたところで、回答 ついでに言っておくと、コロナの関連で、最近「低収入の個 がウェブで確認などが必要な場合、このままだと筆者は「蚊帳 など気軽には手に入れられない。もしその「補助金」の手続き になってしまうわけだが……何のための「補助金」なのだろう 金」のことをウェブで知って申請までに至ることができるのは ついてウェブで調べても見れないわけだ。これだと、「補助 「新しい機器」を手に入れられる程度に収入のある人の側だけ 繰り返しで恐縮だが、筆者の収入では、その「新しい機器」

を手に入れられないほど生活がギリギリの人は、「補助金」に

人だけ」ということになる。逆に言えば、その「新しい機器」

か。

の外」ということになる。

知られない補助金」が既に存在している可能性もあるわけだ。 れは「コロナ」云々とは関係ない話、つまり、「知るべき人が その「最新のブラウザでないと見れない」ような公開の仕方を ある。すると「障害者向けの補助金」の案内記事があっても、 きないなどの理由で、古いパソコンを使い続けている可能性が も補助金の申請をしなかった人のことなど知らない」と言われ していては、そうした人はいつまでも見れないことになる。こ の障害に合わせて使っているソフトが新しいパソコンに対応で でもお役所からは、「ウェブ記事で告知をした以上、それで お役所としては、 「見れない人」が多いほう

筆者のことはともかく、述べて来たように、障害者は、自分

デザインにされて、古いブラウザやサポート外のブラウザで見 が、最新の機械向けとか、一部企業のブラウザ向けに特化した うでは、その「最新の機械」を気軽に手に入れられない人は、 報が表示されなかったり、レイアウトがぐちゃぐちゃになるよ ると、都のコロナ記事のようにスクリプトが機能せず必要な情 ト対象のブラウザでご覧ください」などと言い続けるだろう。 まぁ、「補助金」云々に限らず、告知のためのウェブ記事

する。きっと「最新の機器をお使いください」とか、「サポー

す手間をかけてまで、広く知らしめることもしないような気が

ラクできる。だから、別途「誰でも見れる」サイトに設計し直

が、「補助金」を出さずに済むし、手続きもせずに済むから、

念だが、それだと「見れない人がいる」サイト運営に税金が浪 心なら、図を使うよりもずっとデータ量は少なくて済むし、ス サイト」をもっと重視してもいいのではないだろうか。文字中 費され続けるように思う。 ト設計は避けるべきだと、筆者は思っているわけだが……。 でも、ブラウザを特定した仕様やスクリプトに「頼った」サイ どんな情報も知ることができなくなるのは確実。そうした意味 ンだけは使える」こと「前提で」情報提供をしているのか。残 そうした意味でも、「ブラウザに依存しない文字中心の配信 それとも、「低収入だろうと障害者だろうと、最新のパソコ

ブ記事が読める」状態か、さもなくば「お待ちください」と表 プレーンテキストで欲しい」というリクエストが視覚障害者か 示されるだけで、他に何も読めなくなるか……そうした両極端 らあったように、「文字データだけ」で提供するのは「バリア 情報が受信できる人を増やせるはずだ。 ら、「混み合って……」で受信できなくなることも減り、防災 た「トラフィック」を有効に使うことにもつながるだろうか フリー」でもあると思う。 なによりも、筆者サイトの記事を「音読ソフトで聞くために 「カラフルな図や凝った機能のあるスクリプトを使ったウェ

クリプトも使わなければ、さらにデータ量を減らせる。限られ

を考えてもいいのではないだろうか。

★ 配信元サーバの負担を減らす「プロキシサーバー」

他の方法としては、「プロキシサーバー」を利用するという

意!」程度の「文字データだけで見れる」ようなサイトの設計

ほしい。「水位の数字」と、あとはそこに「警戒水位超え注

なサイト設計でいいのか、防災情報を提供する側はよく考えて

方法もある。閲覧者が使うパソコンなどに、この「プロキシ

が読みたいデータを配信元から読んで手元に一旦保存して閲覧 サーバー」の設定をしておくと、読みたいデータはまずそのプ ロキシサーバーに要求が出され、プロキシサーバーは、閲覧者

るデータを要求者に送信して、国土交通省サイトには読みに行 同じ図を見たいと要求すると、 る。同じプロキシの設定をしている「別の人」が、「直後に」 サイトからデータを読み、手元に保存したうえで要求者にも送 プロキシの設定をしている人が「国土交通省の水位の図を見た るようになるので、配信元のサーバの負担が減る。たとえば、 タを読みに行かずに、手元に保存してあるデータをその人に送 る人が、直後に同じデータを読む要求を出すと、配信元のデー 何がいいのかというと、同じプロキシサーバーの設定をしてい 者に送る……という、いわば「中継サーバー」みたいなもの。 い!」と要求を出すと、まずプロキシサーバーが国土交通省の その時はプロキシに保存してあ

うになっている。サーバ側から提供するデータに関わる情報を があり、データ提供側で「有効期限」を付けることができるよ も前の図を読まされたりしてしまう。もちろん、これには対策 残っていると、「今の」水位を見たいのに、ヘタすると何時間 問題になる。一度読んだデータがいつまでもプロキシの中に ていると思うが、「最新のデータは読めるのか?」という点が ば、国土交通省のサーバ負担はかなり減らせることになる。 ただこの方法は「両刃の剣」。想像力が働く人はもう気づい

斉に同じ図を読もうとしても、同じプロキシの設定をしていれ

が気になる人は流域に大ぜいいるだろうが、そうした方々が一

かないから、サーバの負担が減るわけだ。大雨の時、川の水位

効期限の管理が正しくできていれば」の話だが。 水位を知ることができるようになる。ただし、「プロキシで有 に次回の更新時刻を指定しておけば、プロキシ経由でも最新の タは 10 分ごとに更新されていたから、「レスポンスヘッダ」 ら読み直して要求者に送ることになる。 の間でしか有効ではない」という点。だから、「プロキシ」と いうものを知らないでネットを使っている人が多い現状では、 もうひとつの欠点は、「同じプロキシの設定をしている人と 国土交通省の水位デー

れたデータが有効期限を過ぎていたら、それは使わず配信元か

あり、そこにデータ有効期限を指定できる。プロキシに保存さ

付加する仕組みとして「レスポンスヘッダ」と呼ばれるものが

データを送るだけで済む。すると、災害時に起きがちな「輻 ぞ知るところだろう。 うな気もするが……実際はどうなのだろうか。それは業者のみ れる。だから、接続業者側にそうした仕組みがあってもいいよ 輳」のようなトラフィックの混雑を緩和できる可能性も考えら 用者に届けてくれるから、配信元はその業者のプロキシに1度 者が一斉に同じデータを読みに行っても、プロキシが全ての利 ただ、防災情報を提供する側は、せめてその「有効期限」情

その接続業者にある同じプロキシの設定ができれば、その利用

続業者(携帯電話業者やプロバイダなど)を使っている人が、

プロキシはあまり有効ではないのかもしれない。せめて同じ接

報を常に付加しておくようにすれば、プロキシを「使っている 人」の分だけは、サーバの負担を減らせるかもしれない。

★ 配信元でサーバの負担を減らす手段

て、CDN (Content Delivery Network) というサービス 情報を提供する側でできる他の対策とし

もあるらしい。これは、述べた「プロキシ」を世界規模に拡大

を減らそうという仕組みとか。ただ、利用可能なのは、静的 た地域に一番近いサーバから提供をすることで、全体的な負担 に情報を保存/提供できるサーバを置き、データの要求があっ したようなもの。このサービスの提供をする業者は、世界各地 になるような仕組みを入れておき、そっちに適当に割り振るこ 場所に設置した「副機」のサーバに、自動的に本機と同じ内容 るような使い方。たとえば、「本機」とは別の回線につながる 容を提供できる予備のサーバを置いて、適当にそちらに割り振 だ。そもそも多摩川周辺の状況を知りたい人が「世界中に」居 るとも思えないし。 使うとするなら「ミラーサーバー」あたりだろうか。 同じ内

データ……つまり、時間経過によって変化しないものに限られ

な、刻々と変わる「川の水位データ」などではむずかしそう

果報告」のようなウェブ記事なら利用できるが、今回のよう

るようだが。たとえば、一度掲載したら変わることのない「結

でデータ量を減らし、同じ通信容量でも多くの人に届くように 線につながる場所に「ミラーリング」し、適度に「割り振り」 信回線を使っている部署の中に置いても意味がない。異なる回 ウェブ記事の標準形式である HTML は、本文の文字以外に

## ★ 「テキスト」による情報提供の問題点と回避策 ができるようにしておくことが必要になるだろう。 結論としては、やはり「文字だけの提供にする」などの方法

とで、アクセスをそれぞれ半分にはできる。もちろん、同じ通

も、画像の配置や文字の色、大きさの指定ができ、複雑なレイ

工夫するのが最善ではないかと思う。

さなどは関係ないうえ、HTML の複雑なレイアウトでは、読 起きない。視覚障害者が「音読ソフトで聞く」場合、色や大き プレーンテキストでは「レイアウトが崩れる」といったことは 改行が、ほぼそのままの順番で表示される。だから、基本的に 度。しかもそれは、文書を作成した側で入れた文とスペースと かろうじて「レイアウト」として、スペースと改行が使える程 で、画像はもちろん、文字の色や大きさの指定さえできない。 もに表示しない可能性もある。一方、「文字だけ」の形式は やブラウザの違いにより表示に差が出ることもあり、最悪まと アウトなどの情報も含んでいる。前述したように、規格の新旧 「プレーンテキスト形式」と呼ばれるが、本当に「文字だけ」

字化け」の原因は「文字コード」の扱いが作成者と閲覧者で異 を起こし易くて、起きてしまうと読めなくなることがある」と まれる。文書作成時に文の順番がちぐはぐにならないよう気を 対し、「プレーンテキスト形式」なら記述された順番通りに読 いところだが、プレーンテキストの最大の欠点は、「文字化け じつは、古いパソコンで読めなくなることはなかった。「文 だから防災情報も「プレーンテキスト形式で……」と言いた 「音読ソフト」で聞き易いのは理解しても

らえるだろう。

つけられていれば、

いう点。

む順番が聞きたい順番と必ずしも合っていないこともあるのに

ばれるブラウザでも、文字コード(エンコード)の設定画面は まうことがあるのを確認している。こちらも、文字化けしてし あるものの、正確に反映されず、やはり文字化けを起こしてし といけない。また IE(インターネットエクスプローラ)と呼 用者側で「アドイン」と呼ばれる追加機能を読んで設定しない てしまっている。文字コードの設定をして読みたい場合は、 を設定し直して読み直す機能が「そのままでは」使えなくなっ なってしまうために起こるのだが、ブラウザに、閲覧者が文字 ム)と呼ばれるブラウザの最近のバージョンでは、文字コード コードを指定して表示させる方法が用意されていたのだ。 残念ながら「い『た』」という過去形だ。Chrome(クロー

うのなら、そのブラウザにしても読めなかった場合の責任は ジョンのものの話。「読めないぞー!」というクレームに対し て言っていないなら、それは無責任というものだろう。 て、「サポート対象の最新のブラウザをお使いください」と言 が多く、しかも筆者が使っているものよりずっと新しいバー まったら、やはり「プレーンテキスト形式」は見れない。 い。強制するつもりはないが、使うなら他のブラウザをお薦め 「お使いください」と言った側にあると思うが。そこまで考え じつは、どちらのブラウザも「サポート対象」とされること ただ、既に述べたように、筆者はそのどちらも使っていな

したいところ。

勝手に言っているだけだが。 いわば HTML とプレーンテキス ことはある。と言っても「準プレーンテキスト」とは、筆者が 妥協案としては、「準プレーンテキスト」という方法もある http://treeware.jp-help.net/?ssss1 ▼ 参考: プレーンテキスト文字化けのブラウザとサーバ対策

84





http://treeware.jp-help.net/?ssss2 ▼ 参考: 準プレーンテキスト形式

な機械でも直接受け取れるデータ形式」であり、たいてい「以

るべきだと思う。「多くの人が受信できる方式」とは、「どん

あれば、「多くの人が受信できる方式」が採用されていてしか

「防災情報」のような命に関わる情報を配信するので

受け取れない人」を増やしているような気がして仕方がない。

昨今の通信事情は、様々な利権が絡むことで、「防災情報を

◆ サイト設計上の問題のまとめ

210	/	3

アプリを読ませたりなど、配信する側の思惑で、防災情報と直 オを聴く地域を制限するためのスクリプト、時として受信専用 多い。広告の画像と、それがクリックされた時の処理や、ラジ とどまらず、ラジオなら音声データだけにとどまらないことも 報」を受け取れなくなる可能性が出てくる。 るような者は、そうした「最新の」方式で配信される「防災情 式や機器のみサポート対象としてしまうことが多い。 昨今のウェブを使った記事やラジオ音声は、「最新の」通信方 前より使われて来た」方式だ。ところが、述べてきたように、 一方、その「最新の方式」というのは、記事なら文字だけに すると筆者のように、事情があって古い機械を使い続けてい

リプトなども仕込めなくなるやらで面倒。だから、そうしたク 格」に合わせて配信すると、コストがかかるやら、広告やスク オ運営側にクレームを入れたところで、誰でも聴ける「古い規 れない者が、「ウェブラジオが聴けなかったぞ!」などとラジ 地域の人も聴ける」ような方式は採用しないだろうし、別途 ろうとも、「広告表示ができない」とか、「広告に関係のない 接関係のない様々なデータが上乗せされる。 いたい。ウェブラジオなら、たとえ「誰でも聴ける方式」であ い。だから、筆者のように「最新の機械」が簡単に手に入れら 「誰でも聴ける」方式で配信するようなコストもかけたくな 利益を優先する民間業者側は、広告を見てクリックしてもら

可能性を高める。一旦超えると「輻輳」が起きて、通信障害に ら、イザ台風や大雨になり、防災情報を「見たい、聴きた 通信量を増大させる原因になる。 送信するデータ量が増えるか 報」の記事や音声以外の様々なデータが上乗せされる。当然、 うした意味だろう。 になる。「最新の機器でお聴きください」といった対応は、そ て古い機械しか使えない人は見捨てたほうがラク、ということ けているだろうから問題ない」と一方的に解釈し、事情があっ い!」という人が増えた時に、関連サイトの送信容量を超える レームは門前払いして「最新機器を持っている人ならみんな聴 しかし、前述のように、業者が好む配信方式は、「防災情

ごく一部と思っていて、防災情報を聴けずに逃げ遅れるのはさ 古い機械でも見たり聴いたりできる方法はある。「流されても れても構わないと思っているのだろうか。述べてきたように、 らにその一部だろうから、その程度は大雨で川が氾濫して流さ なっているような気がする。実際、調布市サイトも国土交通省 の水位の画像も見れなくなった。防災情報提供の体制が、これ ひょっとするとラジオ運営側は、最新の機器で聴けない者は

でいいのだろうか。

に「混み合って見れない、聴けない」事態を発生させる原因に

つながる可能性も高め、結果として防災情報を手に入れたい時

ませるのだろう。一方で、「上の人」がどんなに防災情報を ないならあきらめてね」というような「門前払い」の対応で済 ら、古い方式しか聴けない人には「新しい機械を手に入れられ 広告の表示や聴く人を制限するような小細工を「したい!」か を「丸投げ」された営利優先の民間企業は、述べてきたような 聴ける人を増やしていいはずだ。ただ残念ながら、ラジオ運営 仕方ないね」と思っていないなら、まずその方法……つまり 「最新の機器ではなくても聴ける方法」を採用し、 「広く伝えたい」と考えていても、丸投げされた業者からは、 「最新の機器を持っていればいくらでも聴けますよ」とだけ伝 小細工を仕込めない「古い配信規格」は採用しない。だか 防災情報を

人が助かる道は「防災情報をしっかり得る」ことではないだろ るかもしれないが、それはほんの一部だろう。つまり、多くの にできた理由は何か。危機を察知する「勘」が鋭かった人もい と、「適切に避難できた人」ではないのか。では、避難が適切 とか、何かにしがみ付いていて流されずに済んだ)人を除く えるべきだろう。流されかけたものの助かった(救助されたり るような気がする。 い。こうして、聴けない人が残り続ける構図が固定化されてい 浸水した地域で「流されずに済んだ人」とはどんな人だか考

えられて、「古い機械では聴けない人が出る」ことは伝えな

が、得られなければその機会は失なわれ、それで流されてしま された利益優先の業者が「最新機器でなければ防災情報が得ら クレームが(流された人から)来ないのをいいことに、丸投げ んだ!」とクレームを言って来ることなどないのだ。そうした に!」とか、あるいは「ラジオが聴けなかったから逃げ遅れた れた人が「ネットの記事が見れていたら流されずに済んだの で洪水の被害が増加し、流されてしまう人も出ているが、流さ うのではないか。 れれば、「ヤバい! 避難しよう」ということにもなるだろう 繰り返しで恐縮だが「死人に口なし」なのだ。あちらこちら

うか。近くで氾濫したとか、堤防が決壊したなどの情報が得ら

人」が出ないようにすべきではないのか。つまり、防災情報 種類や新旧を問わず、「様々な手段と受信機器で得られ 貧乏人を殺す行政の構造 石川 雅章

218 / 384

を感じるなら、そうした「流されてクレームを言えなくなる

る」ようにしておくべきだろう。

れない」ような状態を放置している限り、流される人が出る要

因も残り続けるように思う。 防災情報を提供する側が「責任」

防災や観測システムに対する疑問

ここからは、ハードウエアや、人的システムについて考えて

「携帯電話やスマホ向けの情報提供に偏り過ぎではないか」

も、「近くの水位計測点が観測不能になる」など、正確に測定 と書いたが、もちろん、たとえ携帯電話やスマホを持っていて 石川 雅章

た。直前まで、「警戒水位」を超えた数値を見て、ハラハラし 値を得られない状態が起きるようでは、「イザ!」って時に役 に立たない。 何より、「平常(水位ゼロ)」の表示を見た時はおどろい

するとは限らない。重大な問題だと思うことは、もし「平常」 が、「平常なわけがないだろ。故障だ」という判断を必ずしも ぜ犠牲者が多かったのか」を検証するのはむずかしい点。 れて亡くなったり行方不明になる人が多数いたとしても、「な の表示を見て安心してしまったことが原因で避難が遅れ、流さ ていたのだから。 んじゃったの」などと証言してくれる犠牲者などいないのだか 「だって『平常』って表示を見て安心していたら、流されて死 ネットで「平常」という表示を「たまたま最初に」見た人 石川 雅章 220 / 貧乏人を殺す行政の構造

それだって、それまでもずっと水位が増え続けていたのを見て は平常ではなく観測不能になった可能性があると判断したが、 う可能性もある。筆者はひとつ上流や下流の水位も見て、実際 国の治水は優秀だ!」と思い込み、そのまま安心して寝てしま 数字を見た人は、「なーんだ、何とかなったんだ。やはりこの ま「水位ゼロ」と表示された時に、初めてそのサイトを訪れて ウェブサイトというのは、いつでも誰でも見れるもの。たまたた」人は気づく。しかし、ずっと見ている人ばかりではない。 だろ!」と思う人もいるだろう。その通りだ。「ずっと見てい いたからこそできた判断。最初に「平常」の表示を見た人が、 こういうことを言うと「ずっと見ていれば『異常』と分かる

そのように「念のため」にひとつずつ上流と下流の観測点も調

べるに至る慎重派が、どれほどいるのか。 述べた通り、実際に氾濫で流されてしまった人が、「いやぁ

くれることなどない。言い方を換えれば、観測不能となった時 ~『水位ゼロ』を見て安心して寝てしまって……」と証言して

「水位ゼロ」と表示されるシステムが犠牲者を出す……出して

◆ 忘れられていく「フェイルセーフ」 いた可能性さえあるのではないか。

「フェイルセーフ」という工学用語があるが、最近は「死

るようになってしまった時、「そこが真っ先に断線する」こと ズ」という部品は、家電製品が故障によって電流が過剰に流れ ない壊れ方」をするように設計すること。たとえば「ヒュー 「フェイルセーフ」というのは、簡単に言うと、「損失の少 語」となりつつあるような気がして、懸念している。

が流れたままになって機器が加熱され、火傷や火災につながる で、本体が大きなダメージを受けるのを防いだり、過剰な電流 コールについて相談を受け、某病院に呼ばれたことがあった。 かつて手が不自由になってしまった入院患者さんのナース

ことを防止できる。

で、このタイプのスイッチが使われるのが一般的だろうと考え ナースコールのシステムは、その「フェイルセーフ」の観点 通常は導通していて、「押した時に導通が切れる」仕組みで、 た。「メークタイプ」の反対は「ブレークタイプ」と呼ばれ、 み。ただ、ナースコールで使うのは一般的ではないと考えてい 的な押しボタンスイッチで、押している間だけ導通する仕組 れていたこと。「メークタイプ」とは「呼び鈴」のような一般 院のナースコールの設備に「メークタイプ」のスイッチが使わ 案して、作成したのだった。ちょっとおどろいたのは、その病 ひらを置いて、指を横に動かせば使える」ようなスイッチを提 通常のナースコール用スイッチを持てないため、筆者が「手の

がある。その時は、「病院がこんなシステムを採用していて大 丈夫なのだろうか」と思ったのだった。 した「押す時まで断線に気づかない」状況が起こりうる危険性 スコールに「メークタイプ」のスイッチを使うことには、こう る」ことになってしまう。緊急時に使われる可能性もあるナー プ」のスイッチでは、故障で断線しても「押す時まで気づかな い」ことになる。いや、最悪「故障に気づかないまま押し続け

押していなければ「故障した」と気づける。逆に「メークタイ

線した時もコールが鳴る」ことになるから、その時にボタンを

ていた。なぜなら、そのスイッチを使うと「導通が切れた時に

コールが鳴る」設計になるわけだが、すると、当然「故障で断

ルセーフ』の観点で危険です」と。さて、受ける待遇は以下の ロ「新入社員のクセに我が社の実績を否定するとは何サマ □「その通りだ」と評価され、早速ブレークタイプが検討さ だ!?」と思われ、追い出される。

どちらだろうか。

ブレークタイプのスイッチを使うものにしなければ、『フェイ

者からはこう言うと思う。「このナースコールじゃダメです。

コールの製造メーカーに就職していたら、どうなるだろう。筆

ついでに言わせてもらうと、もし筆者が、この病院かナース

まで設計ができていれば、ウェブ上では「999m」ではなく 没する値。誰もが見て「故障だ」と気づくだろう。ただ、そこ になっていたらどうだったろうか。高尾山もスカイツリーも水 なった時、「ゼロ」ではなく、「水位 999m」と値が出る設計 と違うほうではないのか。人命尊重を主張すると、低収入に甘 かだ。しかし、今の日本の組織から実際に受ける待遇は、それ んじるしかないのが今の社会だ。 話を水位に戻そう。今回の水位計の場合、もし観測不能と 貧乏人を殺す行政の構造

を重要視すれば、組織として正しい対応がどちらなのかは明ら

「ナースコール」という機器が人命に関わる可能性がある点

ではなく「閉局」と表示される設計にすべきだったように思 「閉局」とするなら、測定不能となった「時点で」、「ゼロ」 「測定不能」と表示することもできるだろう。今回のように

「ヒューマンエラー」前提で考えるべき

が、そこでは、直前数回分の水位も「必ず表示」して読めるよ なった」ことが見て分かるが、実際にそうなるとは考えにくい うになっていた。この場合は「水位が突然平常 (0.0m) に 点の水位の数値だけが見れる国土交通省のサイトを見ていた 「川の防災サイト」で水位の図が見れなくなって以降、観測

0.0m」の表示「だけ」を見て、「なんだ、安全じゃん」と解 にしておいたほうがいいはずだ。 きたのなら、明らかに「異常」と分かるような表示になるよう 釈してしまう人が、やはりいないとも限らない。「異常」が起 面を作っていたと思われる。初めて見るその画面で「平常 解釈をしないとも限らない。 放水路が適切に機能して安全になったのだろう」などと勝手な 水技術を過信した人が、突然の「O.Om」の表示を「どっかの から、ある程度「異常が生じた」と判断できるかもしれない。 しかし、世の中には様々な考え方をする人がいる。日本の治 おそらくは Yahoo! の水位のサイトも、同じデータから画

りかねない。防災上重要な機器やシステムの設計こそ、 に関わる」ような「大きな損失」を出してしまう事故につなが ないが、限りなくゼロに近づける工夫が求められる。ある意味 く、間違いを起こすものなので、これをゼロにすることはでき 問題は「ヒューマンエラー」と呼ばれる。人間に「絶対」はな 断してしまう「思い込み」のように、人間側に主な要因のある ンエラーは、場合によっては「逃げ遅れ」につながり、「人命 ことでもあると思う。 「フェイルセーフ」というのも、その点を考慮した設計にする 「水位ゼロ」を見て大丈夫だと「思い込む」ようなヒューマ この「0.0m」の表示をパッと見ただけで「大丈夫だ」と判

をされていてしかるべきだと思う。 「ヒューマンエラー」をどう抑えるのかに重点が置かれた設計 231

たとえば「鉄道」。

く行っていた。仕事場近くの出口が一番前にあったため、いつ 以前、仕事で「南砂町(みなみすなまち)」という駅までよ 石川 雅章

が鳴ると同時に、制御盤の「普通」という表示が点滅してい までは聞かない音だ。 も一番前の車両に乗っていたのだが、その駅に着く直前、必ず 「ピーピーピー……」という音が聞こえていた。その手前の駅 たまたま運転席を見たら、何となくその理由が分かった。音

わるとは思えないが、「降りたかった駅を通過され、出席すべ よっては「別な音」のアラームで。 し、「通過すべき駅だ」と伝えているかもしれない。場合に ると、快速も同様にアラームが鳴って「快速」の文字が点滅 認を促すアラームだと思われる。 は『快速』ではなく『普通』電車だから、停車せよ」という確 た。じつはその駅、快速電車の最初の通過駅。運転手に「これ 口ではない。筆者は快速に乗ったことがないのだが、もしかす 「快速」の電車を運転していたりすると、混乱する可能性はゼ どんなベテランの運転手でも、ある時は「普通」、ある時は 間違って駅を通過したり停車したりしたところで人の命に関

すその仕組みは、「ヒューマンエラー」により多くの人に損失 路を切り替える時、切り替えレバーを操作する時に使う小さな ピュータ」のことだが、鉄道で使われるタブレットは、進行線 る程度。今「タブレット」と言うと「タッチパネル式のコン 者は、子供の頃に地方の路線で使われているのを見たことがあ あった。「懐かしい!」と思った人は、それなりの歳の人。筆 が出ることを防止するために役立っているはずだ。 の「直前」で、運転している列車の種別が何であるか確認を促 りの「損失」を与えてしまいかねず、信用低下につながる。駅 き会議に出られなかった」ような利用者が多く居ると、それな 「鉄道」と言えば、昔は「タブレット」と呼ばれる仕組みが

仕組みはそうした事故の防止になっていた。この「タブレッ ようなことを不可能にしている。 列車が間違った方向の線路に まり、列車到着前に「うっかりポイントを切り替えてしまう」 は、ポイント切り替え前にはそこにはなく、そのポイント近く ト」も「ヒューマンエラー」を防ぐうまい仕組みだった。 入ってしまうと「衝突」が起きてしまう可能性もあるが、この に来てポイントを通過し、タブレットを駅員に渡してレバーに の駅に停車か通過かする列車が持っている。その列車がその駅 ハメ込まなければ「ポイントが切り替えられない」仕組み。つ

ば、線路が「切り替えられない」ようになっている。その部品

部品のことで、それをレバーの所定の場所にハメ込まなけれ

りで検索してみるといいと思う。

かもしれない。興味を持った方は、

「鉄道、タブレット」あた

「だった」と過去形だが、まだ使われている地方の路線もある

## ★ 形骸化する「検査」

ただ残念ながら最近は、そうした「ヒューマンエラー防止」

のための設計が軽視されつつあるような気がして仕方がない。

改ざん、基礎杭が地下の岩盤にまで届いていなかったために傾 いたビル、建築基準が満たされていないことが発覚し、建て替 飛ばしや、新幹線の台車の亀裂、ビルの免震機構用ゴムの性能 ここ数年のうちに起きたことで言えば、自動車メーカーの検査 れぞれの結果が別の担当者によって照合される……そんなシス えば製品検査であれば、複数部署の担当者により試験され、そ になっていれば、防げたものもあるのではないだろうか。たと て起きる可能性のある「ヒューマンエラー」を防止する仕組み 多いが、そもそも、製品試験の手順の誤りなどで、意図せずし ていたのか。 がする。いったい、そこに乗る人や住む人を何人危険にさらし 起こりそうにないことばかり、立て続けに起きているような気 えのため多くの住人が追い出されたアパート経営企業……と、 いずれも「安全性」が最重要視された対策がとられていれば、 挙げた例は主に「改ざん」や「偽装」など、意図的なものもいって

部署で部品を見続けて来たようなベテランを割り当てると高く 検査は1回、担当者も一人にする。その担当者も、長い間その 減」だ。複数回、複数人数で検査するとコストがかかるため、 製品」が出荷されることなどないはずだ。 品の出荷に「待った」がかかるようになっていれば、「危険な るから、直ぐに発覚するだろう。そこでキチンと、該当する製 検査結果を不正に改ざんしたりすれば、照合結果が合わなくな テムであれば、誰かひとりが検査方法を間違ったり、あるいは の契約社員を割り当てたり……と、いくらでも「見落とし」が つくから、そういう人はリストラしてしまい、派遣社員や短期 しかし、今「メーカー」が躍起になっているのは「コスト削

まうとどうなるか。そうしたタイプの人は、不良品がなぜ出た 組みなら、どんな人が検査しようと問題はない。が、もしそう む原因が特定され解消されるなど、確実に改善に活かされる仕 不良品が出たのかの原因が徹底的に調べられ、製造ラインに潜 良品が出たことが発覚した時に、現場の責任者の指示で、なぜ れるのならいい。つまり、その「検査」が厳格に行なわれ、不 のかの原因を調べずに、「不良品を出すな!」と、現場の人に した「不良品を出さない」使命を「パワハラな者」が担ってし

なって来たのではないか。それでも、適切にフィードバックさ

にして、どんどん「ヒューマンエラー」が起き易いシステムに

発生し易く、「改ざん」も可能な状態になっていく。このよう

意味が形骸化していき、その「綻び」の「連鎖」が、最近連続 られずに済む「得策」ということになる。こうして「検査」の ら、数字だけでも試験をパスしたよう見せかけることが、責め められた側は、自分に製造上の責任があるわけでなければ、 場で「検査する人」を強く責めまくるようなことになれば、 不良品が出た時、製造工程に関わる人かどうかに関係なく、 している不祥事の根底にあるような気がする。 いした報酬でもないのに責められるのは割に合わない。だった 末端で働く人や製品の利用者がさせられている……といっ 「コスト削減」を名目にベテランを切った経営者の尻拭い

「圧力」をかけることで解決しようとするのではないか。 いざ

た構図に見える。

★ クレームを受け付けず「フィードバック」が働かない

達システムというのは、その「フィードバック」を構築しづら そうした意味では、一般向けに公開される「防災情報」の伝

いというのはあるかもしれない。おそらく、防災情報を発信す 石川

はいえ、それはある意味、その方法の配信に費やした税金が 信方法ごとに「末端の人がその方法でどの程度受信できている る自治体や行政は、様々な方法で発信しているだろうが、各発 か調べる仕組みを作れ」と言われてもパッと思いつかない。と 「役に立っているのかどうか」でもあるわけだから、何とかそ 貧乏人を殺す行政の構造

運営側に知らせているようなもの。本来なら、情報を受け取れ 聴けなかった」などのクレームは、そうした情報提供のシステ る。それが「クレーム」だ。「防災情報が見れなかった」と に届かない」状態が放置されてしまい、税金を無駄にし続けて うか評価されないままになり、今回のように「防災情報が末端 の仕組みを作っておかないと、 ムが適切に機能せず、防災情報が行き届かない人がいることを いのか分からなかった」とか、「ウェブラジオがどうやっても か、「防災情報サイトを見たものの、どこをクリックすればい しまうのではないか。 じつは「フィードバック」に当たるものも、あることはあ その発信方法で「正しい」かど を好み、コストがかかることを嫌う。たとえばウェブラジオの 投げ」をしてしまうからではないか。何度も言って来たよう につながっていないのが現実ではないか。 という、実質的な「門前払い」になることが多いと思われる。 さい」とか、「サポート対象のブラウザでご覧ください」など ない人を減らす改善のためのいい機会になるはずだ。 に、営利優先の民間企業は、利用者を「囲い込み」できる方法 いだろう」的感覚で、防災情報が行き届かない人を減らすこと 「きっと最新機器を手に入れられない人などごく少数だからい しかし! 運営側の対応というと、「最新の機器をお使いくだ なぜそうした対応になるかといえば、やはり民間企業に「丸

任されても、実際にはクレームに「対応せず」に門前払いし 担当者ほど重宝されるだろう。「クレーム担当」とか言われて ほどいい。その点では、クレームが来てもそれを「上げない」 うした状態を長く温存させたい業者は、クレームを受け付ける 言って指定し、他での表示は確認せずに済んだほうがラク。そ 手間がかかるから、特定のブラウザを「サポート対象」とか ラウザでレイアウトが正しく表示できるようにしようとすると る」ようなコストはかけたくない。ウェブ記事なら、様々なブ 方式」を採用し、一方で「誰でも聴ける方式で同時に配信す とその対策やら改善やらが必要になるから、クレームは少ない

配信方法なら「広告も一緒に表示してクリック受け付け可能な

引き上げられたら、どんな経営になるだろうか。 か。そしてもし、それら「高い評価」の人たちばかり経営者に らない数値を出さない人」が「優秀な者」だったのではない か。部品の検査飛ばしを長年見逃してきた自動車メーカーに似 好んで就かせる傾向が強くなっていったとしても不思議ではな れる』優秀な者」として評価が高くなり、現場にそうした者を まう者のほうが、上の者から見れば「クレームを『減らしてく て、「上に上げるほどのクレームはない」ということにしてし たような構図を感じる。ひょっとすると、そこでも「検査を诵 しかし、そうした慣習が長く続くとどうなっていくだろう

配信システムでの話なら、 見たことがない。 責任」が明確にされて来たか。残念ながらその手のニュースは けないと思う。しかし、最近の経営者は、そこまで考えていな される可能性が、いくらでもあるようなシステムであってはい バック」されることで改善を進める上で必要なことが、 と、改善すべき点が分からないままになる。それが防災情報の いように見える。実際、述べてきた不正でどれほど「経営者の 「ヒューマンエラー」や意図的な不正、門前払いなどでスルー 本来「検査」とか「クレーム処理」など、適切に「フィード 「クレーム」を活かす「フィードバック」が適切に働かない 「防災情報が受信できない」とク

が、「防災情報が受信できなかったから流されてしまったん と、「いじめの『報告が』ほとんどない」こととで、どちらが ととで、どちらが好ましい状態なのだろうか。一概には言えな に働かないと、改善されずに死人が出ていたとしても、調べよ だ」などと証言はできない。つまり「フィードバック」が適切 最終的にそうした人が洪水で流されてしまう可能性も消せな レームする人がいても、解消されずに残ることになるわけで、 いが、ちょうど、学校からの「いじめの『報告が』多い」こと い。そして、何度も言うように、実際に流されてしまった人 「クレームが多い」ことと、「クレームがほとんどない」こ

うがないのだ。

好ましい状態と言えるのかと対比させて考えてもいいように思 「責任回避」の手練手管(てれんてくだ)

筆者はフリーランスなので、どこかの企業や団体、チームの

一員となるような仕事の仕方はあまりないが、それでも「報・

に重要になるのは、周囲との「報告、連絡、相談」であるとい 連・相」 くらいは知っている。 「チームの一員」 として働く時

と離れて入所施設で暮らしている方への指導で、メールで連絡 う話……意味的にダブっている感じがしなくもないが。 筆者は障害を持つ人にパソコンを教えることがあるが、家族

足にもなるだろうと考えているのだが……。 神奈川県では、今回の災害の救援で町役場に到着した

★ 行政には通用しない「報・連・相」

ど、本人から家族へのメールなどだけでは分からない部分の補

がつく家族には、指導後にその日のようすをほぼ毎回報告して

離れた場所で暮らしているわけだから、その日の状況な

隊に要請を出すことになっていたらしく、この時は間に合いそ

は、まず県が検討し、それで間に合わないと判断した時に自衛

に撤退するということがあったらしい。どうやら給水車の派遣

自衛隊の給水車が、県からの派遣の要請がなかったことを理由

たことを把握していなかったような感じだ。もし到着を知って ている。内容から察するに、自衛隊の給水車が既に到着してい 脱水症で体調が悪化する人が出てしまっていた可能性もある。 時間ほど経ってからとか。夏場の暑い時期だったら、その間に うだったため、県から自衛隊に派遣の要請を出さなかったらし い。ただ、実際に県の給水車が到着したのは、自衛隊撤退後5 ちなみに、この事例について神奈川県は「お詫び」を掲載し 現場の自衛隊員に「ではそのまま給水をお願いしま

す」と要請していたのかもしれない。 http://www.pref.kanagawa.jp/docs/j8g/cnt/taihu2019/yamakita\_comment.html ▼ 台風19 号の被害に伴う山北町の給水支援について - 神奈川県

といった文言は出てくるが、「ではどうするのか」的な内容は 題」になるから、お役人はやらないのかも。実際、この手の な記事はまず見ない。まぁ、あんまり詳しく調べると「責任問 ば、そこに居た人たちは5時間も水を我慢せずに済んだかもし たけど県側が無視したのか、気付かなかったのか。「報・連・ 給水可能である旨を県側に伝えなかったのか。あるいは、 相」を密に連携することが防災システムに組み入れられていれ 「不手際」では、「お詫び」とか「真摯に受け止め……」など ただ、「なぜ5時間もかかったのか」を詳しく検証するよう それにしても、現場にいた町役場の職員も自衛隊員も、

るのだろう。 で、脱水症状で倒れる人でも居れば分かるが、たとえば「一人 た人は、生き返りでもしない限り、何も証言することはできな 牲者が出たとしても、 責任を重く受け止めずに済むと思ってい らなかったのなら仕方ない」と思ってもらえるから、たとえ犠 た」と言える状態を残しておけば、「どうすればいいのか分か ほとんど見たことがない。「どうすればいいか分からなかっ いのだ。今回のような、町役場という「誰もが見ている」場 のかもしれない。ただ、何度も言うように、実際に犠牲になっ の犠牲者が出るのではないかという気がする。いや、出ている しかし、それだから根本的な問題が残り続け、そのうち本当のプラン

★ 氷山の一角=「ハインリッヒの法則」 もしれないが、生き返ることなどない以上、こうした「お役所 連・相がしっかりできていれば助かったのかも」と分かるのか が来ることを知らなかった」などと証言が聞ければ、「報・ ら、「何の」犠牲になったかは検証のしようがない。「給水車 水症状でひっそり犠牲になったりすると、証言が聞けないか の連携不足」のような原因は、うやむやになっていくのが常だ

暮らし」や、人里離れた地域に住む人に連絡が行き届かず、脱

## 「ハインリッヒの法則」というのがある。1:29:300 という

と思う。

受信をしたくてもできずにあきらめている人はその 30 倍ほ ぞー」という「クレーム」もそうだ。1件クレームがあれば、 相」の連携がしっかりとできるような手を打つべきだと思うの ると脱水症で倒れる人がいた『かも』」の段階で「報・連・ はいなかったから「いいじゃないか」ではなくて、「へたをす う意味もある。給水車の件も、結果的に誰も脱水症で倒れた人 の。「だから、その 29 や 300 の対策をしておくべき」とい 故と、300 件ほど小・未事故(ヒヤリハット)があるというも 比率で、1件の大事故の「前」には、少なくとも 29 件の中事 ウェブラジオや防災情報提供サイトに対する「受信できない

300 分の1ということ。1件のクレームを「最新の機器で受信 きない)」人のうち、「受信できない」とクレームする人は が、さらに多い 300 倍いる可能性があるという解釈もでき してください」と門前払いすることが、どれほど防災情報の周 る。逆に言えば、末端で「受信できれば役に立つ(のに受信で

ど、そして、クレームするまでもないが、受信できるように

なっていれば、そこから防災情報を得て助かるかもしれない人

はなくても「責任は全くないとは言わないが、重くはない」と か。「想定していなかった」地域だから、そこで被害が出ても 人がいた場合に、行政としてどう対応することになっている なかった川でも氾濫が起きたらしい。もしそこで被害に遭った などと書いたが、当事者からは「そんなことはない!」と反発 「行政側に責任はない」で済ませるのか、あるいはそこまでで では、この例はどうか。 今回の台風では、ハザードマップで浸水被害が想定されてい

されそうだ。

おけば、「どうすればいいか分からなかったのなら仕方がな

い」と思ってもらえるから、責任を重く受け止めずに済む……

定されてない場所と確認したのに!」と証言してくれることは て、そこで流されてしまった人が「ハザードマップで浸水が想 するそれと、行政の責任としてどちらが重いのか。これだっ 予想されていたにも関わらずそこへ行って犠牲になった人に対 てしまう人も出るのではないか。逆にハザードマップで浸水が なっていた箇所だからこそ、安心してそこへ行って犠牲になっ だいたい、ハザードマップで「浸水は想定されていない」と してこそ「防災」であり、行政の責任なのではないだろうか。

しかし、どこが氾濫する可能性があるかを正しく判断・公表

いう解釈をしたりはしないだろうか。

都合で解釈されてしまう危険性があるということだ。 きるような「ハザードマップ」になっていなければ、読む側の い」と言われたところで、ではどういう意味なのかまで理解で 単に「浸水は想定されていない」と言った場合、以下の2つ

解釈されるのかを思い出してほしい。「そういう意味ではな

エラー」について述べた時、「ゼロ:平常」の水位表示をどう

はない」と言いたい当事者もいそうだ。しかし、「ヒューマン

「『浸水は想定されていない』というのは、そういう意味で

の解釈が考えられる。

プ」などに記載していたりしないだろうか。あるいは、前半部 出てしまう可能性もある。この後半部分だけ「ハザードマッ 釈されれば、そこへ行ってしまう人が現れて、最悪、犠牲者が 分かっていない」場所を「浸水しないと想定されている」と解 が前者の解釈をしてしまうと……つまり、「浸水するかどうか 明」の意味になる。記載した側は後者のつもりでも、読んだ側 しまう。前者は「安全」を宣言するに近いが、後者だと「不 後半部分が同じでも、前半の違いで意味合いがかなり違って ロ調査や検討が不十分なため「浸水は想定されていない」 ロ十分に調査・検討した結果「浸水は想定されていない」

ザードマップ」を作る意味などあるのか。異なる解釈ができて ザードマップを見る人は全員が落ち着いて全体を見るはずであ 残しておいて、責任を重く受け止めずに済むようにしている」 意味で使っていた場合、亡くなった人が証言できないのをいい かどうかの判断をどうすればいいか分からなかった」といった り、『慌て者』は見ない」なんて一方的な前提を元にして「ハ かないような掲載のされ方だったりはしないだろうか。「ハ 分が記載してあったとしても、落ち着いて全体を見ないと気付 ことに、「どうすればいいか分からないと言える状況をあえて しまうような記載は避けるべきだろう。 もし「浸水は想定されていない」という言葉を、「浸水する

だ。つまり、「区は十分に取り組んでいたのだから、それでも 調や低体温が死亡原因だったらしい。区の職員は「これまでの 金の滞納のために電気やガスも止められていたようで、栄養失 が困窮死しているのが見つかったというニュースがあった。料 ≯ 生活保護申請に「来ていなかった」の意味 くないのなら、「(浸水の可能性を)想定できなかったこと」 取り組みが不十分だったとは思っていない」と述べているそう この記事を書いている時にも、東京都江東区で、高齢の兄弟

に責任を負うべきではないかと思うのだが。

……そう思われてしまう危険性がないだろうか。そう思われた

が「私は行っていません」と喋るだろうか。つまり「来ていな 請をしに来た人』として扱わない」ことにしておけば、記録を け、「生活保護申請を認める条件を満たさなかった人は、『申 は、「申請に行ってさえいなかった」ということなのかどう だが、少なくとも江東区の役人の言葉からはそういう解釈はで みが十分ではなかったから死者が出た」のではないかと思うの 亡くなった2人は仕方がない」と解釈できる。筆者は「取り組 か。たとえ申請に行っても「門前払い」できる条件をつきつ い」というのは、あくまでもお役所側の主張。果たしてそれ 「生活保護」の申請には来なかったという話。しかし、遺体

きた」と主張できて、役人は「負い目」なく税金から報酬を受 た規定さえ「十分に」守っていれば「取り組みは十分にやって ら出さなくて済むうえ、たとえ死者が出ても、自分たちで作っ ら、役人は責任を取らずに済む。何より、生活保護費を税金か まえば「申請には行ったのに」という証言もされなくなるか ても、誰だか分からないうちに「門前払い」して記録に残さな 続き上は」いくらでも「申請には来なかった」ことにできるの 残さずに済む。つまり、 いようにすれば、誰が応対したのかも分からないし、死んでし ではないか。 何度も言うが「死人に口なし」である。生活保護の申請に来 お役所側で作った規定を適用し、「手

生活保護の申請に来ても、失業保険の受給期間中は「申請に来 調不良で失業した直後の人が、「まだ動けるうちに」と思って 保護対象にもできない」という「きまり」を作っておけば、体 け取れる期間の人は『困窮者』としては扱わない、だから生活 方的に適用し、「それで分からなかったのだから不十分ではな く調べずに、お役所の都合で作った「困窮度の評価方法」を一 ちがどういう状況に置かれているのか、という「末端」を詳し た人」として扱わなくて済むことになる。こうしたルールを てあるものなのか説明する必要もない。「困窮」に瀕する人た け続けられる。「十分な取り組み」というのが、どこまで考え い」と言っているだけではないか。たとえば、「失業保険が受

できる……つまり、死に瀕してしまう可能性を「想定」して、 てくれた機会を逃さず、来れなくなってしまいそうな人を感知 段が断たれてしまっていたら、「死」を待つのみだ。申請に来 のチャンスになってしまう可能性もある。一人暮らしの人がそ にとって、失業直後こそ、生活保護の申請に行ける最初で最後 生活保護の申請になど行きようがないのではないか。そんな人 は動けなくなってしまう可能性もある。そうなってからでは、 どいない」ことにできる。 作っておいて一方的に適用していれば、いくらでも「困窮者な の機会を逃してしまうと、料金の滞納で電話も使えず、連絡手 そもそも、体調不良で辞職した場合、 失業保険が切れた頃に

とが起きるように思う。 証し、その不十分だった部分を修正できなければ、また同じこ のだ」という認識を持って、「どこが不十分だったのか」を検 しまうのが、今の役人の神経だ。 人が死んでも「(死を)想定できなかった人だから仕方がな のだが、自分たちがして来た「取り組み」で感知できなかった うことは、そこまで十分ではなかったからだろうと筆者は思う こそ、「十分な」取り組みではないだろうか。死者が出たとい い」かのように、「取り組みは十分だった」とサラリと言えて こうしたことは、「取り組みが不十分だったから死者が出た

その人が動けなくなる前に手を差し伸べることができる仕組み

請に行ったけど追い返された」などと証言されることもない 抑えられるし、そうした方が何人亡くなっても、「生活保護申 定できなかった人」には生活保護を支給せずに済むから支出は 解釈されるか。その「想定できない人」を残しておけば、「想 責任を負うべきではないのだろうか。そうでない状態は、どう う思われたくないのならば、「想定できなかったこと」に対し ておき、責任を重く受け止めずに済むようにしている」……そ に、「どうすればいいか分からないと言える状況をあえて残し し、内部規定は「十分に守っていた」のだから、取り組みは 「不十分ではなかった」と言えて、責任は取らずに済むし、自 もう一度言う。亡くなった人が証言できないのをいいこと かった」と、サラリと言ってしまうくらいだから、もしかして か。あるいは、たとえ死者が出ても「取り組みは不十分ではな く、都知事も、厚生労働省も、この件で責任云々について言及 る」ことになるように思う。これをどう解釈されるかだ。 都合な点が多く、しかも責任も負わずに済む状態が温存でき した話は聞いていない。「同じ穴のムジナ」というヤツだろう そしてこの記事を書いている時点で、江東区長だけではな

が前提にあると、「亡くなってくれたほうがお役所にとって好

られる。「想定できなかったことは責任を負わずに済む」こと

分たち役人は一銭も減額されずに税金から報酬を受け取り続け

★ 「疑わしきは罰せず」が正しくないシチュエーション るような「内部規定」が存続し続けるのではないかという気が 都知事やらが改善を指示する機会もないだろうから、死人が出 とさえしていないとすると、その「上」……つまり、区長やら しているかもしれない。「上に」その詳しい経緯を知らせるこ いた以上は、「上に報告するまでもない」……といった解釈を 実際に「生活保護の対象者ではない人は、

て扱わない」といった内部規定があって、

それを十分に守って

申請に来たものとし

こんな書き方すると、さも「生活保護を支給したくないか

な意味に解釈できる。 か、「疑わしい」というだけで決めつけるべきでない……そん な条件を「あえて」設けるようなことを本当にしたのかどう も「疑い」であって、断定はできない。 犠牲者が出るようにしているのでは?」というのは、あくまで められそうだ。たしかに、「生活保護の対象者を減らすために 思っている。……なんて言うと「証拠はあるのか?」と問い詰 られるかもしれないが、筆者は実質的にはそうではないかと う必要のない条件』をあえて設けている」ような主張に受け取 「疑わしきは罰せず」という言葉もある。 死に追いやるよう 犠牲者が増えるよう、『生活保護の相談に来た人として扱

被告が犯罪を犯したと確実に言える「動かぬ証拠」がなければ と十分に疑わしい」としても「『疑い』ではダメ!」であり、 際に「罰」を与える判決が出せるのは、たとえ「犯罪を犯した り、原告は必ず「検察」のはずだ。その裁判を「裁く側」が実 場合の「被告」は「犯罪を犯したかどうか」を裁かれる者であ いけない……「疑わしきは罰せず」とは、そういうことである 「刑事裁判」ではない場合、 「疑わしきは罰せず」と

事事件の」判決、つまり「刑事裁判」での話だ。だから、この

べきだ。だいたい「罰する」とか「罰せず」というのは、「刑

しかしこの言葉、文字通り解釈できる「前提条件」を考える

が与えられた側に有利な判決を出してはいけないということ。 れても「疑い」を払拭できなかったのに、その「強力な権限」 だろう、ということだ。捜査のための「強力な権限」が与えら には疑いが残った」ようなことを罰せるのか……罰しちゃダメ 力がある。それでも「動かぬ証拠」が得られず、「有罪とする れた側には、どこにでもズケズケと踏み込んで調査できる強制 ら企業秘密やらを理由に拒否したくても、調査の権限が与えら め、強い権限が与えられる。調査される側が、プライバシーや 裁判」で犯罪を立証する捜査をする側は、その「捜査」のた いう言葉はどう解釈されるのが適切なのか。それには、 「刑事裁判で」その言葉が重要なのかを考えるべきだ。「刑事

思う。ではそれを今回のような刑事裁判「ではない」場合に当 持つ側を法的に有利な扱いにしてはいけない」ということだと を端的に表現したのが「疑わしきは罰せず」という言葉、とい 言えば、その「強い権限の側に有利な判決を出してはいけな ない」のであり、それが「原則的な法理論」ではないか。逆に 重要なのはそこ。「強い権限の側に有利な判決を出してはいけ い」という法理論の原則的な面を「刑事裁判」に適用した場合 今回は「生活保護の支給額を減らすために、あえて犠牲者が この法理論的な原則を一般に広げて考えれば、「強い権限を

うことだろう。

てはめるとどうなるか。

限」を持っている。だから、一般市民がその深いところまで調 ら「プライバシーの保護」やら、様々な「伝えなくてもいい権 調べようとしたところで、相手は「お役所」。「守秘義務」や すれば、誰がどういった考えで発案し盛り込んだのか、経緯を 出し渋って、死人が出る可能性」のあるような条件があったと る。が、調べる権限を与えてもらえるだろうか。「生活保護を らしめるような内部規定を設けていないか」を調べることにな

思ったら、今回の場合は役所に対し、「困窮者をあえて死に至

持ったこちらが、「本当にそうなのかどうか」を調べようと

るワケだが、この件で「強い権限を持つ側」はどこか。疑いを

出るような条件を設けているのでは?」なんて疑いをかけてい

ら、お役所自身がそれを証明する必要がある……筆者はそう考 条件を設けている『わけではない』」とお役所が主張するな それは「生活保護の支給額を減らすため、あえて犠牲者が出る 理論の原則に則って考えた時、どういう解釈になるだろうか。 いうことだ。 しても、一般市民がそれを調査したり解明したりはできないと 「強い権限を持つ側を有利な扱いにしてはいけない」という法 「強い権限を持つ側」がどこなのかは明白。では、これを 「内部規定」があるならそれらを全て公表し、もし「こ

らすために、あえて犠牲者が出るような条件を設けていた」と

べることはできない。つまり、本当に「生活保護の支給額を減

側」が説明する責任を負わされていない現状では、そうした責 求されるべきではないかと思う。しかし、「強い権限を持つ 来た人はみんな調べて記録を残す」ことにしていたら、死なず えば「失業保険の受給中か否かに関係なく、生活保護の申請に すべきだろう。と同時に、もしその条件がなかったら……たと るのもお役所側……つまり「強い権限を持つ側」だと思う。も は?」といった疑問を受けた時、何か避けられない理由があっ の条件では、生活保護を受けるべき人が受けられないので に済んだ人がいた可能性もあると分かれば、当然その責任も追 てその条件を設けているのなら、その理由を説明する責任があ し説明できないような条件をつけていたなら、その条件は撤廃

ることになるのではないだろうか。 任の追求から逃れられるような「内部規定」をいくらでも作れ

★ 役所の都合で一方的に作れる「聖域」

ような経験があり、そのためホームレスのような低所得者にい 当者が、過去にホームレスのような人から怖い目に遭わされた らだ。たとえば、もしも生活保護対応の「内部規定」を作る担 と、その「強い権限を持つ側」が「好き放題」できてしまうか い思いを持っておらず、そうした人を助けるどころか、むしろ 「法理論の原則」とまで強く主張しているのは、そうしない 「強い権限を持つ側を有利な扱いにしてはいけない」ことを にそうした私怨的な感情で作られた規定であったとしても、そ 情の説明は、役所の側はいくらでも拒否できる。だから、実際 ら」とか、「プライバシーに関わるから」と言えば、詳しい事 限など、一般市民には与えられないのだ。「守秘義務があるか られたのか……をお役所の内部まで踏み込んで詳しく調べる権 規定が、なぜあるのかとか、どのような経緯でその条件が決め 感知することができるのか。再度言っておくと、お役所の作る かに人道的に問題のある対応だが、それを一般人がどうやって なくて済む条件を盛り込んで対応している」としたら……明ら あえて「困窮死」の可能性を認識しつつ「生活保護の対象にし 「いなくなってほしい」……そんな感情を抱いているために、

を認識しつつ生活保護の申請に来た人を門前払いできるような そうした人が「いなくなる」ことを望み、「困窮死」の可能性 も、その内部規定に「十分に沿った対応」さえしていれば、 部規定」としていくらでも正当化できる。たとえ死者が出て 「対応は不十分ではなかった」と、サラリと言うことができて 「内部規定」を作って実際に門前払いを繰り返す。そのうち、 最初と最後をつなげれば、低所得者に悪い感情を持つ者が、

内部規定の条件に合わない人(たとえば『失業保険受給中の

人』など)が来ても、申請に来た人には含めない」対処も「内

れを一方的に適用できてしまう。「生活保護を受け付けられる

るなら、それを証明するのはそのお役所自身だと思う。それが て犠牲者が出そうな条件を設けた『わけではない』」と主張す ない」ということは、「生活保護の支給額を減らすため、あえ ……そんな感じだ。 ら、対応は不十分ではなかった」と言えるうえ、死んだ人から にしておけば、「(記録がないから)申請には来ていなかっ とになる。しかも、門前払いした人は「記録に残さない」規定 実際に「困窮死」する人が出れば、まんまと目的を果たせたこ た」ことにできるし、「規定には従って対応していたのだか 「生活保護の申請には行ったのに!」と反論されることもない 再度言うと、「強い権限を持つ側を有利な扱いにしてはいけ

★ 「知らないところで死んだ人」の責任はとらずに済む る」ことになってしまう。 それが分からないままになり、放置されれば「犠牲者が出続け め、あえて犠牲者が出るような条件を設けていた」としても、

か。そうでなかったら、本当に「生活保護の支給額を減らすた

応が不十分だった」と認識して、対応を考え直すべきではない

証明できないのなら、「困窮死する者が出た」こと自体を「対

も話題にするが、愛知県では、「徘徊していたらしき人が保護

人の出そうなことを実際にするワケがない」と。しかし、後で

おそらく、こう思っている人もいると思う……「お役所が死

ているが、消防が到着する前に職員はその場を離れているらし置したわけではなく、消防に連絡したうえでのこと」とは言っ ない」と言えるだろうか。やってしまうのが役人なのである。 えない。これで、「お役所が死人の出そうなことをするはずが 人に何かあっても「知ったこっちゃない」という対応としか思 ら、真冬の深夜に置き去りにしたりしないのではないか。その てしまったら……多少なりとも死に至る危険性を考えていたな の間に、道路で倒れ自動車に轢かれてしまったら……川に落ち 域に連れて行って置き去りにする」という事件があった。「放 され、県の職員が一旦引き取った後、対処に困って管轄外の地 い。徘徊していたとすれば、認知症の可能性も高い。到着まで

すると……置き去りにした部署としては、保護する手間が省け 人だけだが、その人が気付かなければ、いくらでも隠蔽できる された時、「何で一旦保護した人がまた保護されるのか?」と だったらしい。だから、置き去りにされたあと、2度目に保護 のではないだろうか。だから、置き去りにされて、道路で転倒 いた」ならどうなっていただろう。つまり、保護した部署が のが一般の人で、その通報で「愛知県の職員が最初に保護して しクルマに轢かれたり、川に落ちたりして死亡してしまったり いうことで発覚したとか。だが、もしこれが、最初に発見した 「置き去り」にもすることになる。他に知る人は通報した一般 愛知県の「置き去り」事件の場合、最初に保護したのは警察

すると、誰かが死に至る可能性を認識できる状態にありなが ていない『成功例』」があるのではないか。この場合の「成功 ら、お役所がそれを回避する手間を渋っていたことが「発覚し で暴れ出して逃走された。あとは守秘義務とプライバシー」と で、その人に「調査権限」が与えられることなどない。「途中 済む。第一発見者がそれを知ってどんなに不審に思ったところ たことになる。「死人に口なし」……部署に箝口令を敷いてお いうことにされたら、それ以上一般人には調べようがないの もしこれが「氷山の一角」だとしたら……つまり、ひょっと 調査の対象になることもなく、たいして責任も取らずに

はなかった」と言っているが……「死人に口なし」……まぁ、 区では2人ほど困窮死した事実に対して「取り組みは不十分で 例」とは……実際に死者が出る可能性もあるわけだが……江東 人を放置し、その責任を回避できる」ような「内部規定」を作 た主張がまかり通れば、いくらでも「死に瀕する可能性のある たのだから「責任はない」とか「不十分ではなかった」といっ 江東区の困窮死の場合も、お役所の内部規定に従った対応だっ いくらでも有利になるような仕組みにしてはいけないと思う。 いくら疑ったところで、前述したように調べようがないわけ 何度でも言いたい。お役所や行政など、強い権限を持つ側が

だ。「困窮死」も「孤独死」もなくならないはずだ。 べれば、お役所が自らの責任を考えなければならなくなるから 今のところ聞いたことがないし、今後も作られないだろう。調 在を明らかにするような部署がお役所内に作られたという話は うなものだが、そういった「困窮死」や「孤独死」の責任の所 のか」を詳しく述べてくれることなどない。だから、本来は 「なぜ死者が出たのか」の原因を調べる部署があってもよさそ こうしたことが放置されないようにするためには、 「死者や

れる。そのほうが手間はかからないし、「生活保護」の支給も

しなくて済む。いざ死者が出ても、当人が「自分はなぜ死んだ

費税」も払っていたろう。 そうした人が困窮死するということ 泉徴収」されていたかもしれないし、何か食べ物を買えば「消 てしまった人も働いていた時期があれば、給与から税金が「源 職員たちに「良心」はあるのだろうか。「法的に」問題は 納税者が納めた税金から報酬を受け取っている。困窮死し 「お役所が納税者を見捨てる」ようなものではないだろう

りたい放題」ができてしまうことになる。しかもお役人たち

お役所側が多少なりとも責任を負う仕組みがないと、「や

ら犠牲者が出たこと、事故を想定できなかったこと」に対し

ないのだろうか。

まいそうな人を、そうなる前にしっかり察知して手を差し伸べ まった」からではないか。逆に言えば、困窮死や孤独死してし 生するのかといえば、困窮死や孤独死する人を「見逃してし 独死の現場というのは「凄惨」であり、なぜそうした現場が発 か分かっているからだろう。つまりそういうこと。困窮死や孤 だろうが。でも、なぜ? そうした現場がいかに「凄惨」である と法律で義務付けてはどうだろう。確実に「やりたがらない」 活保護申請を受付けていた職員たちがやらなければならない、 あった現場の清掃は、外部委託を禁止し、亡くなった時期に生 任を負う仕組みとは……手始めに、「困窮死」や「孤独死」が では、死者やら犠牲者が出たことにお役所が多少なりとも責 である。これが、「困窮死や孤独死者が出てしまった事態」に も、その姿を門前払い「した人」が見ることはない。門前払い 前払いされた人が、もし孤独死して腐敗してドロドロになって 全て外部委託されているだろう。生活保護申請の受付窓口で門 らったほうがいいような気がする。今の制度では、清掃はほぼ 認識してもらうためにも、実際に現場を目の当たりにしても 防げるはずだし、それなら「清掃」の必要もないはずだ。そう られる行政であれば、凄惨な現場が自治体内に発生することも とができる。その人が生きていた時には税金を納めていたかも しれないが、役人にとってそんなことは知ったこっちゃないの し続けるだろうし、それでも税金から報酬を受け取り続けるこ

う。どちらもお役所の所業なのだ。 てしまう。一旦保護した人を夜中の寒空に置き去りにしてしま も困窮死したのに「取り組みは不十分ではなかった」と認識し 人がまだいるだろうか。述べてきたのは、起こった事実。2人 責任を負わずに済む状況が生む実状ではないか。 「本当に死に至らしめるようなことをするか」と思っている

言葉がある。その役所にとって不都合な出来事が、内部で気付 ★ 隠すつもりがなくても「いくらでも隠せる権限」 いた時期より多少後になってから発覚することはよくあり、そ お役所がよく言うセリフに「隠すつもりはなかった」という

署が「公表しないことになっていなかった」から公表したこと 象から外す」ような内部規定にしておけば、それに沿って対処 内部規定上は公表する対象ではなかった、ということだろう。 から公表しなかった「のではなく」、他の様々な事例も含め、 意味だと思われる。特にその事例が、お役所にとって不都合だ それは「内部規定で公表することになっていなかった」という ただ、述べてきたような「お役所のやり方」から解釈すれば、 している限り、いくらでも「隠すつもりはなく、元々そういう つまり、不都合な内容も含みそうなことは、当初から「公表対 の度に聞くセリフだ。これはおそらくその言葉の通りだろう。 『きまり』だった」という主張ができる。ただ、たまたま別部

務に関わる内容を含む『可能性がある』ことが分かった」とか も、「プライバシーを含む『可能性がある』」とか、「守秘義 だけだろう。言い換えれば、「公表する対象から除外する」と 様な事例が今後あっても、公表せずに済む対象や部署を広げる らく、内部規定を変更し、その明らかになってしまったのと同 まった」事例から、どういった対処がなされるだろうか。おそ いうこと。たとえば、それまで公表することになっていたもの したことに気づいたから……みたいに。 では「隠すつもりはなかった……けど、明らさまになってし

る置き去り事件が発覚したのは、「警察が」同じ人を2度保護

で発覚してしまうこともあるのではないか。

愛知県の職員によ

題」できてしまうようになる。それで「不祥事」が減るだろう 公表しなくて済むことが増やせる。こうして、役人が自分たち などほとんどなくても、「可能性」さえわずかにでもあれば、 性が判明!」と言っても、実際はたいして調べもせずに言って やらが実際どれほどあるかを説明する責任もないから、「可能 何とか理由を付ければ、一般の人がどうこう言えるものではな しかし当然それは、「不祥事の再発を防ぐ対策」などではな の不都合を公開して責任を問われる場は、どんどん減らせる。 いたとしても分かるものではない。実際はプライバシーの問題 い。むしろ「隠せるものが増えた」状況の下で「やりたい放 いから、そうした内部規定が容易に作れる。その「可能性」と

がら「事故を想定できなかった」こと……言い換えれば「起き ら「責任はない」として「無罪」を主張している。これなど るということだ。 れば、しっくりする。隠せるものが増えるほど、不祥事も増え なかった」と釈明せざるをえない事例が繰り返される、と考え か。結局は漏れるものも増えるだろう。だから「隠すつもりは してはいけない。 福島第一原発事故では、被告側は「想定外の事態」なのだか 何度でも言いたい。強い権限を持つ側を法的に有利な扱いに 強い権限を持つ「経営者」としての多額の報酬を得ていな

で「浸水は想定されていない」とした地域が浸水し、そこでも にこそ、重い責任があるのではないだろうか。ハザードマップ 得る事故を想定して、事前に対策する能力のなかった」経営者 し犠牲者が出たら……行政も彼らと同じ主張をするのだろう 筆者は彼らの言う「真摯に受け止める」の意味がよく分から 石川 雅章

ない。

か。

貧乏人を殺す行政の構造

諸悪の根源「トップダウン」×「縦割り」のコラボ

つある。それは「『末端が』どうなっているかを検証する機構 様々な問題を述べてきたが、共通していると感じる点がひと

がない」こと。 たとえばサイト設計の問題の場合、「末端で」サイトを見る

人たちには、弱視、白内障、緑内障などの事情で、文字と背景

の色を強制指定しているために背景画像が見れない人、障害者

情がある。たとえ最新の機械であっても、データ受信に使われ に対応していないため古い機種を使い続けている人、様々な事 向けの音読ソフトで読むため、文字は聞けても「図が見れな い」人、あるいは、使用する福祉向けソフトが最新のパソコン

ロ」と表示される状態を、「末端の人」がパッと見た時にどう いった解釈をするのか……を考えていれば、そうした設計には 観測装置の問題もそうだ。測定不能となった時、「水位ゼ 石川 雅章

はないか。

情報の受信ができない役立たずなサイトが平気で作られるので

ぽっちも気にしないでサイトを作るから、いざという時、防災

り。それら「末端の人」がどれだけ見れるか……など、これっ

るブラウザやラジオの聴き方も多種多様にあるのは述べた通

しなかったのではないか。

あったが、問題点を調査した「第三者委員会」の報告の中に、 ◆ うまくいかない典型「トップダウン」 新しい国立競技場の建造に当たりいろいろともめたことが

「トップヘビー」という言葉が出て来る。筆者はその報告で初

めて聞いた。

似たようなので「トップダウン」という言葉は知っていた。

要な仕様を決め、末端がそれに添う仕組み。「トップヘビー」 中心的な役割をする部分がほぼ全ての処理方法や方針などの主

とは、その中心的な部分が「重過ぎ」て判断も対処も遅くな 臨機応変に対応できなかったことを指摘したのだと思う。 貧乏人を殺す行政の構造

★ 「トップダウン」的考え方を捨てたソフトウエア設計

る」代表例みたいなもの。古いソフトウエアの設計の多くがそ 意味あいもあって、多くの場合、「いずれうまくいかなくな この「トップダウン」という言葉にはソフトウエア設計上の

信用の出力命令が、ファイルを保存するディスクや記録媒体な リンタならプリンタに印字する出力命令が、ネット通信には通 れ命令を決めていた。画面なら画面に表示する出力命令が、プ せたい場合、中心となる処理系が出力先の違いによってそれぞ んな感じで、たとえば、コンピュータに何らかの「出力」をさ

る時はそれらの命令を使い別けなければならなかった。当然、

どにはそれ用の出力命令がそれぞれ決められて、「出力」をす

トの設計がされ、具体的な出力命令(「メソッド」と呼ばれ 携させる」設計になる。 な意味があって、末端のものの仕様をまず決め、「それらを連 る考え方が主流。 利かない。 たいと思った時は、ほぼ全体の書き換えが必要……と、融通が けに開発したソフトは、新しい機器を接続してそちらに出力し 度に、命令も変えていく必要がある。古い機械用の出力装置向 今流のソフトウエアの設計は「オブジェクト指向」と呼ばれ 前述した「出力」の場合、まず「出力」のためのオブジェク 「オブジェクト」とは「末端の『もの』」的

そのコンピュータに接続する機器が増えたり変更されたりする

出力は以下のようになる。 る)が決められる。それを仮に「print」と決めたとすると、

「オブジェクト指向」での出力

〈オブジェクト〉・print( "出力させたい内容" )

フトで、新たに接続した機器向けに同じ内容を出力したいと という出力命令は同じになる。古い出力装置向けに開発したソ だったり、ネットだったりする。出力先が違っても「print」 前の部分の〈オブジェクト〉が「画面」を示すものであれ 画面に出力され、そこが、プリンタだったり、ファイル

ここではその役所の利用者が、「申込書」や「届出書」などを 向」によるソフトウエア設計は、このようにして開発が複雑に 処理の違い」にあまり気を遣わなくて済む。「オブジェクト指 わりなければ、ソフトを作る際に「出力先が何であるかによる ト」が自身に合った処理をする仕組み。「出力する」ことに変 異なれば出力処理も異なるが、それは指定された「オブジェク お役所の手続きに応用するなら、たとえば「末端の人」……

えるだけで、全ての出力先が変更される。もちろん、出力先が

思った時は、前の〈オブジェクト〉の部分が何なのかを置き換

なることを防いでいる。

とにその部署特有の書式の書類にいちいち書き込む必要はなく ような仕組みがあれば、役所の利用者がどこかの部署に行くご け足し、部署ごとに処理するという感じになるだろうか。この とに、その共通書式の複写を取り、その部署で必要な項目を付 役所のどこの部署でも手続きできることになる。あとは部署ご を付加して対応するような感じ。申し込みや届出のために役所

に来た人は、その共通の書式を一枚記入すれば、それを持って

仕様を共通化して、あとは部署ごとの処理に必要な事項の書式

人が記入を要する「氏名、住所、連絡先」などの内容は書式の

記入する際、その申し込みや届出が何であっても、ほぼ全ての

なることになる。

くなる。役所のビルの何階もの昇り降りが不要になり、足腰の う。そうすれば、手続きする人が該当部署に移動する必要もな きが受付窓口でできるようになっていてもいいレベルだと思 受付から担当部署に共通書式のデータが送信され、その部署で て来て手続きできてもよさそうなものだ。もう一歩進めれば、 や連絡先などのデータは「受付」から自動でその部署に送られ なものを渡して、あとはそれを役所の部署で提示すれば、氏名 の手続きに必要な項目を受付に送り返し、遠隔的に全ての手続

に、「受付」で共通書式を記入したら、整理番号カードみたい

で使えるようになっているだろうから、「複写」など取らず

いやもう、いくらなんでもコンピュータ通信くらいは役所内

みが使えるような話ではなかっただろうか。 さそうな感じがする……していて欲しいものだ。「縦割り」で 失しても、拾った人が勝手に使うことはできず、安全だ。 は、手続きが処理されている期間内に限定すれば、その後に紛 いや、このくらいどこかの自治体か省庁で実現していてもよ

記入した書類の有効性も、記入したその日「だけ」、あるい

弱った人、障害者などにとってたいへん助かる。最初に受付で

★ 「トップダウン」な人たちの信用度 は無理か。 なんだか「住基カード」を思い出した。これも、そんな仕組

ドを持っていても、たいていの手続きで結局は何か別の書類に というシステムだったら、どうだったろう。逆に、たとえカー リットのほうが多いと感じれば、浸透などするはずない。 リットがなければ、あるいは、あったとしても相対的にデメ 的に従ってもらおうとしたところで、「末端の人」にとってメ うしてください」なんて取り決めを作って、「トップダウン」 はないかと。上層部で「こういう仕組みにしたので、今後はこ 「だけ」で完結でき、生体認証などで本人以外は使えない…… たとえば、もし「全ての」役所の手続きがその住基カード

か。やはり「末端の人」視点の設計になっていなかったためで

それも、結果的に成功しなかった理由はその辺りではない

が増えることになる。末端の利用者の利便性やら安全性やらを 無視した設計などしていれば、「使われない」のは当然の結果 えないなら、カードを作ると、そうした「今までにない手間」 め、結局はカードの他に書類か何か一緒に持って行かないと使 それを使う末端のことを考えず、上層部だけで「これだけ機

るのか、ということになる。あるいはその「本人確認」のた

されるリスクがあるような場合、カードを作るメリットなどあ

カードが本人確認なしで使えてしまうような、いくらでも悪用

記載をする必要があったり、うっかり紛失して誰かに拾われた

外部に出てしまったなら、 廃棄処分を行政から委託された業者の社員が、廃棄処分せず勝 れたものではないから。信用などできるわけがない。 乖離しているから。末端でそれを実際に使う人の目線で設計さ る。それは末端の人が実際に感じる利便性、安全性、安心感と ティはこの程度でいいだろう」などと取り決め、「トップダウ 能があれば便利だと思ってもらえるだろう」とか、「セキュリ 手に転売していたという。 実際に個人情報が記録されたものが んて話も出た。個人情報を含む可能性のあるハードディスクの ン」的に末端に押し付けているうちは、何も成功しない気がす そこへ持ってきて、最近は「ハードディスク漏えい問題」な 結果的に「(公務員の)守秘義務違

われわれを信用しないでくれ」と言っているようにしか見えな ろで「注意」程度のもの。全ては、「責任などとらないから、 責任をとるかという話はほとんど出てこないか、出てきたとこ たのかの詳細な説明はまるでない。そうした行政や政治家の 職金を持って行く。「桜を見る会」で税金がどのように使われ 指示した官僚や、セクハラで地位を追われた官僚は数千万の退 会社社長は「無罪」を主張するし、決裁後の書類の書き換えを 何か処分されたという話は今のところ聞かない。 反」になるのではないかという気がするが、それで公務員側が ニュースは毎日のようにある一方で、具体的に誰がどのように 他にも、国が推進してきた原子力発電で事故を起こした電力

で」指示を出した人がいた。それに下部がどう対応したかとい る。他ならぬ「国税庁」がこれで「マイナンバー制度」が信用 無駄にした人が、数千万の退職金はほとんど持って行ってい ばれた時は、証言拒否を繰り返した。つまりその数億円をほぼ 1回数億円もかかると言われる国会に「国税庁」の長官が呼 以前、年金の「保険料の納付率を上げよ」と「トップダウン

などないのである。

い。原因を究明して、末端の国民に対して責任を明確に示す気

★ 末端を疎かにする「トップダウン」の性質 されると思っているのだろうか。

が機能しているとは思えない。 ちにとって何であるのかキチンと考えていれば、するはずのな 付率」は上がる。が、もちろん、納付金額が増えることはな から、分母に当たる「納付の必要のある人」を減らせば、「納 たらしい。「納付率」とは「納付者:納付の必要がある人」だ うと、「保険料の未納者を納付免除者に付け替える」処理をし い対応だ。末端の人たちの将来がどうなろうと、どうでもいい い。「年金」というものが、保険料を支払っている末端の人た 今でも年金関係で、末端がどうなっているか検証する仕組み 述べてきた「防災情報」の件と並べてみよう。まず、情報を

のである。

のアップを任された側は、とにかく数字が上がりさえすればい えそうな「手っ取り早く利益になる」方式を選ぶ。年金納付率 として安価に提供している配信方式や、広告を一緒に見てもら ると、「新しい方式」を開発した会社が広く採用してもらおう で、なるべくコストがかからず利益につながる方式を選ぶ。す る。ネット配信を任された業者は、とにかく配信すりゃいいの と指令が出て、その具体的方法については下部の者に任され 業者に「丸投げ」される。年金では、まず「納付率を上げよ」 ネットで配信しよう、と上層部から指令が出て、民間の下請け いので、「納付すべき人」を「納付免除者」に振り替えて、 「分母を減らす」という「手っ取り早く率を上げられる」方法

免除者の条件に合致するのか調べたかどうかも疑問。そして、 間をかけることはないし、どれほどの人が「実際に」年金納付 れほどの人がその「最新の機器」で受信できているか調べる手除者に付け替えされた者」は、クレームのしようがないが。ど す」と上に報告する。ただこの場合は、知らない間に「納付免 プを任された側も「納付率は確実に上がっていて、問題ないで 受信できていて、問題ないです」と報告する。年金納付率アッ 願いします」とか言って門前払いしておいて、上には「みんな るなどのコストをかけたくないから、「最新の機器で受信をお レームがあっても、別途、誰でも受信できる方式で同時配信す

/ 石川 雅章

を選ぶ。ネット配信を任された業者は、「受信できない」とク

ダウン」的に指示を出し、しかも指示の内容に「配信方式は何 を採用するか」とか、「納付率アップの手段はどうするか」と 死後に証言することもできないのだ。 いった具体性が乏しい点。さらに、末端が本来の目的に適って 共通するのは、上が「こんなことを実現せよ!」と「トップ

ても、それらの人が自力でその原因を解消するなど無理だし、

たことで病気の悪化が見逃されて孤独死に至った人がいたとし

らないために支給額が減らされ、介護サービスを受け渋ってい

かったことが原因にあったとしても、たとえ年金納付額が上が

たとえ川の氾濫で流されてしまった人が防災情報を受信できな

中、その「知らなかった」状態が続いていた間に対策しなかっ 求されることはない。せいぜい「辞任をして終わり」だ。任期 ちにとっては「知らなかった」ことなので、原因が「深く」追 組みだ。いかに「トップダウン」がうまくないかを示すいい例 年金納付免除者に該当するのか、調査も報告もしなくて済む仕 な「最新機器」を持っているのか、どれほどの人が「実際に」 ることができるようになっている点。どれほどの人が受信可能 はいくらでも「うまくいっている」と解釈ができる報告を上げ で、結局、末端の人たちに悪影響が出たとしても、上の人た

いる状態かどうか検証する仕組みがなく、下から上に向かって

のように思う。

知ることができなかったのか」なのだが、そこまで解明できる本質的な問題は、そうした「犠牲者の出る状況」を、「なぜ ことはめったにない。なぜかというと「トップダウン」型の組 なぜか」の詳しい検証もできない。結果的に、検証されないま 聞くことなどはできないから、「犠牲者/孤独死者が出たのは 何なのか?」について、亡くなってしまった当事者から証言を 組み。「なぜ流される人が出たのか/孤独死したのか。原因は

け取っていた報酬はほとんど持って行けるのが、今の社会の仕

能性もあるが、因果関係が明確に分からないから、その間に受

たことが、流されたり孤独死する人が出る原因になっていた可

まになる。

あきらめなさい)」と門前払いする人が、また年金なら「納付 レームが来ても「最新の機器で受信をしてください(無いなら 告が上に上げられることはない。ウェブラジオなら「『聞けな だから、「『受信できない』というクレームがあった」とか、 ると「不都合は上に一切知らせない」構造が作られるからだ。 下げないよう努めるようになるからだと思っている。言い換え て不都合な内容の報告は上げないようにして「上の満足度」を の指示には「形だけ」従うようになり、また、その組織にとっ い』というクレームがないように」と上から言われれば、ク 「じつは年金保険料の納付額は上がっていません」といった報

織では「上を満足させる」ことに重点が置かれるため、上から

が、いつまでも残り続けるのだろう。 容を報告せずに済む状況」を作らないこと。組織内の下からの か」の認識を明確にして共有し、「それに沿わない不都合な内 た通り」してくれているわけだから、モンクの言いようもな て重宝されて、現場に集められていく。上から見ても「言われ 早く実現できる人」が「上の指示にうまく対処できる人」とし が、つまりどちらも、「上の『言っていること』を、手っ取り えるなどで、とにかく納付率の数字を上げてくれるような人 率を上げよ」と上から言われれば、納付免除者に勝手に付け替 い。こうして「不都合な点を上が知ることができない構造」 必要なのは「末端がどのような状態であることが『適切』

様々な不手際が発生し、失敗を繰り返しているように見え

度を作る→失敗する→(でも誰も責任は負わない→だから報酬 る。そこに消費税の増税など「末端の」負担増で対応している 手際や失敗を繰り返していれば、もちろん財源は足りなくな ことになる。つまり、「『末端(納税者)を考慮しないで』制 納税者が納める税金は「無尽蔵」ではない。そのような不

る。

みを作っておくことではないかと思っている。

行政は、全てにおいて「末端の人」目線が欠けているため

外部の組織が調査を行った結果の報告を上に確実に上げる仕組

報告に頼らず、末端の現状を「上が直接調べる」か、あるいは

る側は知る由もない。考慮しないで作り続けるように思う。 済む人」が制度を作っているうちは、末端の苦しみは制度を作 来が見えるような気がするのだが。ただ、「責任を負わないで て「末端を考慮しないで」という文言がなくなれば、違った将 し)」といった悪循環が固定化される。この悪循環から、せめ 端(納税者)を考慮しないで』新たな制度を作る(以下繰り返 「ボトムアップ」のアップ先は大丈夫か

税)→末端はさらに苦しくなる→何とかしようとして……『末

は減らさない→)財源が不足する→末端に負担を求める(増

## 「トップダウン」に対して、「末端に主眼を置く」方式は、

置いた「ボトムアップ」的な考え方に近いと思う。 ジェクト指向」的なソフトウエアの開発もまた、末端に重点を は、何らかの「不具合」の要因が潜伏している可能性がある。 の法則」でも述べたように、末端で要求や要望が出るところに 訳すると「(強い)要求/要望」的な意味だ。「ハインリッヒ 人」の存在を改善に活かす機構ではないだろうか。 ばウェブサイトやラジオ配信で「受信できないぞー」という 「クレーム処理」のような、「末端」にいる「受信できない 「ボトムアップ」と呼ばれることがある。工学的には、「オブ 「クレーム」というと「いちゃもん」的な印象があるが、直 制度における「ボトムアップ」というと何だろうか。たとえ

がるのではないだろうか。

プ」する機能が、その後に起こる「大事故」を防ぐことにつな

それを適切、かつ確実に改善に活かす……つまり「ボトムアッ

★ 「丸投げ」が阻害する「ボトムアップ」

ある意味「ボトムアップ」こそ、前節「うまくいかない構

造」となる原因が何なのかを検証する仕組みではないだろう

か。それは、「末端がどうなっているか」を上に吸い上げる機

構であり、時として「ネットでデータの受信ができないぞー」

という末端の受信者からのクレームだったりするのではないだ

が得策。それで上には「クレームらしいクレームはないから、 という扱いにして、ある意味「クレームとして扱わない」ほう ても「受信可能な最新の機器を手に入れられないほうが悪い」 み」が減る可能性がある。だったら、そうしたクレームを受け 配信できなくなったり、そうでなくても配信方式の切り替えに できる方式に切り替えろ」ということになって、広告を一緒に うなクレームを上に報告してしまうと、「では多くの人が受信 コストがかかったりと、丸投げされた業者にとっては「うま ト配信」などは行政が直接運営しているわけではなく、たいて いどこか民間業者に「丸投げ」されている。すると、前述のよ ところが、述べてきたように、多くの場合、そうした「ネッ

が付いているわけだが、そうした細かいことまで伝えて、「ど ない」と思われる。 災情報を「受信できない人」が残り続けるのだろうと考えてい プ」の機能として働くはずの「クレーム処理」が形骸化し、防 業者の常套手段だろう。このようにして、本来「ボトムアッ れたりすると面倒だから、報告にはそこまで盛り込まないのが れほどの人が受信可能なのか? 調べたのか?」などと突っ込ま には「受信可能な最新機器を持っている人ならば」という条件 みんな受信できていますよ」と報告しておく。この報告、実際 年金に至っては、 それは「消えた年金」という言い方をしな 初めからクレームなど「受け付ける気さえ

まり、一種の「クレーム」をチカラずくで抑え込んでいるよう

えた年金」と思っている人は多いのに、そう言わせない……つ

324 / 384

いようにお達しが出ているという噂がある点でお察しだ。

なものだ。

≯ 人命より優先される「ラクな手段」

「受信できないぞー」といったクレームを、最新機器を使っ

る可能性がある。犠牲者が出れば、行政は「遺憾に思う」的な

降った時に防災情報を知ることができず流されてしまう人が出

きない」人が残り続ける。そんな人たちの中から、次に大雨が

ていないせいにして門前払いしているうちは、確実に「受信で

が、結果的にそうなってしまっているのが実態。「『年金』と ラクな手段に平気で走るのが、今のお役所の構造だ。 ほうがラクだからだ。末端の人がどんなに不利になろうとも、 うようなことなどできないと思うが、やってしまうのだ。その が介護サービスの利用を渋って孤独死のリスクを増やしてしま どという、納付額が増えずに将来の支給資金が減り、お年寄り 行政にとってラクなのだ。 ことを言うが、多くの人が受信できる配信に切り替えるより いう制度の意味」を知っていれば、「免除者への付け替え」な 「遺憾に思う」だけのほうが安上がりだ。犠牲者が出るほうが 当事者は「そうは思っていない」と言いたいかもしれない

ず、対処に困って管轄外の地域に連れて行き、匿名で消防に通 あったらたいへん」……なんてことは何も考えていない。これ たとはいえ、消防が到着するまでの間に「保護した人に何か やら上司からの指示……つまりは「トップダウン」だ。 通報し 報してそのまま置き去りにしたらしい。しかもこの対処、どう 渡された福祉相談センターの職員が、宿泊先の確保などができ もの。徘徊していたと見られる男性を、保護した警察から引き お役所対応の典型だ。筆者だったら、そんな指示には従えな も、「末端の人がどうなろうと知ったこっちゃない」という、 「愛知県の職員が一旦保護された人を置き去りにした」という ちょうどそんな考えをまとめている時に聞いたニュースが 残って報酬を受け続けられるのではないか。逆に、その指示に い」きまりになっているのに、変更せよという国税庁長官の お役所に残れて、税金から報酬を受け続けられるのではない 「指示に従って変更してしまう」人たちだけが、その部署に 少々話が逸れるが、「決裁した文書の変更はしてはいけな

き去りにする」というラクな手段に安易に走れる人たちだけが

失うタイプだ。逆に言えば、そうした上司の指示に従って「置

か?……上司にそう迫り、嫌われて辞職に追い込まれて収入を

かったろう。それは「保護責任者遺棄」という犯罪ではないの

貧乏人を殺す行政の構造

という役所が何をしているところなのか、よく分からない。 そこに溜まっていく……そうやって、その「お役所の性質」が から、たとえ違法性があろうと、上司に従う人たちばかりが、 取れることになる。ある意味「報酬を受け続けたい」との思い 左遷され、収入を落とされているかもしれない。逆に「しては た人たちほどそこに残れず、場合によってはその上司によって だろうか。反発するほうが正しい判断のように思うが、そうし 固定化されていくのだろうという気がする。筆者は「人事院」 上げられ、そこで新たな「上司」になれば、相応の報酬を受け いけない指示」に従順だった人ほど、その「上司」に引っ張り

反発した人たちは、別の部署に追い出されてしまってはいない

至る前の、パワハラが認められた段階で「強要罪」あたりの刑 唆かほう助)」ではないかと思う。今後同様なケースは、死に ではないかという気がする。そうでなくたって「自殺関与(教 か、さらには「傷害致死」か「業務上過失致死」あたりの犯罪 だ。裁判も起こされた。民事裁判のようだが、規則に違反する 合、とっとと反発してその部署から離れるのが正解だったよう 事事件として扱い、上司か経営者、所属組織の責任が問われて ことを強いたうえに自殺に至らしめるなど、もう「強要罪」 した人の「遺書」とやらが雑誌で紹介された。むしろこの場 刑罰」が科されることにでもならなければ、なくならないの ちょうどこのことを書いている頃に、その長官の部下で自殺

が、お役所に蓄積していく構造があるのではないか。「置き去 な」口頭注意だけだったりしないだろうか。結局は税金から報 うだが、その「厳正な処分」とはどのようなものか。「厳正 り事件」で愛知県の知事は「厳正に処分する」と言っているよ ろうと、「上司の指示だし、従うほうがラクだし」と考えた (ある意味深く考えないで)対処を実際にしてしまう人たち 話を戻すと、そんな感じで、たとえ犠牲者が出る可能性があ

何をしているところなのか、よく分からない。

ど退職金を持って行っている。筆者は「人事院」という役所が

ではないか? 長官はどの罪にも問われることなく、数千万円ほ

現実は述べた通りだ。 当事者は「そうは思っていない」と言いたいかもしれないが、 なのだ。「遺憾に思う」で済めばそのほうが安上がりなのだ。 気でラクな手段に走る人たちの集団が、今のお役所のように見 役所に留まるだろう。末端の人がどんなに不利になろうと、 たとえ犠牲者が出ても、役所にとってラクな手段に走るもの

える。

酬を受け続けられるなら、ある意味たいして痛くも痒くもな

置き去りにした職員も、それを命じた上司も、そのままお

## ★ 福島原発……教訓を忘れた経営者の責任

原子炉の予備電源などが、「大きな津波が来ると使えなくな きるべくして起きたのではないかという気がする。東電側は、 福島第一原発の事故も、同様な思考が働いたと考えれば、

たのかと言えば、本当にそんな津波が来るのか調べ直させる

クだったからだろう。結果、 対処した話を聞かないのは、 めることくらい並行してできそうな気もする。でも、具体的に しても、その設備を水没しないような場所に移動する準備を進 「指示を出しただけ」らしい。だいたい、再調査を指示したと 「先にその津波が来て」しまい、 再調査の指示「だけ」のほうがラ

備電源設備が水没する可能性の報告を受けたら、再調査の指示 なる」という教訓だ。だから「忘れないようにしろよ」という る。こうした「諺」というのは、長年語り継がれて来た「歴史 る」手段に走る状態を放置されたのが、国が進めてきた原子力 …」などといった思いより、平気でそうした「極力ラクでき たいへんな事故が起きて周囲の人に迷惑をかけてしまうかも… 多くの末端の人たちが避難を強いられた。「電源が水没したら ことだ。経営者がその意味を十分に理解していれば、津波で予 のエッセンス」であり、この言葉は「忘れるから被害が大きく だいたい、「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉もあ

発電事業だ。

経営者がある。 は、裁判で「無罪」を主張している。しかし、いちばん最初に で済ませられる最もラクな手段に走った、その「トップ」たる 実。根本には、再調査の指示「だけ」という「トップダウン」 からだ。結果、末端の大ぜいの人たちに被害が及んだのが事 ほうがラク」なうえ、コストがかからないぶん、利益が上がる かることは「したくない」という思いが透けて見える。「その かったのだとすれば、そこには「設備の移動」という手間のか そこまでしていたのか……もし「再調査の指示だけ」しかしな だけでなく、設備の移動準備も並行して進めていたと思うが、 その、誰でも知っている教訓の意味を無視したトップたち

教訓を無視する経営者が社会的に許されていいのか。 られたのだろう。だが、経営者がそれを忘れてよかったのか。 う口実もできる。それまで、コストのかかることは「先延ば 設備を移動するよりそのほうがラクだし、しかも「調査を指示 調査を指示し続けることも可能になってしまうのではないか。 なら、「そんな津波は来ない」という調査結果が出るまで、再 にやってくる……だから忘れてはいけない」という教訓も忘れ し」することで利益を上げて来たばかりに、「天災は忘れた頃 していた」のだから「何もしていなかったわけではない」とい の移動」を指示できただろうか。「再調査だけ」が許されるの 「最もラクな手段」を選択する経営者が、果たして「電源設備 パート物件の不正施工など、本来やるべき「万が一」のための 懸念している。原発に限らない。自動車工場の不正検査、ア クシマ」が生まれる元凶を固定化させてしまうのではないかと 判所が認めてしまうようなものだ。すると、第二、第三の「フ 延ばし」する人も「いくらでも経営者になっていいよ」と、裁 どうなるか。そうしたコスト削減のために「万が一の対策を先 だから、もしその人たちに「無罪」が言い渡されてしまうと ら、設備移設の「先延ばしが目的」だったとしか思えないの

移動」も一緒に指示を出していたなら別だが、そうでないな

備水没の可能性」の指摘を受けて、再調査と共に「電源設備

判断がされるべきだ。つまり、「そんな人が経営者になったこ ると思われる。だから、その「引き継がれる構造」を断ち切る した構造的問題は、先代、先々代の経営者から引き継がれてい に「引っ張り上げられていく」からだろうと考えている。こう 出せる者が、目先の利益のみ追求される会社で、次々と経営者 りは、そうした要因が既にあちらこちらで固定化されつつある がる要因になる。次々に明らかになる「万が一」への対策の怠 策を怠れば、その「万が一」が起きた時に、「大惨事」につな 対策を怠った例が次々と明らかになっている。 なぜそうなるのか。それは、コストを削減してラクに利益を

ことを思わせる。

せるような判断がされるべきだ。そうしないと「経営者」に で、本来それができない人が「経営者」になってはいけなかっ に対策」するコストを惜しまない人こそ「経営者」たるべき 視する人が経営者であり続けるわけだから、今後も「フクシ たのだ。その点を明確に指摘した上で、結果的に「経営者」と マ」のような大惨事が起きる要因が残り続けることになる。 して相応しくなかった者は、経営者としての地位と報酬を返さ 「天災は忘れた頃にやってくる……だから忘れないうち事前

者」に引っ張り上げられ続けるだろう。「万が一」の対策を軽

とが悪い」といった判断がされない限り、前述したような「コ

ストを削減してラクに利益を出せる人」ばかり、今後も「経営

発射されてしまったら、犠牲になるのは、その「ロシアンルー うなものだ。もし、それで「ハズレ」の引き金を引いて弾丸が を先送りにする会社の体質と、「万が一」が起きてしまった時 持っていくことが可能になってしまう。あとに残るのは、対策 としての多額の報酬を得たいだけの人たちが、次々に報酬だけ 対策をする前に次々に経営者を入れ替えることで、単に経営者 る、つまり「なったモン勝ち」状態になる。すると、根本的な なって対策しなかった間に得た報酬などをまるまる持って行け の犠牲者たち、ということになる。 「ロシアンルーレット」に、末端の人たちが付き合わされるよ いわば「経営者としての報酬が欲しいだけの人たち」の、

契約者を無視した保険の販売など、末端の人たちのことを考え に、自動車メーカーの検査飛ばしや、賃貸物件の手抜き工事、 ……そんな考えの経営者ばかりになっていくのではないか。現 まう気がして、仕方がない。「万が一の対策を後回しにしても セージを全ての世の経営者たちに与えてしまうことになってし る?……そんなこと忘れてもいいよ」といった間違ったメッ レット」に興じていた経営者ではなくて、末端の人たちなので 『無罪』だから、経営者としての報酬をもらえるだけ得だ!」 「無罪」が言い渡された場合、「天災は忘れた頃にやってく

ているとは思えない経営が次々と露呈しているのが現実なの

「相応しくない経営者」を断ち切ってくれ

だ。

福島原発裁判は、

ような気がする。もし、一般の市民の安全や安心を無視するよ る判決が出ない限り、末端の市民には将来の安全も安心もない

どうか、いろいろと疑問が出てくる。 か何とか言っている裁判員制度などに協力する意味があるのか うな判決が出された場合、「一般市民の感覚を採り入れる」と

## ★ 上が下を正しく見れず、下も上に見せない構造

摘されていたのに、対策は先送りされた。この例が示すこと 原発事故では「補助電源設備が津波で水没する可能性」を指 貧乏人を殺す行政の構造

たように、下部では「手っ取り早くできる対処」が発動し、 る……つまり「トップダウン」で処理される。すると述べてき けばいいが、気付く能力がなければ、結局その対応も下に任せ 多くの人が受信できるものでなかったことが一因かも」と気付 的に判断して、「犠牲者が多く出たのは防災情報の配信方法が 牲者が出てしまい、一方で「ウェブで防災記事が見れなかっ たないということだ。たとえば、もし台風などでそれなりに犠 部に「どうすべきなのか」を判断する能力がなければ、役に立 た」といったクレームがあった場合に、上層部がそれらを総合 「受信できないのですが」というクレームも、「最新機器で受

は、たとえ「末端の不都合を知らせる機能」があっても、上層

ない」とか「納付率は上がっています」と報告される。そのたどちらも、上層部には「(最新機器で)受信できない人はい が、「年金保険料免除者への付け替え」などで対応してしま 難だ。年金の場合、もう「納付率の低さ」こそが、一種の「支 と「防災情報が受信できなかった」ことは別の問題とされ、別 信してください」と門前払いし続ける。「犠牲者が出た」こと め、上から見ると「防災情報が受信できない人などいない」と 払いしにくい/できない」という「クレーム」に近いものだ の部署で対処されるから、述べたような総合的な対策はほぼ困 「年金納付率は確実に上昇!」ということになってしまっ

実際に流されたり孤独死する人が出る度に「遺憾に思う」が繰 べて分かることではない。 れることなどないから、実際にそれが原因であったとしても調 けられていたら自分の病変に気付いたかも」などと証言してく とか、孤独死をした人たちが「せめて年金で介護サービスが受 が「せめて防災情報さえ受信できていれば避難していたかも」 独死する人が出る可能性を残す。繰り返すが、流された人たち 人や、年金の受給額がどんどん減らされて、介護をあきらめ孤 ている。いざという時に防災情報が受信できず大雨で流される 上層部が「対処はしてきた」と言っているだけの話。それで、 この、うまくいかない「トップダウン的」な対応を、行政や

が、地下にあったとか。それらタワマンが地震の前にできてい くともその後に作る建物はそうしたリスクを回避する設計にし 所に予備電源設備があったために起きたと知っていれば、少な たのなら仕方がないが、 の場合、生活上重要で、しかも水に浸ってはまずい電気設備 は、人が出入りできる場所に設置せざるを得ないが、タワマン でなく、下水があふれて水浸しになり、駅の自動改札やタワマ ン(高層マンション)が使えなくなる事態も起きた。自動改札 福島原発事故の話で思い出したが、今回の台風では、川だけ 福島の原発事故が、津波で水に浸る場 石川 雅章

貧乏人を殺す行政の構造

があるらしい。あとでコンクリートの柱に穴をあけて通そうと は電線やら水道管などを通す、パイプやダクトの類で、鉄筋コ クリートに通していなかった」らしい。「スリーブ」というの ら何を学んだのか。 てもいいと思うが……そのタワマン施工主の経営陣は、震災か ンクリートの柱を作る際、先に内部にそれらを通しておく必要 し」が決まって、ほぼ完売だった契約が全て解約になるという ンションに不具合が見つかり、「補修不可→居住不可→取り壊 どんな不具合かといえば、「必要な『スリーブ』を鉄筋コン 別の話だが、マンションといえば、2014 年、完成間際のマ

ことがあった。

ず、かといって、スリーブが通っておらず、電気も水道もない と、不具合の対処をするよう「指示した」ということだ。 結果 付いた人がいたらしい。そこで現場所長が何をしたかという 譲るが、記事によれば、不備があるのではないかと工事中に気 棄」ということになったらしい。 ケない。結果として、建てたばかりのマンション全体が「廃 通っていませんが……格安です!」などと言われても住めるワ のでは使い物にならない。「こちらの物件には電気と水道が 物が支えられなくなってしまうリスクがあるためそれはでき 検索をすればいくつも記事が出てくるので、詳細はそれらに

しても、穴が内部の鉄筋を切ってしまうと柱の強度が落ちて建

が、「誰でも受信できる××方式で」とまでは指示していな ン」という末端で「売り物」となる建物にとって「スリーブと あったのかどうか……なかったからだろう。年金の問題でも、 示」は何の役にも立っていなかったわけだが。 的に「建物全部が廃棄処分」となったわけだから、その「指 い。すべてが「内容に具体性の無い指示を出して終わり」の 「納付率を上げよ」と「指示した」が、「どのように上げるの 「トップダウン」だ。 マンション建設現場にいた「所長」とやらが、「マンショ 何が問題だったのかはお察しだ。その指示に「具体性」が までは指示していない。ネットで配信せよと「指示した」

を上がしっかり受け止めていたのか疑問だ。結果的にそのマン を上げることができたのか、あるいは、上げたとしても、それ た時に、「不備がある」というある意味「ネガティブな報告」 う点も述べたが、この件でも、その所長が、不備の指摘を受け ション」という最終形……末端がどうあるべきか考慮しない 少し具体的な内容の指示を出せたのではないだろうか。「マン をしっかり把握していれば、「どう対処するか」という、もう い」ことと、上げたとしても「上が適切に対処できない」とい いうものが、どんな役割を持つものなのか」という「重要性」 「トップダウン」な構造が招いた結果のように見える。 「トップダウン」の弊害として「ネガティブな報告を上げな

プダウン」的対処によって、数十億円ものお金が何の役にも立 くらいの迷惑料的な支払いをしたとか。末端を軽視する「トッ 査では分からなかったということだけは確かだ。 だろうか。少なくとも、ネットに書き込みがあるまで、内部調 あったのだろうか。上げられて適切に対処する機能があったの たらしい。ネガティブなものも含めて「上に上げる」仕組みが そのマンション、解約に際し、全ての契約者に契約金の3倍

ネットの書き込みが元で不備が発覚し、「住めない」と分かっ

ションは完成間際まで対策がとられず、ほぼ完成してから、

たずに消えたことになる。

★ ボトムアップの「アップ先」が重要

ション現場で「スリーブに不備がある」とか報告があったの 福島原発で「予備電源設備が津波で水に浸る」とか、マン 351

結果的に活かされなかった。つまり「ボトムアップ」とい

うのも、アップ先が適切に対応できてこそだ。たとえばウェブ

聴けるものと聴けないものがあるようだ」くらいの知識を持 なければ意味がない。上層部が「配信方法にはブラウザだけで では聴けないとのクレームが何件かあります」とキチンと報告 ラジオの場合、もし「丸投げ先」が優良企業で、「現配信方法 したとしても、それを「上の人」が正しく受け止めて判断でき 貧乏人を殺す行政の構造

「防災情報の配信をすることがある以上、聴ける人が多い

能性が残っていくのだろうと思う。 れて、防災情報が受信できず氾濫で流されてしまう人が出る可 果的にクレームを上に上げる必要性も軽視され、やがて上げら 至らないのではないか。「どうせ対応できない」となれば、結 らない」ことはやりたくないから、配信方式を変えるまでには れる民間企業としては、「コストがかかる」とか「金づるにな れなくなり、述べてきたような「うまくいかない構造」が作ら

げ先」に全てが任されて終わってしまう。すると、予算が限ら

を採用せよ」と指示を出せるが、そうでなければ、結局「丸投

とも××方式か、それと同じ程度に『誰でも受信できる方式』

程度の判断ができれば、丸投げ先に「少なく

方式にするべき」

ダウンの構造がはびこるのか。ひとつには「縦割り」の弊害が どうしてこうした「うまくいかない」代名詞のようなトップ



キュリティに関する適切な指示が出せるはずがない。いかに危

ない IT とセキュリティの担当大臣がいたが、それで IT やセ

USB という通信の規格を、「穴に入れる」程度の認識しか

あるように思う。

★ 「給水車5時間待ち」問題の背景と解消案 水車が来るまで5時間ほどかかった話は、脱水症になる人がい そっていなかったことを理由に撤収してしまい、実際に県の給 「給水車の派遣は最初に県が検討する」という「きまり」に 神奈川県で、被災地に自衛隊の給水車が到着していたのに、

なかったのが不幸中の幸いだが、これなど典型的な「縦割り」 の弊害のように見える。

広がっていただろう。県が「給水車派遣」を受け付けられる状

としても、台風の過ぎ去った後だから「被災地」は県じゅうに

どちらか一方だけだ。その「きまり」に従って県に要請をした

「縦割り」の仕組みでは、まず「給水車」を要請できるのは

が導入されていたらどうだったろうか。この場合、「被災地」 ちばんありがたいのだから、それは県だろうと自衛隊だろうと だろう。被災地にとって、「最も早く来てくれる給水車」がい という「末端」を中心に「きまり」を構築していくことになる という2つのお役所間に、まるで連携がなかったということ ということになっちゃったのがこの話だ。「自衛隊」と「県」 らダメということにはならないような気がする。が、「ダメ」 に派遣を要請したとしても、別に「きまり」に従っていないか 態にあったかどうかは疑問。「それなら」ということで自衛隊 もしその「きまり」とやらに、「ボトムアップ」的な考え方

なれば、どれほど公共機関と円滑な連携が可能かの判断さえむ そうだ。同じ防災設備や救援の対応でも、県と自衛隊では内部 ておけば、被災地からの「給水車派遣を」という要請が来た時 ろうと、「給水設備や避難具がどこにあるのか」の情報を集め な部署を設け、そこに、県だろうと自衛隊だろうと民間企業だ の管理も手続きもかなり異なるだろう。ましてや民間企業とも にも迅速に対応できそうに思う。 とはいえ、「縦割り」のお役所の構造では、実現はむずかし

や避難具などの要請を集中して受け付ける「ホットライン」的

備を持った企業が存在する可能性もある。被災地からの給水車

どちらでもいいはずだ。もしかすると、その自治体内に給水設

ずかしそうだ。いくら「有事の際のことだから」とはいえ、内 部の仕組みを統一するなんて困難だろう。

★ 「オブジェクト指向」ソフトウエアの応用

最近のソフトウエアの設計は、「オブジェクト指向」の傾向

り、「オブジェクト指向」とは、その「末端のもの」を中心に にあると書いた。「オブジェクト」とは「末端のもの」であ

定的だ。ちょうど県と自衛隊の給水車派遣の連携がとれなかっ 関係ないオブジェクト間で、直接的に「連携」をする手段は限 のも、それぞれがわりと独立して構築されていて、本来、直接 処理を決めていく方式。だから、この「オブジェクト」という

ピュータ言語は、それら直接関係ないオブジェクトの間でも連 オブジェクト間で必要な連携が可能になる。 とも、特定のデータや処理を共通して持つことができ、異なる ばれる。同じ「インターフェイス」を組み込んだオブジェクト 携できる仕組みが用意されている。「インターフェイス」と呼 一方、JAVA(ジャヴァ)というオブジェクト指向のコン これを人が構成する「組織」に当てはめると、 組み込んだ複数のオブジェクトの間に直接的な関係がなく 「給水設備や

するのが普通だ。

たのと似た感じで、

「オブジェクト」もそれぞれ独立して機能

救援物資の要請に応えられる部署のうち、最も近くから救援が 化された窓口」を使って他の組織とも情報交換し、給水設備や する手順を共通化しておき、救援要請を受けたら、その「共通 他の連携部署にはないか、直ぐに搬送できるか……などを確認 のか、何を必要とし、それはその部署にあるのか、なかったら 化して連携するような感じ。救援要請があったのはどこか、そ る部署を設けておき、それら部署間で情報交換する内容を共通 業なども含め、「それぞれの組織内に」救援要請受付窓口とな うど県や自衛隊、また給水設備や救援物資の用意のある民間企 救援物資のホットライン的部署を設けては」と書いたが、ちょ れは近くなのか、近くでなければ、他の連携先の近くではない

般に応用できない人だったのではないかと思う。 れだ」と言った人がいたらしいが、ソフトウエアの考え方を一 うか。つまり、他と連携するために「組織全体の構造を作り直 「ソフトウエアなんて、コンピュータがなければただの紙切 「ボトムアップ」的に下から構築していく仕

組みはこうなる。

す」必要はない。

織に必要になるのは、他と連携できる、その「共通化された窓

口部分」と、各組織内にある防災設備や救援物資などがその窓

口を通してうまく管理できるシステム、ということになるだろ

向かう……そんな連携が可能になりそうだ。この仕組みで各組

貧乏人を殺す行政の構造

り込み、末端の人たちがたいへんな思いをせずに済む仕組みを 石川 雅章

作ることが必要なのではないだろうか。

にはならないだろう。少しでも「ボトムアップ」の仕組みを取

ら給水車も5時間待つことがあるけど我慢してね」ということ

の事情も異なるから、いた仕方ないところもある。ただ「だか

縦割りは害でしかない」と言っても、

組織が異なれば内部

/ 384

361

「トップダウンな丸投げ」だけはやめるべき

## 最近の民間企業の責任レベル

間企業へ丸投げ」を決め込む前に、最近の企業が展開したサー 「丸投げは悪!」とまで主張する気はないが、「とにかく民

ビスの「質」を、もっとよく見るべきではないか。ペイペイ、

ブンイレブン……どちらも「超」が付くくらい大手だ。 期間に「繰り返された」。しかも、片やソフトバンク、片やセ セブンペイなど、セキュリティの甘さで起きたドタバタが、短 「たまたまその2社だけ」と言えるものではない。 前述した

ように、自動車部品の品質管理の問題、ヘタすると大事故に

だ。たとえばネット活用の場合、 者の程度ということではないだろうか。だいたい、検索してみ 性もある賃貸物件、違法な扱いが放置されていた郵便局の保険 に仕切りをつけず、火災時はあっという間に全焼していた可能 れば分かるが、セブンペイの背後で関わっていた企業も大手ば の問題……全て大手だ。これが最近の企業の程度であり、経営 責任まで民間業者に「丸投げ」しようとしたって無理なの 「なるべく多くの人が受信で

ブ」を通さなかったため住めなかった新築マンション、天井裏

なっていた可能性もある新幹線の台車の亀裂問題、

「スリー

ないのが、民間業者の責任感だ。「トップダウンな丸投げ」で 避難が遅れる可能性がある人」が何人いようと知ったこっちゃ 承っていません」で終わりだろう。「防災情報を受信できずに 『配信方式』の指定や、受信が困難な者を減らす責任まで 石川 雅章

この構造が残り続ける。

際に受信できているかを調べて改善につなげる仕組み」でもな

い限りは、末端で受信できない人が相当数いることが発覚して

業者から言われることは「請け負ったのは『配信』まで

にせよ」と具体的に指示するか、あるいは「どれほどの人が実

きるよう、文字のみの情報や古い規格の音声データ配信も同時

★ 神奈川県のハードディスク丸投げ

クのデータを消去する技術や、確実に消去されたかどうか確認 人情報が漏えいしかけた事例も、行政がしっかりハードディス

神奈川県庁で使われていたハードディスクが転売されて、個

する技術を持たないまま、業者に「丸投げ」したために起こっ

たものではないか。

SNS などに公開されてしまったら、回収は不可能。お役所が そうした意識を持たず業者に「丸投げ」していたこと自体、技 と言っても無理だ。ましてや「こんなデータを見つけた」と 漏えいが起きてしまったら、「見なかったことにしてくれ」

術者視点から見ると、あまりに常識的感覚がない感じがする。

的内容を伴わないトップダウンな指示だけの丸投げ」が生んだ を証明する書類も受け取っていなかったらしい。全ては「具体 しかも、実際はその「立会い」はされず、また破壊したこと とはいえ、それらのハードディスクはリースだったらしい

理的に壊すだけなら県庁内でもできたのではないか。 職員がハ

ンマーを振り下ろせば済むだけのような気がする。なぜ「ハン

マーを振り下ろす『だけ』の業者」を外部委託する必要があっ

たことを見届ける……ということだったらしいが、そもそも物

その廃棄の方法は、職員立会いのもとで、物理的に破壊され

事態のように見える。

たのか。

なると、前のデータは読めなくなる。だから、役所内で使い回 て、後から書き込まれた別のデータで上書きされていく。そう いない。そこが問題になっているわけだが、じつはそのまま使 しているうち、古いデータは消えている可能性が高くなってい い続けていると、その「消したことにした」部分が再利用され

でも「消したことにしている」だけで、データは直ぐに消えて

な気もする。ハードディスクというのはデータを消したつもり

調達も丸投げだった」ということだ。もし県自身でハードディ

スクを調達していれば、県庁内でいくらでも再利用できたよう

が。確かにそれでは、勝手に「物理的処分」をするのはむずか

しい。しかし考えようによっては、それは「ハードディスクの

財源に余裕があったということなのだろうか。 託などしなくても、リスクはかなり減らせたような気もする。 らく使えば、それらデータでどんどん上書きされて、外部に委 リを入れたり、子供たちの活動の画像を保存するなどしてしば 人情報などの機密性の高いデータを扱う部署から、機密性の低 全く使えなくなったというわけではなさそうだ。とすれば、個 いデータを扱う部署……たとえば児童館的な施設で、学習アプ 「リース」で調達して、その都度廃棄しては手に入れ直すほど 「丸投げ」するなら、ハードディスクを屋上から実際に「丸

だったのだろうから、その部署で不要になったからと言って、

く。転売で「売れる」ということは、それなりに新しめの機種

ごと投げて」ぶっ壊したほうが早かったのではないか?

★ 活かされない既存技術 だいたい、国にもそうしたデジタル技術を研究する機関くら

いある。それが IPA (Information-technology

Promotion Agency, Japan: 独立行政法人情報処理推進機

ントを愛用している。 美しさは「MS 明朝」などとは雲泥の差 布していたりする。筆者も、その拡張と言われる Takao フォ 構)だ。パソコンで使用される日本語の標準的なフォントを配 ただ残念ながら、この機関で「ハードディスクを全て消去し

何か対策ができたのではないのか」と思うばかりだ。 ような仕組みは今でもある。ハードディスクの問題は「もっと とにパスワードをかけ、パスワードを知る人しか読めなくする るのなら、優れた仕組みだと思う。そうでなくても、データご らないが、もしこの機能を使うことで、ハードディスクをパソ 暗号化する仕組みが使えるようになってきている。詳しくは知 コンから取り外した瞬間に意味のあるデータとして読めなくな 一方で、最近はハードディスクに記録するデータを最初から から、IPAもそうした需要に応えてもいいような気もする。

るという話は聞かない。しかし前述のような問題も起こるのだ

て再利用できるようにする」というツールを開発/配布してい

「トップダウンな丸投げ」とは、「具体的な指示を伴わな 「丸投げ」では広く伝わらない防災意識

い」まま、外部に委託すること。「具体的指示がない」ため、

が直接、または外部に「末端に不都合なことが起きていない 業者は言われたことをいいように解釈する。しかも多くは、上

か」をチェックできる仕組みは作らないうえ、丸投げされた業

者が上げる報告は「言われた通りにしています」程度で、不都

合な内容は上げずに済む。そのために「防災情報の受信ができ

きたのだから責任はそっち」と言える状況。「上」に当たる人 ない」といった「不都合が起きる要因」がいつまでも残り続け 何か問題が起きると、業者は「言われた通りにしていて起

防災の心得が、その人たちの耳まで、あるいは「心まで」は届 出かけるのは自殺行為に近いとかなり前より言われているの 亡くなったらしい。洪水などの災害が心配される時に自動車で に、なぜこういった人たちが減らないのか。それは、そうした 今回の台風や大雨での死者のうち、半分くらいは「車中で」

いていなかったということだろう。

だ」と言って終わり……これが今の社会構造だ。

きずに避難が遅れて、流される人が出ても、せいぜい「遺憾

んなに責任は重く受け止めずに済む。実際に防災情報が受信で

業者からの報告が適切ではなかったせいにできるから、そ

分からない人、手持ちの機械が配信方式に対応できない人は聴 変危険です」と呼びかけても、スマホやパソコンでの聴き方が ジオで「洪水の危険性が高まったら、自動車で出かけるのは大 り、SSL の未対応などが原因で見れない人は見ない。ウェブラ も、手元のブラウザが、スクリプトの互換性がなかった はずだ。ところが、ネット上にどんなに丁寧な説明を掲載して メディア経由で発信すべきであり、行政も実際にそうしている も読めない。だからこそ、ネットで、ラジオで……と、様々な 視覚障害者や老化で字が読みづらくなった人などは、手にして 全ての人の手に行き渡っているとは言えないし、それ以前に、 災害時の心得を「公報」などに載せたところで、その公報が る。クレームを入れたことろで、コストをかけたくない業者 開すれば済むのに、それはしない。結果、古い機械で「見れな る古い配信規格を採用し、ストリーミングサーバの URL を公 らない状態が放置される。ウェブラジオなら、長く使われてい れ、古い機械では受信できず、その「災害時の心得」が行き渡 はここまで!」で終わらせているうちは、丸投げした業者のトで発信する仕組みを民間に丸投げして、「役所としての仕事 無い。どれほどの人が受信できるかの検証をしないまま、ネッ けない。いくらネットで発信しても、受信できなければ意味が い! 聴けない!」と取りこぼされる人がいつまでも残り続け 「独自方式」とか、提携先が広めたい「新しい方式」で配信さ

る一因になるのではないかと思う。 がなくなることはない。結果、災害の度に車の中で死ぬ人が出 ウェブやらラジオやらで伝えたところで、読めない聴けない人 出かけるのは『やっちゃダメ』な行動」であることをどんなに から「受信できない人」が残り続ける。つまり「災害時に車で わるべきだろう。 が! そこまで詳しく調べて配信を委託しない る方式で発信する/しているか」まで考えて、発信方式にも関 防災に関わる情報こそ、行政は「いかに多くの人が受け取れ 「対応機器で受信してください」と、門前払いで済ませ

る。

◆ 何人死んでも報酬を得られる人たち

なっていることになるが、それを知らなくても責任を負う必要

もないから、そんなの知ったこっちゃない……それが「トップ

としたら、その指示による配信の経費……つまり税金が無駄に

貧乏人を殺す行政の構造

るか」まで調べない。もし、「受信できる人はあまりいない」

報酬を受け取れる仕組みだから、「受信できる人がどれほどい

金から報酬を受け取れる。「配信せよ」と指示してさえいれば

などは、自分ではその「仕組み」や、その後に生じた「一部の

人は受信できない」といった「不都合な事実」があっても、税

当か」をよく調べないまま外部に「丸投げ」する行政の担当者

ウェブサイトや通報システムの設計を、「どんな仕組みが適

ダウン行政」だ。 手に入れられない者には、防災情報はますます伝わりにくく 軽に買えないだけでなく、そもそも契約すらむずかしいという たい「利権優先」の企業や組織などには受け入れられないだろ 主張する筆者のような者は、新しい通信規格の利用者を増やし のが実態。「多くの人が受信可能な旧来の方式」ではなく、 い。当然、パソコンやスマホ、携帯電話の「最新機種」など気 「新方式」が採用されていくことで、そういった「新機種」を 一方、「多くの人に知らせるため旧来の方式を使うべき」と 確実に嫌われるだろうから、安定した収入など得られな 貧乏人を殺す行政の構造 石川 雅章

うし、

たことを知り得るのだろうか。ひょっとすると、述べてきたよ 者が今回の経験を詳しく書かなかったら、こうした状況が起き 起きたことを把握している者が行政側に何人いるだろうか。筆 種を手に入れられない者ほど、逃げ遅れて死に至る可能性も高 述べてきたような「防災情報がことごとく断たれる」状況が 「貧乏人は流されていい」と言われている

ような気がする。

くなると思われる。

とごとく読めない」状況を生む構造が固定化する。結果、新機

たところで、イザという時に、述べてきたような「情報源がこ

なっていく。防災情報をどんなに「知ろう」としてネットを見

ば、OS のサポート期限が切れているパソコンについては から、たとえば「どれほど受信できているか」と聞かれれ 言われたことを都合のいい解釈「しかしない」ことが多い。だ か?」と、「丸投げ先に」確認したところで、丸投げ先では、 れない。問題は「調べ方」だ。「みんなが受信できている るべき」だと思うのだが。 「ちゃんと調べているぞ!」と言いたい当事者もいるかもし

政の仕事なのだから、そこは「知ろうとすべき」だし、「調べ

ない」ということなのだろうか。防災インフラを整えるのも行

うちは責任を感じずに済むから、「知りたくない」し、「調べ

うな「不都合」が起きていることを「知らなかった」と言える

ば、調べなくても「100% です! 聴けない人などいません」 まで調べる対象にしてしまうと、「実際に調べなければならな 使用しているパソコンでは聞けない可能性が高くなるが、そこ ているような古いパソコンや、筆者のように 〇S を入れ替えて る」と思っているだけの話。もちろんその場合、障害者が使っ と報告できる。それを受けた「上の人」が「ちゃんと調べてい ている方式で配信していれば、そのパソコンだけ対象とすれ ブラジオなら、特定の OS のパソコンで最初からサポートされ 含めないで 08 のサポートが切れていないパソコン「だけ」に ついて報告する、そんなことを平気でする可能性がある。ウェ 「使っている人などいないだろう」と一方的に解釈し、それを けているのは筆者だけではないだろうし、理由だって必ずしも て、行政は知ったこっちゃないのだ。だが、古い機械を使い続 れるのがオチだ。低収入のために最新機器を買えず、何とか古 で、「最新の機器でご覧ください」などと言われて門前払いさ 報のウェブ記事が読めないぞー」とクレームを入れたところ ら、聴けない人が残り続けることになる。 にしてしまい、そのことは報告では詳しく触れない……だか くなる」ので手間だから、そういうケースは調査の対象「外」 い機器で防災情報を見ようとしている人がいるかどうかなん 筆者のように新しい機器を手に入れられない者が、「防災情

ず別の手段を探すスキルがあるが、世の中はそうしたスキルの 報配信側が、自ら「フォールバック」的な対策をすることを怠 対して、「最新の機器でご覧ください」と対応することは、情 が大雨や川の氾濫で流されて死ぬのだろう。 ない人がほとんどだ。門前払いしているうちに、その中の何人 古い機種を使い続けている人もいるだろう。筆者は、とりあえ ているソフトが、新しい機種では対応できないため、しぶしぶ 「防災情報のウェブ記事が読めないぞー」というクレームに 相手に対策を押し付けているようなもの。そうした回答を

設定や、自分の障害に対応させてパソコンを操作するのに使っ

「低収入」とは限らない。視覚障害に合わせてあるパソコンの

側が責められることはない。死んでしまった被害者が、「もし を受信できなくて逃げ遅れた人が何人死んでも、それで役所の 防災情報を配信し、その最新機種を手に入れられずに防災情報 死んだんだ!」とクレームを言う人など来ないから、役人はい 死んだとしても、「防災情報が見れなかったから俺は流されて る」という使命を捨てているように思う。 常套手段化することは、行政の側も「防災情報を広く知らしめ 手元の古い機械でネットの防災情報が手に入れられていれば、 つまでも知らないで済む。最新機器でしか受信できない方式で いない」だろう。そりゃそうだ。死人に口無し。何人流されて たぶんお役所は「それが原因で亡くなったという例は聞いて

ら、税金から報酬を持って行かないで欲しい。 た」ということを何かに記録しておこうと思う。やはり「最新 差し迫ったら、「防災情報を知ることができずに死を覚悟し はないのだから。 にするためにも。まぁ、その記録ごと流されてしまう可能性も の機器」を手に入れられない方々が、同様なめに遭わないよう 最後に言っておきたい。市民、国民の財産や命を守れないな せめて筆者は、防災情報を知ることができずに生命の危険が

避難指示を知って避難したと思う」などと証言してくれること